

様式第3号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件公表書

【案件名：つくば市学校等適正配置計画（指針）改訂（案）】

令和2年（2020年）2月
つくば市教育局学務課

案件名	つくば市学校等適正配置計画（指針）改訂（案）
募集期間	令和2年（2020年）2月1日～令和2年（2020年）2月28日
担当課	教育局学務課
問合せ	TEL 029-883-1111 （内線）4643、4790

■ 意見募集の趣旨

つくば市教育委員会では、市立幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校の新設、学区編制等の中長期的な方針を定めた「つくば市学校等適正配置計画（指針）」を平成26年8月に改訂しました。この度、最新の人口動態を調査し児童生徒の推計を基に、この計画（指針）の改訂に当たり、皆さんの意見を募集したいためパブリックコメント手続を行います。

■ 資料

- ・つくば市学校等適正配置計画（指針）改訂（案）
- ・つくば市学校等適正配置計画（指針）改訂（案）（概要版）
- ・

■ 提出方法

- 直接持参
 - ・学務課（4階）
 - ・各窓口センター
 - ・各地域交流センター
 ※施設閉庁日を除く。
- 郵便
 - 〒305-8555
 - つくば市研究学園一丁目1番地1
 - つくば市教育局学務課
- ファクシミリ 029-868-7611
- 電子メール edc030@city.tsukuba.lg.jp
- ホームページの電子申請・届出サービス

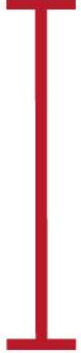
※ 意見の提出については、別に定める「パブリックコメント意見提出様式」又はホームページの電子申請・届出サービスの入力フォームに必要事項を入力して意見をお寄せください。ただし、意見は様式以外でも提出できます。必ず計画・条例等の名称並びに氏名及び住所（法人その他の団体は、名称、代表者氏名及び所在地）を明記の上、提出してください。

■ 提出された意見の取扱い

- ・ パブリックコメント手続は、計画等の案の賛否を問うものではなく、内容をより良いものにするために、意見を募集し、意思決定の参考とするものです。提出された意見を十分考慮した上で、(計画名)の最終決定を行います。
- ・ 提出された意見は、集計後から市の考え方を公表するまでの間、原文を公表します。個人情報等の取扱いには十分注意するとともに、公表に際しては、個人が識別できるような内容及び個人又は法人等の権利利益を害するおそれのある情報など公表することが不適切な情報(つくば市情報公開条例第5条に規定する不開示情報をいいます。)については、公表しません。
- ・ 提出された意見に対する市の考え方は、意見をいただいた方々に個別に回答するのではなく、類似する意見を集約するなどして、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。
また、案の修正を行った場合は、その修正案を公表します。

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方の公表時期並びに公表場所

- 公表時期 令和2年(2020年)3月末頃を予定しています。
- 公表場所 市ホームページ、学務課、
情報コーナー(庁舎1階)、
各窓口センター、各地域交流センター



つくば市 学校等適正配置 計画（指針）

令和2年(2020年)3月

〔対象期間〕

令和元年度（2019年度）から
令和20年度（2038年度）まで

目次

1	適正配置計画見直しの必要性について	1
2	計画見直しに当たって考慮すべき事項	2
3	計画の目的、意義	3
4	計画の位置づけ	4
5	計画期間	5
6	学校等適正配置の基本的な考え方	6
	1. 学校の標準規模への適正化の意義と効果	
	2. 標準規模校の設定	
	3. 適正配置の検討方法	
	4. 本計画（指針）の推進について	
7	市及び学区の現況	9
	1. つくば市の概要	
	2. 人口と世帯数	
	3. 学区等の状況	
8	学校別の将来推計	15
	1. 構成と概要	
	2. 児童・生徒数推計の方法	
	3. 小学校区の将来推計	
	4. 中学校区の将来推計	
	5. 義務教育学校区の将来推計	
9	つくば市学校等適正配置計画	62
	1. 適正配置計画の検討手順	
	2. 小学校の適正配置計画	
	3. 中学校の適正配置計画	
	4. 義務教育学校の適正配置計画	
	5. 幼稚園の適正配置計画	

1. 適正配置計画見直しの必要性について

今回の学校等適正配置計画の見直しは、次の4点に対応する必要性が生じたことに伴うものです。

1. 児童生徒数増加への対応

平成 26 年8月改訂時点の児童生徒数等推計値と現在の児童生徒数等に相違が生じているため、最新の推計値データ作成とそのデータに基づいた見直しを行う必要があります。

2. 地区人口変化への対応

中心市街地において財務省による公務員宿舎売却が進められるなど、再開発等に伴う人口の変化が生じており、その変化を考慮した見直しが求められます。

3. 現在の学校及びこれからの学校への対応

平成 30 年3月に小学校7校、中学校2校が廃校となり、平成 30 年4月に義務教育学校3校が新たに開校しました。今後も、T X沿線地区での人口増加が見込まれ、学校の新設が余儀なくされており、こうした事態に対応した見直しを行う必要があります。

4. 人口二極化現象への対応

現在、中心市街地の人口増と周辺市街地の人口減という人口の二極化が進んでおります。人口減が進む周辺市街地の学校及び教育環境の魅力を高めることが求められます。

2. 計画見直しに当たって考慮すべき事項

つくば市の学校等適正配置計画見直しの背景として、次のような課題があります。

①地域の実情に応じた学校配置

市内の公立学校等は幼稚園 16 園、小学校 29 校、中学校 12 校、義務教育学校 4 校ありますが、合併以前の旧町村時代に建設された学校が多く、必ずしも現在のつくば市の実態にあった学区とはなっていません。地域の実情に応じた学校配置、規模の適正化を考える必要があります。

②人口の偏りから起こる小規模校の存在

市内は急激に子どもの数が減っている地域があり、小規模な学校も少なくありません。

小規模な学校には、地域との密接な連携や人間関係が深まりやすいなどのよさがあります。教育・学習環境を維持していくためには、すべての学校の教育環境を充実していく必要があります。

③学校の老朽化に伴う改築等の問題

市内には老朽化により改修を必要とする校舎があり、非構造部材等の耐震改修を必要とする建物も一部含まれます。市内の公立学校施設を対象に、長寿命化計画を策定し、計画に沿って改修や改築等の必要があります。

④TX 沿線開発等に伴う人口急増地域の問題

市内には今後も、TX 沿線開発や公務員宿舎跡地等での住宅開発などに伴い、大規模な人口増加が見込まれる地域があります。これらの地域の人口増加の動向を的確に把握し、長期的な視野に立ち、学区の見直しや学校新設等の検討を行う必要があります。

⑤小中一貫教育の現状への対応

施設一体型小中一貫校は、学校の統合や人口の増加等に伴い大規模校化しています。これらに対応するため、新設する場合は、施設分離型及び施設併設型小中一貫校を検討する必要があります。

3. 計画の目的、意義

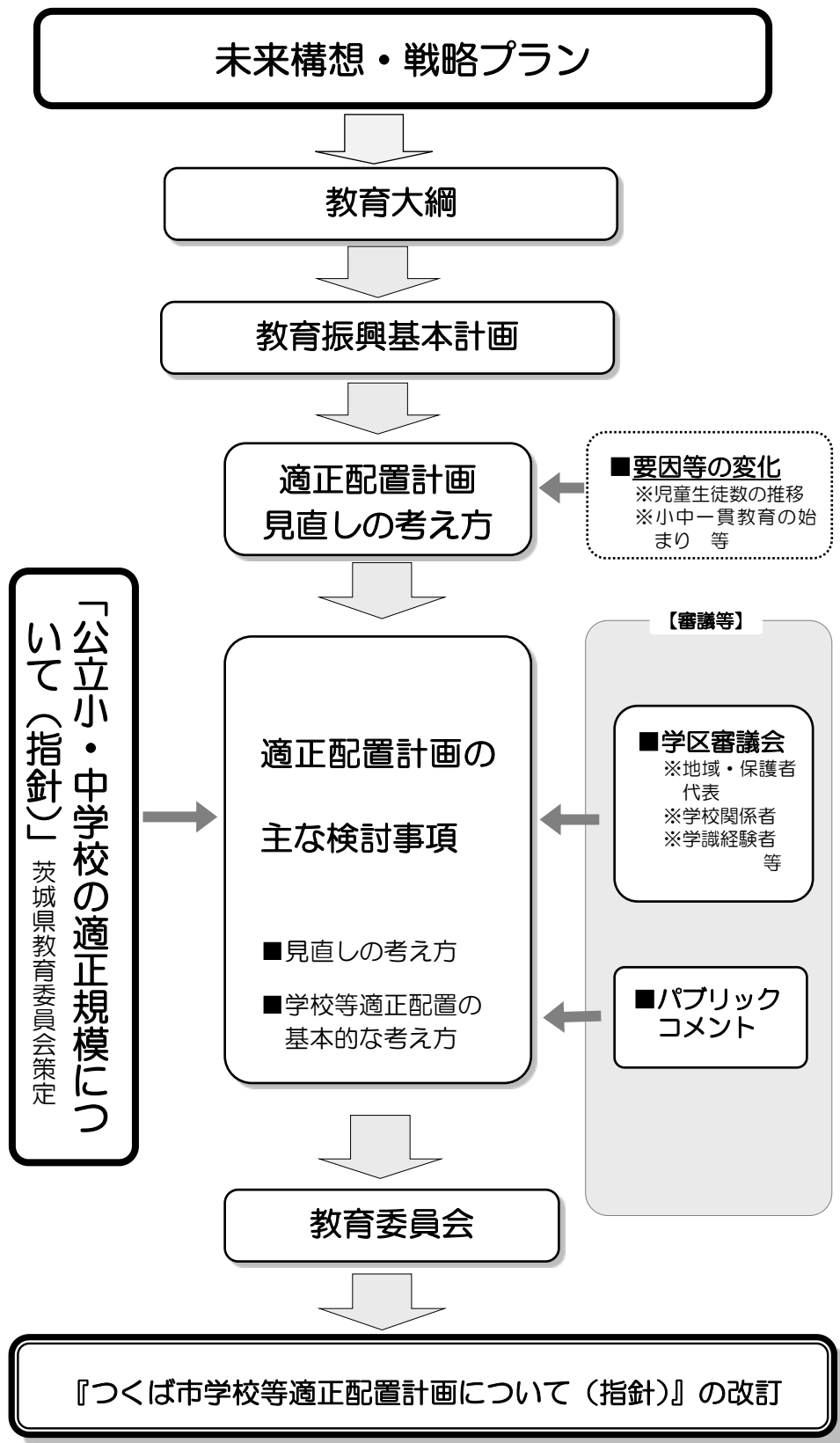
本計画策定の目的は、現在の学校等の配置等の課題に積極的に対応するために、今後の適正な配置について中長期的な見通しを示すことです。つくば市の市立幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の中長期的な統合や改築、新設、学区の再編等の方針と、これらに伴う建設費の想定を含めた「学校等適正配置計画（指針）」を定め、中長期的な見通しのもと、すべての子どもが安定・安心・安全に通える区域内に小さすぎず・大きすぎない適正な規模の学校を配置していきたいと考えています。

このような中長期の学校等適正配置計画（指針）の策定には、次のような意義があります。

- ①今後のつくば市の教育行政の展開について見通しが持て、中長期的に目標と施策を設定することができる。
- ②市民に将来直面するであろう課題を予め示すことで、課題解決への協力を得ることができる。
- ③計画的な財政計画を策定することができる。

4. 計画の位置づけ

この計画（指針）は、未来構想（Ⅲ-2「自分の「好き」が見つかる環境をつくる」）に基づくとともに、茨城県教育委員会策定の「公立小・中学校の適正規模について（指針）」の考え方も取り入れています



5. 計画期間

本計画の計画期間は、2020年度から2038年度までとします。この計画の児童生徒数等の推計は現在のつくば市の関連するデータをもとに行っておりますので、今後様々な社会的な要因等の変化によってつくば市の様相が移り変わり、児童生徒数等も本計画推計との相違が生じてくることが予想されます。そのため、計画に柔軟性を持たせるとともに、5年ごとに状況の変化に応じた計画の見直しを行っていきます。

6. 学校等適正配置の基本的な考え方

学校等の適正な配置は、先の「適正配置計画見直しの必要性について」と「計画見直しに当たって考慮すべき事項」にあげた課題等を改善するために行う必要があります。

そして、適正な配置を行うためには次の検討が必要となります。

- ①学校が望ましい学習環境を保つためには、標準的な学校の規模を保つ必要があります。そのため、指標となる「標準規模」などの基準を定める必要があります。
- ②標準規模の学校とするためには、将来における学校規模の検討とともに、周辺の学校、新たな学校の設置等を含めた「適正な配置」を検討する必要があります。
- ③地域や児童の実態等からみて、早期に対応することが困難な場合もありえることを考慮し、児童への影響が出来る限り少なく、かつ標準規模への対応を基本としつつ、学校の特色を積極的に生かすための工夫や措置等を検討する必要があります。

ここでは、「学校の標準規模への適正化の意義と効果」を明らかにし、つくば市における「標準規模校等の設定」そして、「適正な配置の検討方法」について、基本的な考え方を整理します。

1. 学校の標準規模への適正化の意義と効果

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の各段階の教育は、人それぞれの生涯にわたる「生きる力」の基盤を形成するものであり、子どもたちに自立して生きるための確かな学力や社会での共生能力を身につけさせていくことが求められます。

子どもたちに、この「生きる力」を確実に保障することは、大人や国家及び社会の義務であり、つくば市においても、国や県の支援を受け、市民の協力を得ながら、この「生きる力」を育成するために最適な「学校環境」を提供する必要があります。

「学校配置」は、この学校環境の基礎的インフラストラクチャであり、すべての幼児・児童生徒が安定・安心・安全のうちに通える標準規模の学校を適正に配置していかなければなりません。

学校は、子どもたちの社会性の育成や互いに学び合う場として一定の規模が必要です。小さすぎず・大きすぎない適正な規模の学校をバランスよく配置することが、本計画の根幹を成す重要な事項です。

標準規模の学校による適正な配置を実現し、望ましい学校環境を整備することにより、「児童生徒の教育の充実」や「学校運営等の円滑化」、「教育予算の効率化」など、次のような意義と効果が発揮できます。

第1には、「教育環境の充実」があげられます。異年齢の児童生徒がともに学ぶ環境が充実されます。また、児童生徒同士や教員との関わりが十分に保たれ、社会性や豊かな人間性やたくましさを育むことができるようになります。

第2には、「学習意欲の向上」があげられます。多様な学習活動を行うことができ、学力や資質の向上につながります。また、小学校においては教員の所有免許教科が拡大され、より専門的な教育を受ける環境が整備されるようになります。

第3には、「教育活動の充実」があげられます。体育や音楽では、適切な規模の学習体験（集団競技、合奏、合唱など）が可能になります。また、人間関係を考慮したクラス替え、学習グループ替えがやりやすくなります。そして、男女数のバランスが良くなり、多様な教育活動が可能になるなど、学習活動の充実が期待できます。

第4には、「指導体制の充実」があげられます。児童生徒数に応じた教員配置が拡大され、教科指導や児童生徒指導の充実を図ることができるようになります。また、教科打合せや課題研究などを同じ教科の教員同士で行うことや、校内における教職員研修の充実を図ることができるようになります。

第5には、「学校組織の充実」があげられます。少人数加配など教員の配置が拡大されま

す。

第6には、「校務の効率化」があげられます。校務の役割分担が明確になり、教員一人ひとりが担う業務を分散化できるようになります。

第7には、「部活動の充実」があげられます。クラブ活動や部活動においても多様な種目が選択でき、より児童生徒の興味・関心に応じた活動ができるようになります。

第8には、「PTA活動の充実」があげられます。PTAの適切な規模化により、保護者の負担が軽減されるとともに、組織的な活動を行うことができるようになります。

第9には、「教育予算の効率化」があげられます。教育費の集中や計画的な予算化により、老朽化及び耐震化等に対応した施設整備や学校運営費等を効果的に活用することが可能となり、教育環境を充実させることができるようになります。

2. 標準規模校の設定

「学校規模」の基礎単位は「学級規模」です。国が示す学級規模は、「40人編制の学級※1」を基準とし、小学校・中学校それぞれの学校規模は「12学級以上18学級以下※2」義務教育学校は「18学級以上27学級以下※2」を標準としています。

また、茨城県教育委員会が示している学校規模は、「小学校は12学級以上※3」、「中学校は9学級以上※3」を望ましいとしています。

学校規模については、国と県の考え方に開きがありますが、つくば市においては、よりよい教育活動の活性化を図るため、学級規模が「1 学級 40 人以下」で、学校規模が小学校においては「学級数 12～24 学級（学年 2～4 学級）」、中学校においては「学級数 12～18 学級（学年 4～6 学級）」となる学校を『標準規模校』とします。

また、施設一体型小中一貫校※4の標準規模を考える際に、教科の専門性を生かした学習指導、児童生徒へのきめ細やかな対応の観点から、5～6年生における教科担任制を取り入れた授業を実施しやすくすることが重要となります。したがって、義務教育学校については、「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」となる学校を『標準規模校』とします。ただし、地域の実態その他特別な事情により、17 学級以下や 46 学級以上であっても許容されることがあります。

なお、本計画では、学級数が標準規模校に満たない学校を『小規模校』、学級数が標準規模校を超える学校を『大規模校』とします。

※1：学校教育法施行規則（第40条・第69条・第79条の2）にもとづく小学校・中学校設置基準（ともに第4条）及び公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（第3条）

：但し、小学校の第1学年の児童で編制する学級にあっては35人とする（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）（第3条第2項）

※2：学校教育法施行規則（第41条・第79条・第79条の3）及び義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第4条）

※3：「公立小・中学校の適正規模」（指針）茨城県教育委員会策定（平成20年4月）

※4：施設分離型小中一貫校のうち構成する小学校及び中学校がそれぞれ1校の場合も含む

3. 適正配置の検討方法

学校の適正配置は、次に示す考え方に基づいて検討を行います。

- 将来の児童生徒数の推計を行います。
- 標準規模への適正化を図るため、小規模校は、学区調整や統合等の検討を行います。
- 大規模校は、教室増設や学区調整、分割、移転、新設等の検討を行います。
- 小中一貫教育の現状への対応を踏まえた検討を行います。

適正配置の検討は、次に示す事項に留意する必要があります。

- 地域の地理的・歴史的な成り立ちによる生活圏など、地域の特性に留意する必要があります。
- 通学距離の拡大及び通学時間の増大に伴う児童生徒の負担軽減や安全性確保に留意する必要があります。

4. 本計画（指針）の推進について

本計画の具体的な推進にあたっては、当該関係者から構成されるつくば市学区審議会への諮問とともに、当該学区市民との協議を十分に行い、合意形成を行った上で実施していくことを基本としています。そのため、本計画は、市民の合意形成や社会状況の変化、時々の財政状況等によって、指針どおりに推進できない場合があります。

7. 市及び学区の現況

1. つくば市の概要

つくば市は、1987年11月30日、筑波研究学園都市を構成する6市町村のうち筑波郡大穂町・豊里町・谷田部町・新治郡桜村の3町1村が合併して誕生しました。翌年1月31日に筑波郡筑波町、2002年11月1日に稲敷郡荳崎町が加わり、現在に至っています。なお、1987年当時の公立学校数は、幼稚園15園、小学校31校、中学校10校でした。

現在は、面積283.72平方キロの中に幼稚園16園、小学校29校、中学校12校、義務教育学校4校が配置されています。

また、つくば市内では、つくばエクスプレスの沿線開発、公務員宿舎跡地等の開発など、新たな都市基盤の整備が進められています。

2. 人口と世帯数

つくば市の人口は239,397人（2019年5月1日現在）で、県内では水戸市に次いで第2位となっています。筑波研究学園都市として、人口構成は他の同規模の都市とは大きく異なっており、世帯数の多さや生産年齢人口割合の高さが特徴です。

人口は現在も増加が続いており、つくばエクスプレス開業とこれに伴う沿線開発により、今後も更なる人口増が見込まれています。

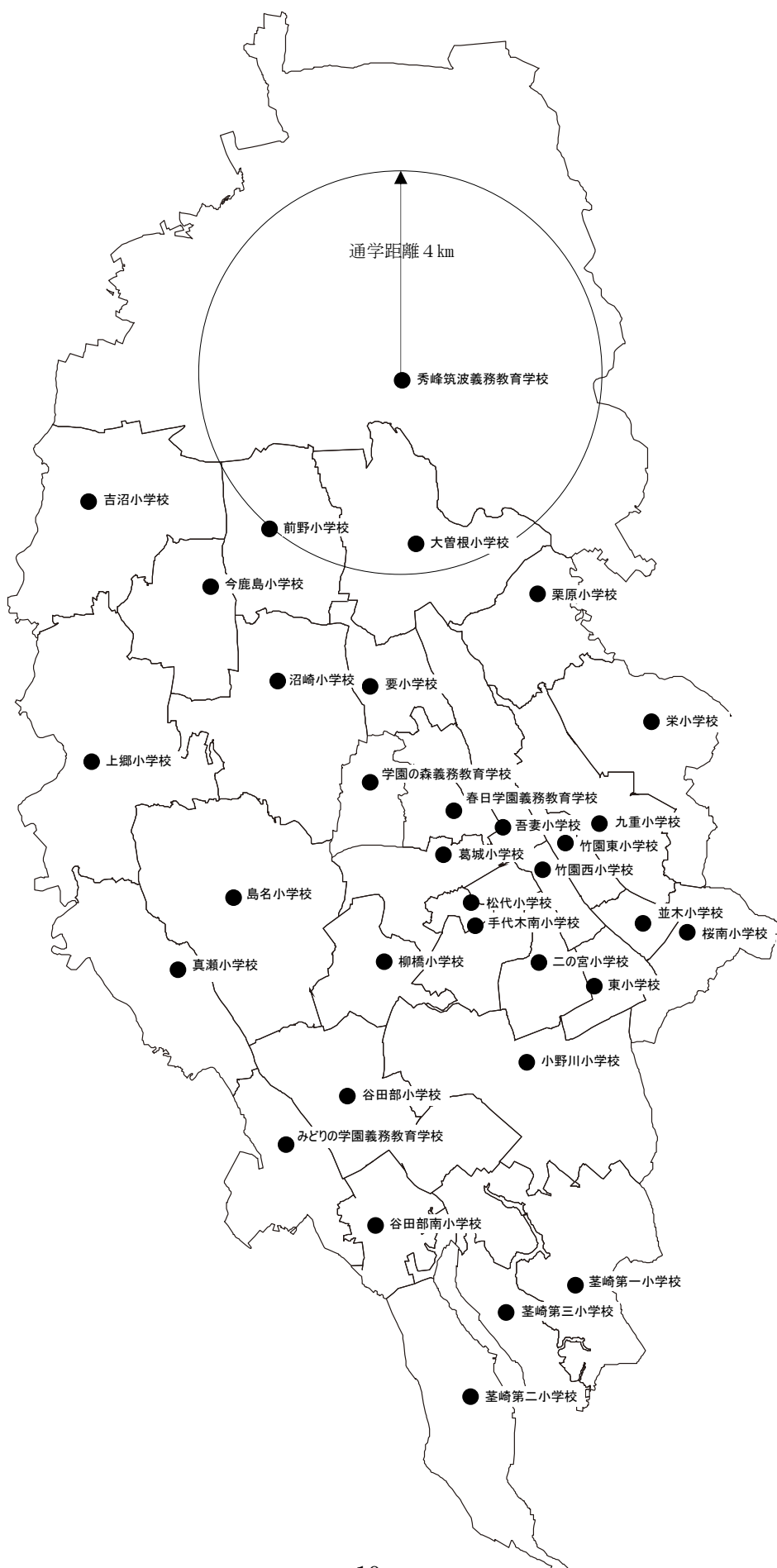
■つくば市人口の推移（各年5月1日現在：常住人口及び児童生徒数学校基本調査）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
人口	214,243	215,466	216,474	218,321	220,093	222,416	229,084	232,085	235,709	239,397
世帯数 (戸)	87,519	89,571	89,670	90,804	92,004	93,760	99,519	101,569	103,801	106,425
児童数	12,931	12,895	12,933	13,047	13,235	13,457	13,831	14,101	14,511	14,801
生徒数	5,460	5,614	5,639	5,786	5,751	5,807	5,847	5,894	5,864	5,900

3. 学区等の状況

1) 学区と通学距離圏

小学校、中学校、義務教育学校の学区及び幼稚園の園区は、現在、次図のようになっています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第4条）において示されている法定通学距離（小学校おおむね4km圏・中学校おおむね6km圏）を同図の一部に図示します。





③市内学園一覧

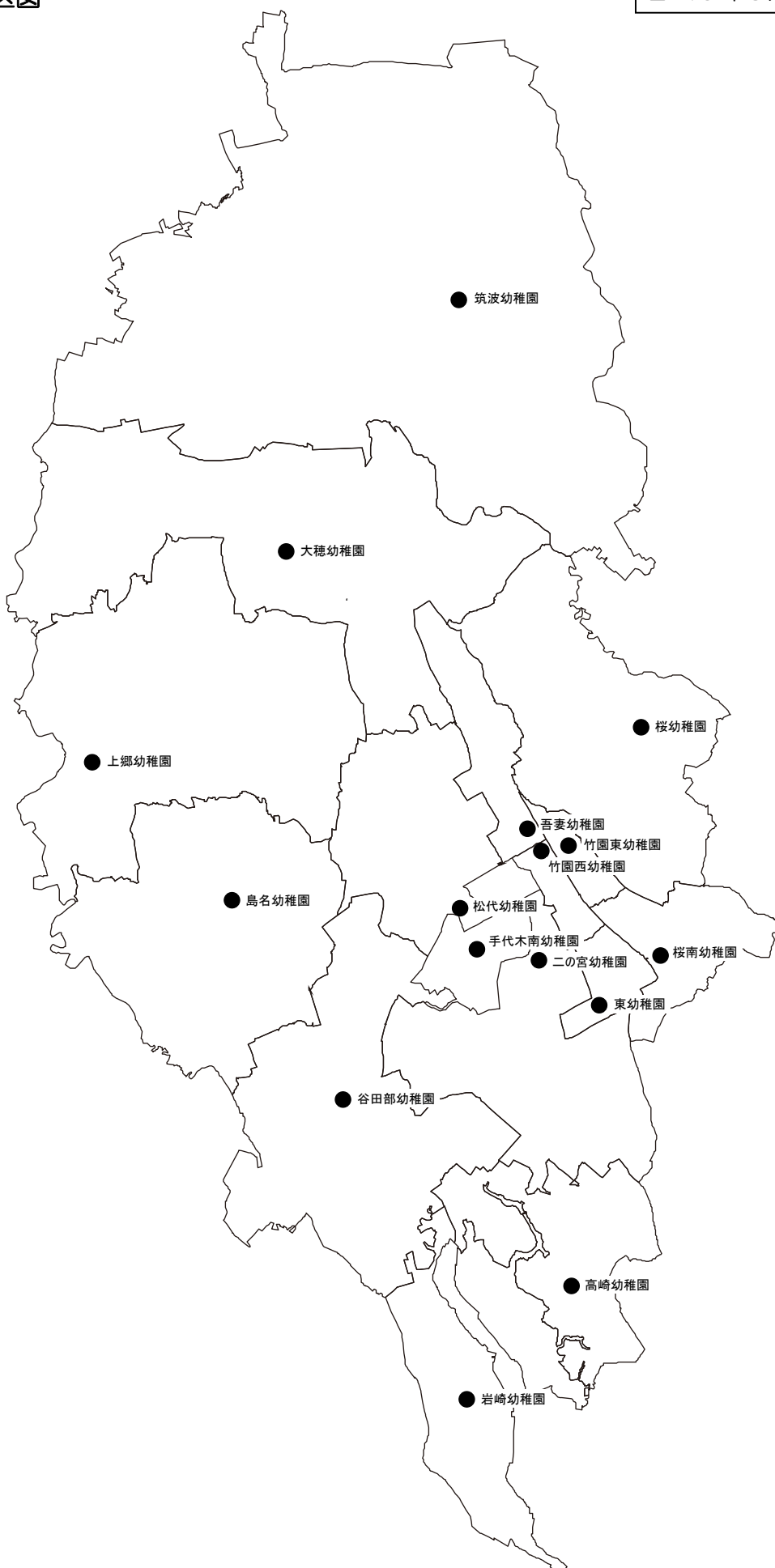
2019年5月現在

学園名は、つくば市立小学校及び中学校管理規則第5条（小中一貫校）で定められた名称です。

学園名	学校名
桜学園	桜中、栄小、九重小、栗原小
竹園学園	竹園東中、竹園東小、竹園西小
桜並木学園	並木中、並木小、桜南小
輝翔学園	谷田部中、谷田部小、谷田部南小、柳橋小
高山学園	高山中、島名小、真瀬小
光輝学園	手代木中、手代木南小、葛城小、松代小
豊里学園	豊里中、沼崎小、今鹿島小、上郷小
大穂学園	大穂中、大曾根小、前野小、要小、吉沼小
吾妻学園	吾妻中、吾妻小
洞峰学園	谷田部東中、小野川小、二の宮小、東小
荃崎学園	荃崎中、荃崎第二小、荃崎第三小
高崎学園	高崎中、荃崎第一小
春日学園（施設一体型）	春日学園義務教育
秀峰筑波（施設一体型）	秀峰筑波義務教育
学園の森（施設一体型）	学園の森義務教育
みどりの学園（施設一体型）	みどりの学園義務教育

④幼稚園区図

2019年5月現在



2) 指定学校変更可能区域

つくば市では、教育委員会で指定した学校より距離が近く、通学が安全である等の理由から、選択できる区域（指定学校変更可能区域）を次表のとおり設定しています。

■指定学校変更可能区域表

変更可能区域	指定（正規の） 小学校名	変更可能 小学校名	指定中学校名	変更可能 中学校名
高野（一本木・豊里中付近）	沼崎小	今鹿島小	豊里中	—
今鹿島（前木）	今鹿島小	沼崎小	豊里中	—
大砂	吉沼小	今鹿島小	大穂中	豊里中
島名 （行政区みずほ団地）	島名小	谷田部小	高山中	谷田部中
春日 1 丁目	春日学園 義務教育学校	吾妻小	春日学園 義務教育学校	吾妻中
西岡（新生区会を除く）・島	葛城小	松代小	手代木中	—
上横場（サイエンス通り西側）	小野川小	谷田部小	谷田部中	—
二の宮 1 丁目	二の宮小	竹園西小	谷田部東中	竹園東中
吉瀬（上広岡との境界）	栄小	桜南小	桜中	並木中
花園	竹園東小	九重小	竹園東中	桜中
花室（花園以西）	竹園東小	九重小	竹園東中	桜中
梅園 1 丁目・2 丁目	東小	並木小	谷田部東中	並木中
学園の森 3 丁目 （1～13 番地、32～50 番地）	学園の森 義務教育学校	春日学園 義務教育学校	学園の森 義務教育学校	春日学園 義務教育学校
学園の森 3 丁目 （14～31 番地）	春日学園 義務教育学校	学園の森 義務教育学校	春日学園 義務教育学校	学園の森 義務教育学校

8. 学校別の将来推計

将来の適正配置を検討するにあたり、予め学校別の児童・生徒数の将来推計を行います。将来推計は、「推移グラフ及び表」を用いたものと、「推移図」で示したものに整理します。推移グラフ及び表は各学校別にパターン化して記載します。

推移グラフ及び表の記載内容の理解を図ってもらうために、最初にこれらの「構成と概要」の説明を行います。

1. 構成と概要

学校別に次の内容を記載しており事例を挙げて説明します。

- ①基本情報
- ②児童生徒・学級数の「推移グラフ」
- ③児童生徒・学級数の「推移表」

1) 基本情報

学校別の基本情報は、次の事例に示すように①から⑬まであります。それぞれの概要を下記に記述します。

■基本情報の事例（大曾根小の場合を例示）

①所在地	大曾根 2917	⑤R1年度児童数	650	⑨R1年度普通教室数	27
②指定学校変更制度	なし	⑥R1年度学級数	普 20 特 3	⑩R1年度特別支援教室数	0
③中学校区	大穂	⑦公務員宿舍関連	—	最大時 使用教 室数	特支 ⑪特支 0 ⑫普通 2 ⑬普通 25
④隣接学区	吾妻・要・前野・ 栗原・秀峰筑波	⑧TX関連		⑭不足教室数（普通）	—

- ①【所在地】学校所在地の住所
- ②【指定学校変更制度】指定学校変更制度対象校の場合は変更先学区
- ③【中学校区（小学校）、小学校区（中学校）】小学校は中学校区、中学校は小学校区について記載
- ④【隣接学区（学園）】隣接している学区名、学園名
- ⑤【R1年度児童・生徒数】R1.5.1 特別支援教室在籍者を含む児童・生徒の総数
- ⑥【R1年度学級数】R1.5.1 現在の普通教室と特別支援教室の数
※学級規模については、小学校区の標準規模校を「学級数 12～24 学級（学年 2～4 学級）」、中学校の標準規模校を「学級数 12～18 学級（学年 4～6 学級）」また、義務教育学校の標準規模校を「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」とする
- ⑦【公務員宿舍関連】学区内に公務員宿舍廃止の対象地を含む場合に地区名を記載
- ⑧【TX 関連】学区内につくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業地を含む場合に、地区名を記載
- ⑨【R1年度普通教室数】R1年度の普通教室と普通教室に転用可能な教室の総数
- ⑩【R1年度特別支援教室数】R1年度の特別支援教室専用として設置している教室の総数
- ⑪【最大時使用教室数・特別支援】特別支援教室専用として使用可能な教室の総数
- ⑫【最大時使用教室数・特別支援（普通）】最大使用時に、現在使用の特別支援教室数では足りなく、⑨【普通教室数】のうち、特別支援教室として使用する数
- ⑬【最大時使用教室数・普通】最大使用時に、⑨【普通教室数】から⑫【最大時使用教室

数・特別支援（普通）を差し引いて、普通教室として使用可能な教室数

- ⑭【不足教室数（普通）】本計画の推計によるピーク時の学級数が⑬【最大時使用教室数・普通】を超える場合に、その数と年度を記載

※（～年で計画戸数が達成する場合） 開発地区における、計画戸数 100%を達成するまでに～年を要する場合を意味する。

2) 児童生徒・学級数の推移グラフ及び表

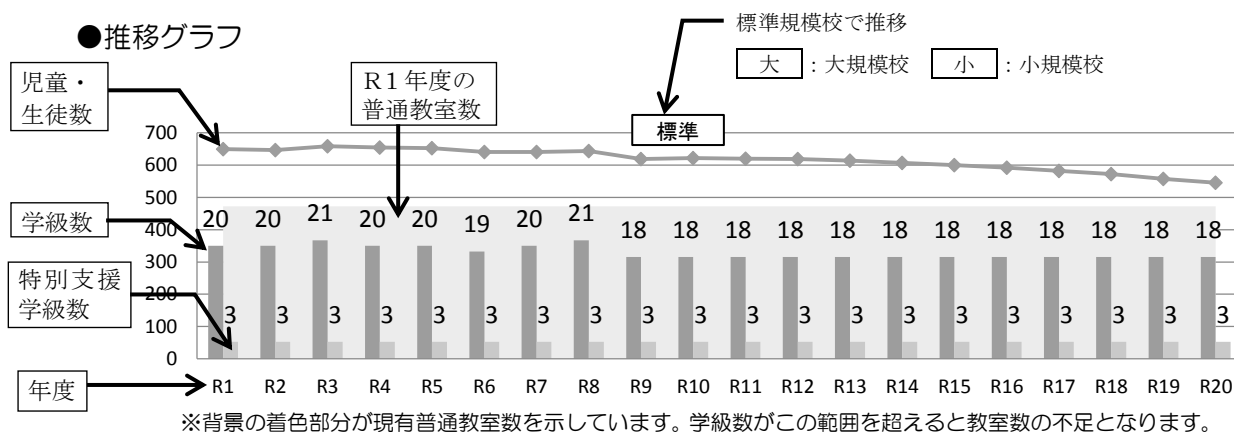
将来の児童生徒・学級数の推移を次の事例のようにグラフと表で示しています。

■児童生徒・学級数の推移グラフ及び表の事例（大曾根小の場合）

- ①「推移グラフ」は、本計画の推計による 1 年毎の全校児童・生徒数及び学級数を示しています。

（※学校規模の範囲は「学級数」に基づいて定めているため、「児童数」のグラフの増減と連動していない所がある）

- ②「推移表」は、本計画の推計による 5 年毎の学年別児童・生徒数及び学級数を示しています。



●推移表

学年	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	105	(3)	105	(3)	104	(3)	98	(3)	87	(3)
2年	112	(4)	99	(3)	103	(3)	98	(3)	88	(3)
3年	106	(3)	127	(4)	105	(3)	101	(3)	90	(3)
4年	107	(3)	102	(3)	106	(3)	100	(3)	91	(3)
5年	115	(4)	106	(3)	101	(3)	101	(3)	94	(3)
6年	105	(3)	114	(4)	103	(3)	102	(3)	96	(3)
計	650	(20)	653	(20)	622	(18)	600	(18)	546	(18)

3) 学級数の算出方法

今回の見直しにあたり各学校の学級数は次の基準により算出しています。

- ・小学校1学年は35人学級とした。
- ・小学校2年生～6年生及び中学生は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。（別表参照）

■学級編制弾力化の早見表

●小学2年生

在籍児童数 (人)	学級編制の弾力化 (弾力化後の学級数)	標準学級数 (40人編制)
1～35	1	1
36～40	2	
41～70	2	2
71～80	3	
81～105	3	3
106～120	4	
121～140	4	4
141～160	5	
161～175	5	5
176～200	6	

●小学3～6年生、中学生

在籍児童・生徒数 (人)	学級編制の弾力化 (弾力化後の学級数)	標準学級数 (40人編制)
1～40	1	1
41～80	2	2
81～107	3	3
108～120	4	
121～142	4	4
143～160	5	
161～177	5	5
178～200	6	

2. 児童・生徒数推計の方法

(1) 基本的な考え方

- 小学校区単位で男女別・各歳別の人口を推計：各歳人口を基に児童・生徒数を推計

- 2008年～2018年の人口動向などの実態を踏まえて推計

- 小学校区は2018年度を基本とし、推計基礎となる過去のデータは、現在の小学校区ベースに遡って集計

- 土地区画整理事業などの開発が行なわれている小学校区は、計画戸数に対して実績戸数を除いた残り戸数を加味して推計
※ただし、当初の計画人口の前提となっている戸当たり人員は約3人/戸であり、実際は2.6人/戸（学園の森、研究学園、学園南の3地区の平均値）である。
残存フレームは、当初の計画人口から求めるのではなく、計画戸数ベースで残存戸数を算定し、これに2.6人/戸を乗じて算出

- 公務員宿舍の売却が行われる場合は、売却から5年後に住宅供給が行われることを想定し、開発人口を加味して推計
※戸建住宅：90人/ha、集合住宅250人/ha
※都市計画の用途地域を考慮して、住宅形態を設定（第一種中高層住居専用地域の場合は「戸建：集合＝1：1」と想定）

- その他、既定のマンション開発等の計画がある場合は、その開発人口を加味して推計（戸当たり人口：2.6人/戸で開発人口を算出）

- 開発人口の各歳別の年齢構成は、学園の森、研究学園、学園南の3地区の人口動向を基に設定
⇒各歳別人口を基に児童・生徒数を集計 ※小6⇒中1移行時は私立中学受験も過去の実績から考慮

3. 小学校区の将来推計

1) 小学校の推移グラフ及び表

(1)大曾根小学校【大穂学園】

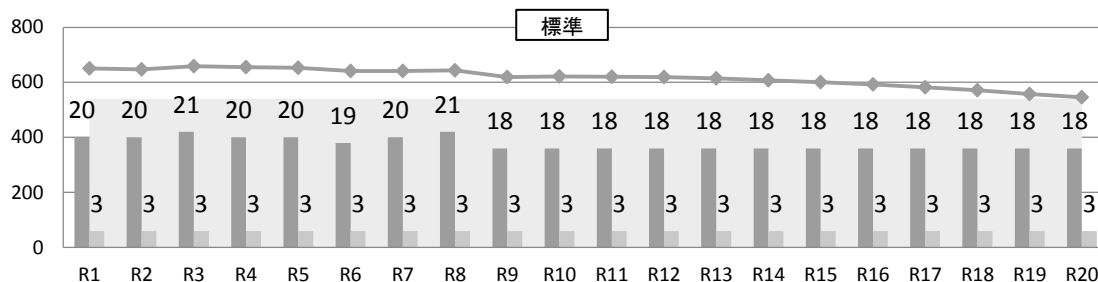
①基本情報

所在地	大曾根 2917
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	吾妻・要・前野・栗原・秀峰筑波

R1年度児童数	650
R1年度学級数	普20 特3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	

R1年度普通教室数	27		
R1年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	2
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		105	(3)	105	(3)	104	(3)	98	(3)	87	(3)
2年		112	(4)	99	(3)	103	(3)	98	(3)	88	(3)
3年		106	(3)	127	(4)	105	(3)	101	(3)	90	(3)
4年		107	(3)	102	(3)	106	(3)	100	(3)	91	(3)
5年		115	(4)	106	(3)	101	(3)	101	(3)	94	(3)
6年		105	(3)	114	(4)	103	(3)	102	(3)	96	(3)
計		650	(20)	653	(20)	622	(18)	600	(18)	546	(18)

(2)前野小学校【大穂学園】

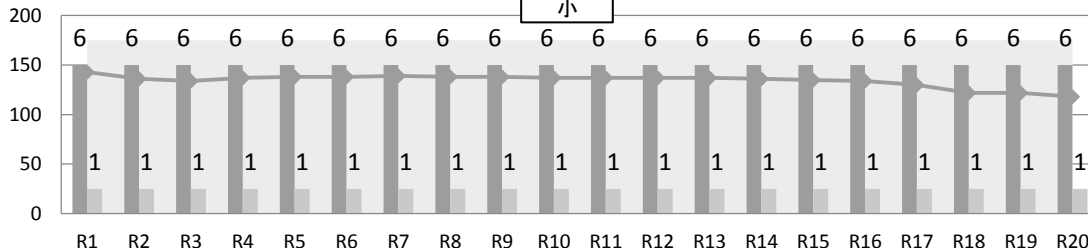
①基本情報

所在地	前野 1367
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	要・沼崎・今鹿島・吉沼・大曾根・秀峰筑波

R1年度児童数	143
R1年度学級数	普6 特1
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1年度普通教室数	7		
R1年度特別支援教室数	1		
最大時 使用教 室数	特支	特支	1
	普通	普通	0
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		16	(1)	27	(1)	21	(1)	16	(1)	14	(1)
2年		26	(1)	19	(1)	18	(1)	16	(1)	19	(1)
3年		25	(1)	19	(1)	18	(1)	21	(1)	25	(1)
4年		20	(1)	23	(1)	22	(1)	33	(1)	23	(1)
5年		25	(1)	18	(1)	32	(1)	27	(1)	19	(1)
6年		31	(1)	32	(1)	26	(1)	22	(1)	18	(1)
計		143	(6)	138	(6)	137	(6)	135	(6)	118	(6)

(3)要小学校【大穂学園】

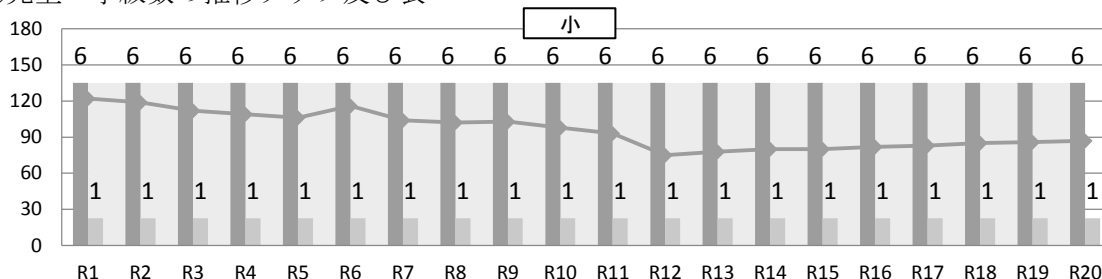
①基本情報

所在地	要 449-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	沼崎・前野・大曾根・吾妻・春日学園・学園の森

R1年度児童数	122
R1年度学級数	普6 特1
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数		6
R1年度特別支援教室数		1
最大時 使用教 室数	特支	1
	普通	0
普通		6
不足教室数(普)		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		21	(1)	17	(1)	11	(1)	12	(1)	14	(1)
2年		20	(1)	18	(1)	13	(1)	14	(1)	16	(1)
3年		20	(1)	13	(1)	12	(1)	15	(1)	15	(1)
4年		23	(1)	15	(1)	12	(1)	13	(1)	15	(1)
5年		20	(1)	23	(1)	31	(1)	14	(1)	14	(1)
6年		18	(1)	20	(1)	19	(1)	12	(1)	13	(1)
計		122	(6)	106	(6)	98	(6)	80	(6)	87	(6)

(4)吉沼小学校【大穂学園】

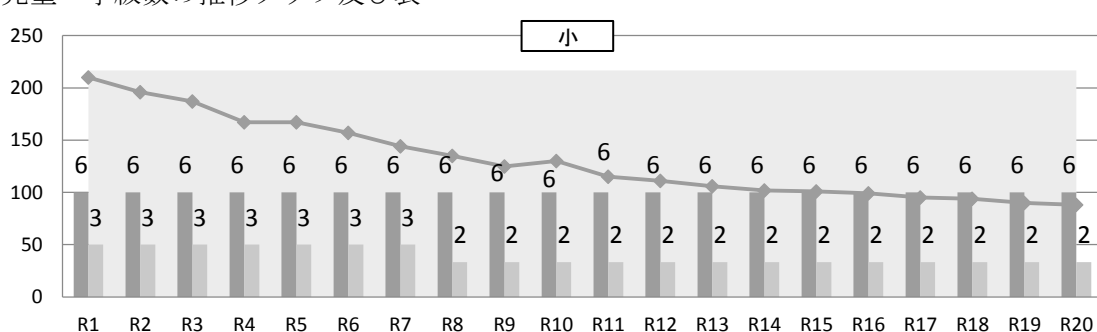
①基本情報

所在地	吉沼 1010
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	前野・今鹿島・上郷・秀峰筑波

R1年度児童数	210
R1年度学級数	普6 特3
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数		13
R1年度特別支援教室数		1
最大時 使用教 室数	特支	1
	普通	1
普通		12
不足教室数(普)		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		33	(1)	31	(1)	17	(1)	17	(1)	14	(1)
2年		32	(1)	12	(1)	18	(1)	16	(1)	13	(1)
3年		31	(1)	27	(1)	20	(1)	17	(1)	15	(1)
4年		33	(1)	29	(1)	22	(1)	16	(1)	14	(1)
5年		37	(1)	35	(1)	20	(1)	18	(1)	15	(1)
6年		44	(1)	33	(1)	33	(1)	17	(1)	17	(1)
計		210	(6)	167	(6)	130	(6)	101	(6)	88	(6)

(5)上郷小学校【豊里学園】

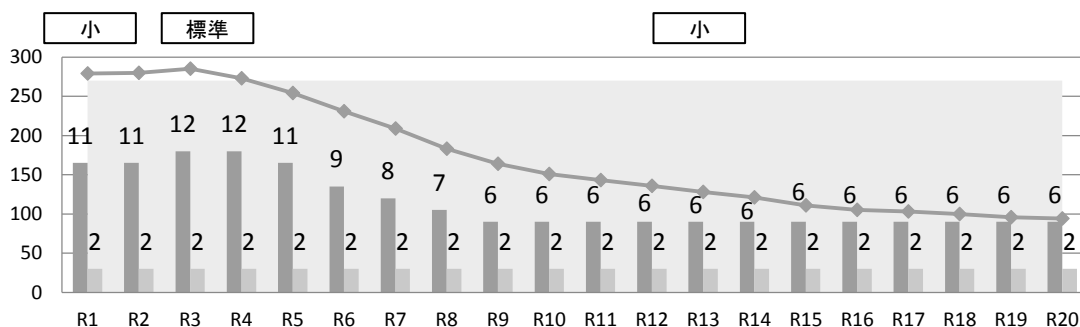
①基本情報

所在地	上郷 2499
指定学校変更制度	なし
中学校区	豊里
隣接学区	真瀬・島名・沼崎・今鹿島・吉沼

R1年度児童数	279
R1年度学級数	普11 特2
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数		18
R1年度特別支援教室数		2
最大時 使用教 室数	特支	2
	普通	0
不足教室数(普)		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		46	(2)	27	(1)	23	(1)	16	(1)	15	(1)
2年		49	(2)	37	(2)	25	(1)	17	(1)	14	(1)
3年		46	(2)	45	(2)	24	(1)	18	(1)	16	(1)
4年		49	(2)	51	(2)	26	(1)	19	(1)	18	(1)
5年		40	(1)	46	(2)	26	(1)	19	(1)	16	(1)
6年		49	(2)	48	(2)	27	(1)	22	(1)	15	(1)
計		279	(11)	254	(11)	151	(6)	111	(6)	94	(6)

(6)今鹿島小学校【豊里学園】

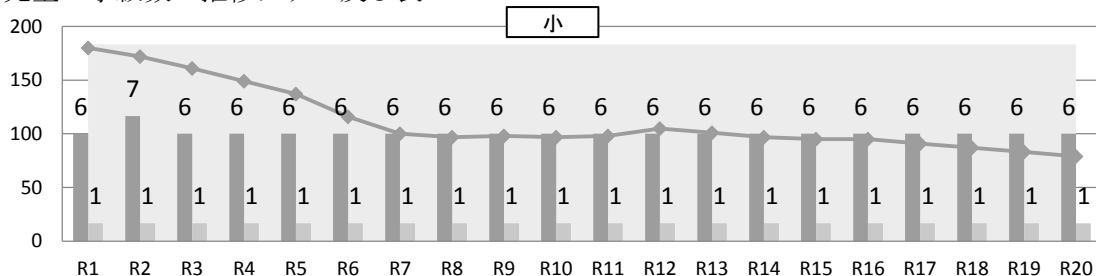
①基本情報

所在地	今鹿島 1762
指定学校変更制度	沼崎
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・沼崎・前野・吉沼

R1年度児童数	180
R1年度学級数	普6 特1
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数		11
R1年度特別支援教室数		0
最大時 使用教 室数	特支	0
	普通	1
不足教室数(普)		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		35	(1)	16	(1)	16	(1)	15	(1)	12	(1)
2年		31	(1)	17	(1)	17	(1)	16	(1)	11	(1)
3年		29	(1)	16	(1)	20	(1)	15	(1)	12	(1)
4年		28	(1)	23	(1)	19	(1)	16	(1)	13	(1)
5年		26	(1)	36	(1)	9	(1)	17	(1)	16	(1)
6年		31	(1)	29	(1)	16	(1)	16	(1)	15	(1)
計		180	(6)	137	(6)	97	(6)	95	(6)	79	(6)

(7)沼崎小学校【豊里学園】

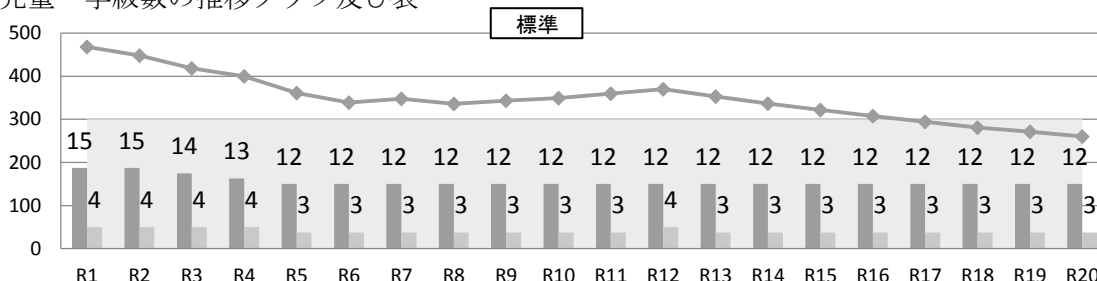
①基本情報

所在地	沼崎 1650
指定学校変更制度	今鹿島
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・島名・要・前野・今鹿島・学園の森

R1 年度児童数	468
R1 年度学級数	普 15 特 4
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	24		
R1 年度特別支援教室数	1		
最大時 使用教 室数	特支	特支	4
	普通	普通	2
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		57	(2)	48	(2)	60	(2)	48	(2)	38	(2)
2年		67	(2)	54	(2)	63	(2)	49	(2)	41	(2)
3年		89	(3)	56	(2)	65	(2)	51	(2)	42	(2)
4年		70	(2)	78	(2)	68	(2)	55	(2)	45	(2)
5年		88	(3)	58	(2)	45	(2)	59	(2)	46	(2)
6年		97	(3)	67	(2)	48	(2)	60	(2)	48	(2)
計		468	(15)	361	(12)	349	(12)	322	(12)	260	(12)

(8)小野川小学校【洞峰学園】

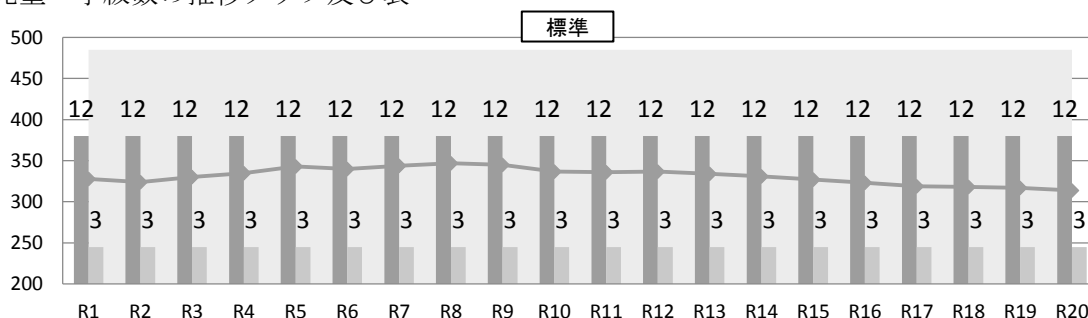
①基本情報

所在地	館野 731
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部東
隣接学区	谷田部・柳橋・手代木南・茎崎第一・二の宮・東・桜南

R1 年度児童数	328
R1 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	19		
R1 年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	2
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		51	(2)	54	(2)	52	(2)	50	(2)	49	(2)
2年		55	(2)	59	(2)	54	(2)	52	(2)	50	(2)
3年		46	(2)	56	(2)	56	(2)	52	(2)	52	(2)
4年		58	(2)	56	(2)	57	(2)	55	(2)	53	(2)
5年		55	(2)	56	(2)	57	(2)	59	(2)	54	(2)
6年		63	(2)	62	(2)	61	(2)	59	(2)	56	(2)
計		328	(12)	343	(12)	337	(12)	327	(12)	314	(12)

(9)真瀬小学校【高山学園】

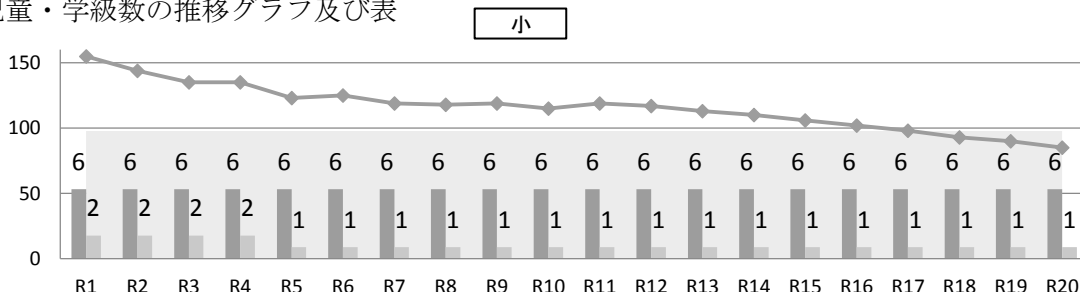
①基本情報

所在地	真瀬 2103
指定学校変更制度	なし
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・島名・上郷・みどりの学園

R1年度児童数	161
R1年度学級数	普6 特2
公務員宿舍関連	—
T X関連	上河原崎・中西地区（高山）

R1年度普通教室数		10
R1年度特別支援教室数		1
最大時 使用教 室数	特支	1
	普通	0
普通		10
不足教室数（普）		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		29	(1)	15	(1)	19	(1)	15	(1)	12	(1)
2年		16	(1)	22	(1)	20	(1)	17	(1)	14	(1)
3年		30	(1)	19	(1)	19	(1)	16	(1)	13	(1)
4年		20	(1)	22	(1)	21	(1)	19	(1)	15	(1)
5年		31	(1)	26	(1)	21	(1)	19	(1)	16	(1)
6年		35	(1)	19	(1)	15	(1)	20	(1)	15	(1)
計		161	(6)	123	(6)	115	(6)	106	(6)	85	(6)

(10)島名小学校【高山学園】

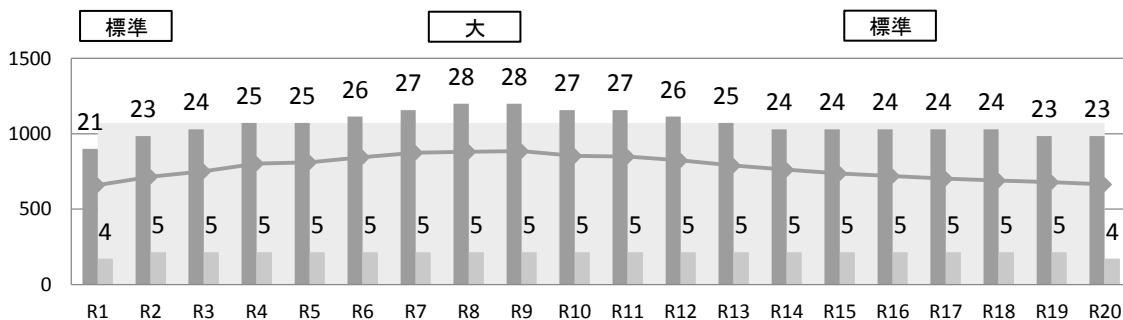
①基本情報

所在地	島名 537-1
指定学校変更制度	谷田部
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・真瀬・上郷・沼崎・柳橋・学園の森・葛城

R1年度児童数	659
R1年度学級数	普21 特4
公務員宿舍関連	—
T X関連	島名・福田坪地区（香取台、諏訪）、上河原崎・中西地区（万博公園西）

R1年度普通教室数		25
R1年度特別支援教室数		2
最大時 使用教 室数	特支	2
	普通	2
普通		23
不足教室数（普）		28-23=5（R8）

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		117	(4)	133	(4)	129	(4)	110	(4)	102	(3)
2年		115	(4)	159	(5)	136	(4)	116	(4)	106	(4)
3年		131	(4)	133	(4)	146	(5)	120	(4)	111	(4)
4年		111	(3)	138	(4)	154	(5)	125	(4)	112	(4)
5年		101	(3)	127	(4)	151	(5)	132	(4)	116	(4)
6年		84	(3)	121	(4)	138	(4)	134	(4)	118	(4)
計		659	(21)	811	(25)	854	(27)	737	(24)	665	(23)

(11)谷田部南小学校【輝翔学園】

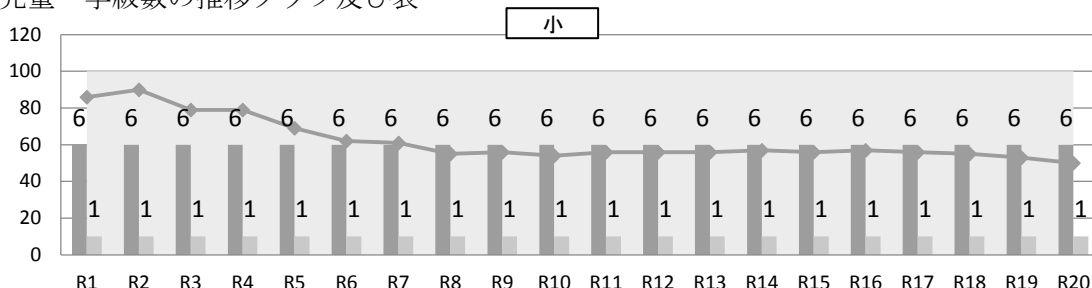
①基本情報

所在地	境田 191-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	谷田部・荻崎第一・荻崎第二・荻崎第三・みどりの学園

R1年度児童数	86
R1年度学級数	普6 特1
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1年度普通教室数	10		
R1年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	1
不足教室数(普)		9	
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		10	(1)	8	(1)	9	(1)	9	(1)	7	(1)
2年		16	(1)	11	(1)	10	(1)	10	(1)	7	(1)
3年		18	(1)	9	(1)	9	(1)	9	(1)	8	(1)
4年		11	(1)	15	(1)	9	(1)	9	(1)	9	(1)
5年		26	(1)	10	(1)	9	(1)	10	(1)	10	(1)
6年		11	(1)	16	(1)	8	(1)	9	(1)	9	(1)
計		86	(6)	69	(6)	54	(6)	56	(6)	50	(6)

(12)谷田部小学校【輝翔学園】

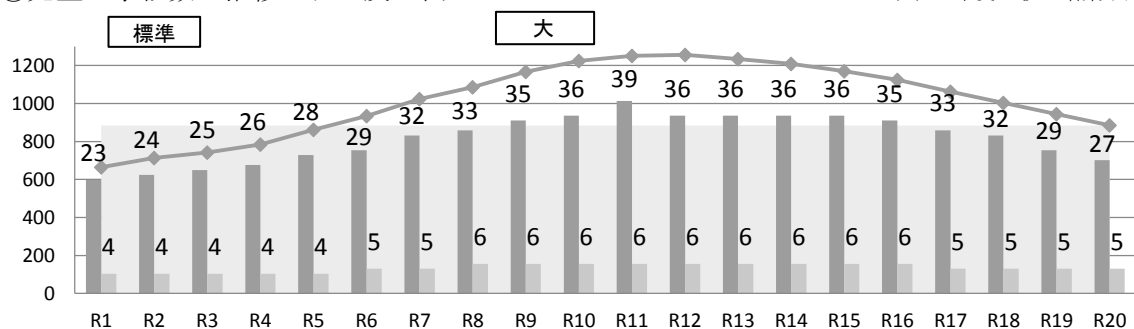
①基本情報

所在地	谷田部 2938
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	島名・柳橋・小野川・荻崎第一・谷田部南・みどりの学園

R1年度児童数	664
R1年度学級数	普19 特4
公務員宿舍関連	—
T X 関連	島名・福田坪地区(陣場)

R1年度普通教室数	34		
R1年度特別支援教室数	3		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通	普通	2
不足教室数(普)		32	
不足教室数(普)		39-32=7 (R11)	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



※令和8年度7教室増築予定

学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		106	(4)	184	(6)	209	(6)	181	(6)	131	(4)
2年		105	(3)	152	(5)	208	(6)	189	(6)	134	(4)
3年		110	(4)	133	(4)	212	(6)	195	(6)	140	(4)
4年		121	(4)	148	(5)	206	(6)	194	(6)	144	(5)
5年		108	(4)	123	(4)	188	(6)	204	(6)	162	(5)
6年		114	(4)	122	(4)	202	(6)	207	(6)	174	(5)
計		664	(23)	862	(28)	1225	(36)	1170	(36)	885	(27)

※元年度は、普通学級・特別支援学級の合計の人数を基にした学級数の為、R1年度学級数と異なります。

(13)柳橋小学校【輝翔学園】

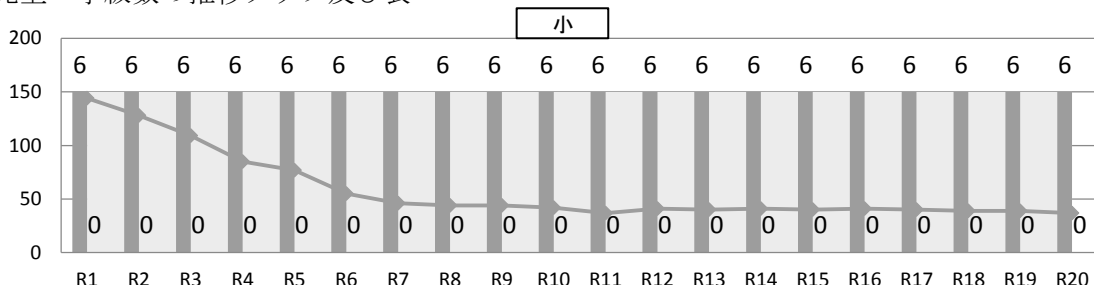
①基本情報

所在地	柳橋 360
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	谷田部・島名・葛城・手代木南・小野川

R1 年度児童数	144
R1 年度学級数	普 6
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数		6
R1 年度特別支援教室数		0
最大時 使用教 室数	特支	0
	普通	0
普通		6
不足教室数(普)		—

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		16	(1)	12	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)
2年		26	(1)	8	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)
3年		20	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	7	(1)
4年		31	(1)	8	(1)	7	(1)	8	(1)	6	(1)
5年		26	(1)	16	(1)	4	(1)	7	(1)	7	(1)
6年		25	(1)	26	(1)	12	(1)	6	(1)	6	(1)
計		144	(6)	77	(6)	42	(6)	40	(6)	37	(6)

(14)葛城小学校【光輝学園】

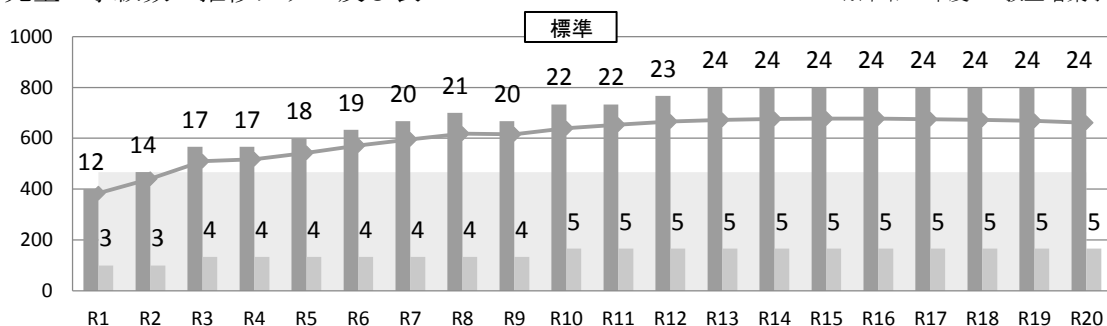
①基本情報

所在地	荻間 689
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	島名・柳橋・手代木南・松代・竹園西・吾妻・春日・学園の森

R1 年度児童数	384
R1 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	葛城地区(学園南)

R1 年度普通教室数		14
R1 年度特別支援教室数		2
最大時 使用教 室数	特支	2
	普通	2
普通		12
不足教室数(普)		24-12=12 (R13)

②児童・学級数の推移グラフ及び表



※令和3年度10教室増築予定

学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		78	(3)	98	(3)	113	(4)	112	(4)	106	(4)
2年		72	(2)	88	(3)	110	(4)	112	(4)	108	(4)
3年		75	(2)	111	(4)	109	(4)	113	(4)	110	(4)
4年		84	(2)	86	(3)	108	(4)	114	(4)	113	(4)
5年		45	(2)	82	(3)	99	(3)	113	(4)	112	(4)
6年		30	(1)	78	(2)	100	(3)	113	(4)	112	(4)
計		384	(12)	543	(18)	639	(22)	677	(24)	661	(24)

(15) 栗原小学校【桜学園】

① 基本情報

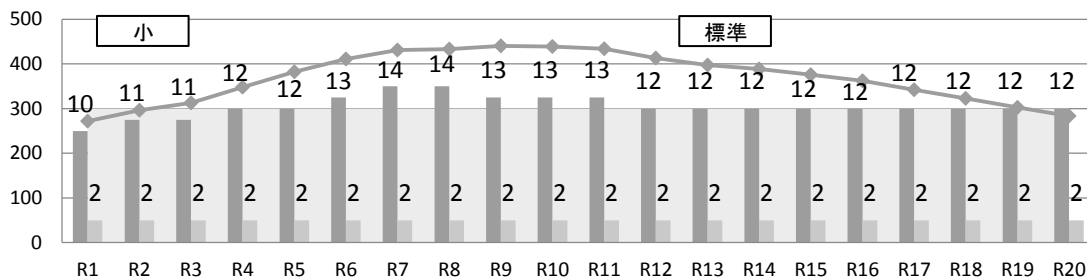
所在地	栗原 2018
指定学校変更制度	なし
中学校区	桜
隣接学区	大曽根・吾妻・九重・栄・秀峰筑波

R1 年度児童数	272
R1 年度学級数	普 10 特 2
公務員宿舍関連	—
T X 関連	中根・金田台地区 (春風台)

R1 年度普通教室数	12		
R1 年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通		1
普通		11	
不足教室数 (普)		14-11=3 (R7)	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表

※令和 4 年度 5 教室増築予定



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		53	(2)	67	(2)	64	(2)	56	(2)	41	(2)
2 年		52	(2)	65	(2)	67	(2)	61	(2)	43	(2)
3 年		41	(1)	61	(2)	69	(2)	63	(2)	45	(2)
4 年		34	(1)	70	(2)	78	(2)	64	(2)	46	(2)
5 年		47	(2)	61	(2)	85	(3)	66	(2)	52	(2)
6 年		45	(2)	58	(2)	76	(2)	66	(2)	56	(2)
計		272	(10)	382	(12)	439	(13)	376	(12)	283	(12)

(16) 栄小学校【桜学園】

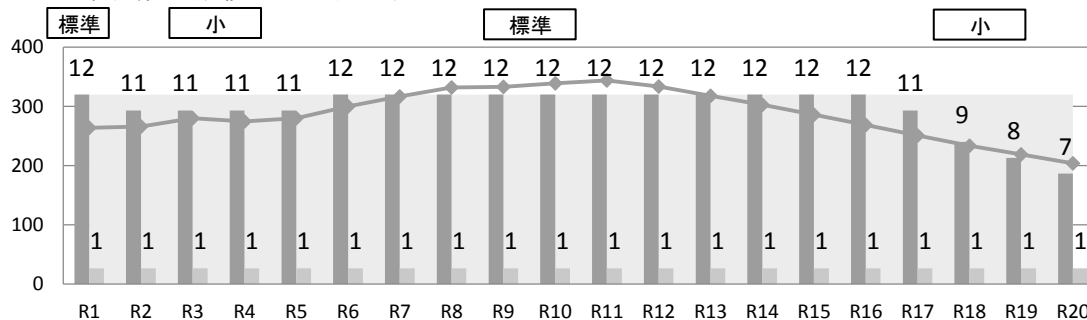
① 基本情報

所在地	金田 54
指定学校変更制度	桜南
中学校区	桜
隣接学区	栗原・九重・桜南

R1 年度児童数	264
R1 年度学級数	普 12 特 1
公務員宿舍関連	—
T X 関連	中根・金田台地区 (さくらの森)

R1 年度普通教室数	12		
R1 年度特別支援教室数	1		
最大時 使用教 室数	特支	特支	1
	普通		0
普通		12	
不足教室数 (普)		—	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		45	(2)	44	(2)	54	(2)	41	(2)	29	(1)
2 年		39	(2)	48	(2)	57	(2)	44	(2)	31	(1)
3 年		43	(2)	56	(2)	59	(2)	46	(2)	32	(1)
4 年		53	(2)	45	(2)	62	(2)	49	(2)	34	(1)
5 年		41	(2)	47	(2)	59	(2)	52	(2)	37	(1)
6 年		43	(2)	40	(1)	48	(2)	54	(2)	41	(2)
計		264	(12)	280	(11)	339	(12)	286	(12)	204	(7)

(17)九重小学校【桜学園】

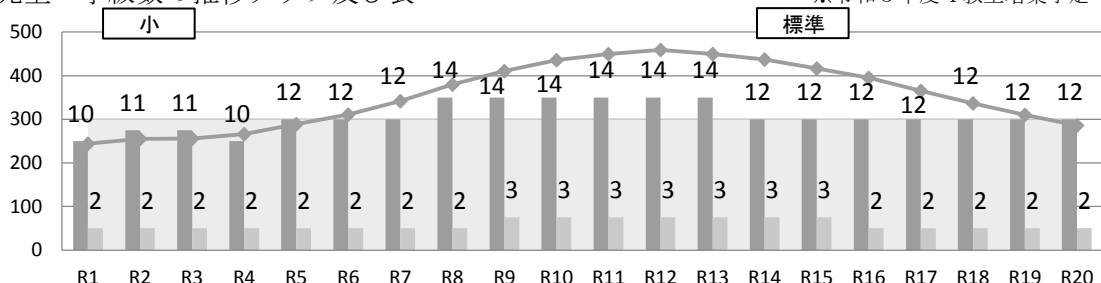
①基本情報

所在地	上ノ室 2126
指定学校変更制度	竹園東
中学校区	桜
隣接学区	栄・栗原・吾妻・竹園東・並木・桜南

R1年度児童数	244
R1年度学級数	普10 特2
公務員宿舍関連	—
T X関連	中根・金台地区(流星台)

R1年度普通教室数	12		
R1年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	1
不足教室数(普)	14-11=3 (R8)		

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		40	(2)	63	(2)	77	(3)	62	(2)	42	(2)
2年		36	(1)	49	(2)	76	(3)	65	(2)	42	(2)
3年		45	(2)	47	(2)	76	(2)	69	(2)	44	(2)
4年		45	(2)	42	(2)	77	(2)	73	(2)	47	(2)
5年		46	(2)	47	(2)	60	(2)	74	(2)	53	(2)
6年		32	(1)	41	(2)	70	(2)	74	(2)	58	(2)
計		244	(10)	289	(12)	436	(14)	417	(12)	286	(12)

(18)荃崎第一小学校【高崎学園】

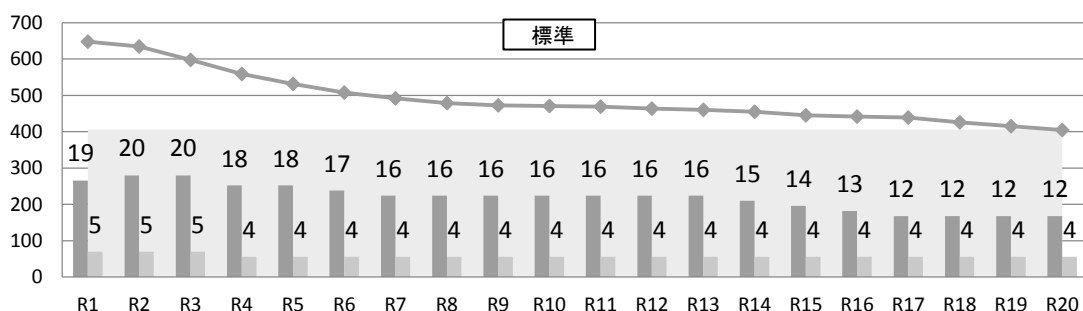
①基本情報

所在地	高崎 2290
指定学校変更制度	なし
中学校区	高崎
隣接学区	荃崎第三・谷田部南・谷田部・小野川

R1年度児童数	650
R1年度学級数	普19 特5
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数	29		
R1年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	3
不足教室数(普)	—		

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		94	(3)	73	(3)	70	(2)	72	(3)	64	(2)
2年		106	(3)	68	(2)	80	(3)	74	(3)	65	(2)
3年		103	(3)	87	(3)	81	(3)	76	(2)	66	(2)
4年		109	(3)	97	(3)	82	(3)	80	(2)	68	(2)
5年		126	(4)	97	(3)	84	(3)	71	(2)	69	(2)
6年		112	(3)	110	(4)	74	(2)	72	(2)	73	(2)
計		650	(19)	532	(18)	471	(16)	445	(14)	405	(12)

(19) 荊崎第二小学校【荊崎学園】

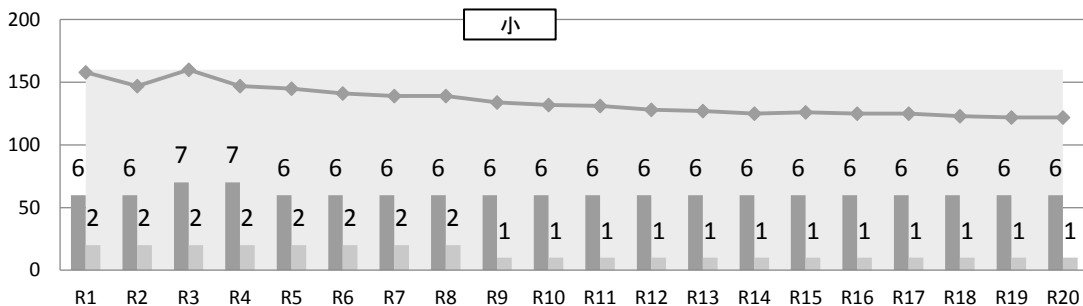
① 基本情報

所在地	上岩崎 1076
指定学校変更制度	なし
中学校区	荊崎
隣接学区	荊崎第三・谷田部南

R1 年度児童数	158
R1 年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舎関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数		15
R1 年度特別支援教室数		1
最大時 使用教 室数	特支	1
	普通	1
不足教室数(普)		—

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		32	(1)	20	(1)	16	(1)	32	(1)	18	(1)
2 年		21	(1)	18	(1)	32	(1)	18	(1)	27	(1)
3 年		22	(1)	37	(1)	20	(1)	28	(1)	15	(1)
4 年		29	(1)	20	(1)	28	(1)	15	(1)	18	(1)
5 年		23	(1)	30	(1)	17	(1)	18	(1)	14	(1)
6 年		31	(1)	20	(1)	19	(1)	15	(1)	30	(1)
計		158	(6)	145	(6)	132	(6)	126	(6)	122	(6)

(20) 荊崎第三小学校【荊崎学園】

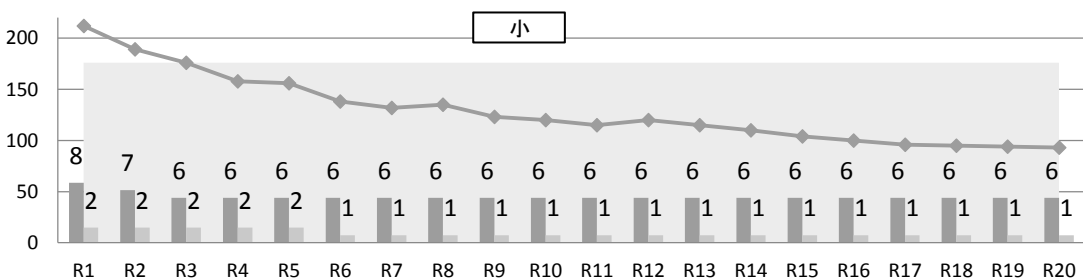
① 基本情報

所在地	小荊 798-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	荊崎
隣接学区	谷田部南・荊崎第一・荊崎第二

R1 年度児童数	212
R1 年度学級数	普 8 特 2
公務員宿舎関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数		24
R1 年度特別支援教室数		3
最大時 使用教 室数	特支	3
	普通	0
不足教室数(普)		—

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		28	(1)	24	(1)	19	(1)	16	(1)	15	(1)
2 年		31	(1)	22	(1)	21	(1)	17	(1)	16	(1)
3 年		27	(1)	32	(1)	22	(1)	18	(1)	15	(1)
4 年		37	(1)	20	(1)	22	(1)	16	(1)	16	(1)
5 年		45	(2)	26	(1)	12	(1)	19	(1)	15	(1)
6 年		44	(2)	32	(1)	24	(1)	18	(1)	16	(1)
計		212	(8)	156	(6)	120	(6)	104	(6)	93	(6)

(21)竹園東小学校【竹園学園】

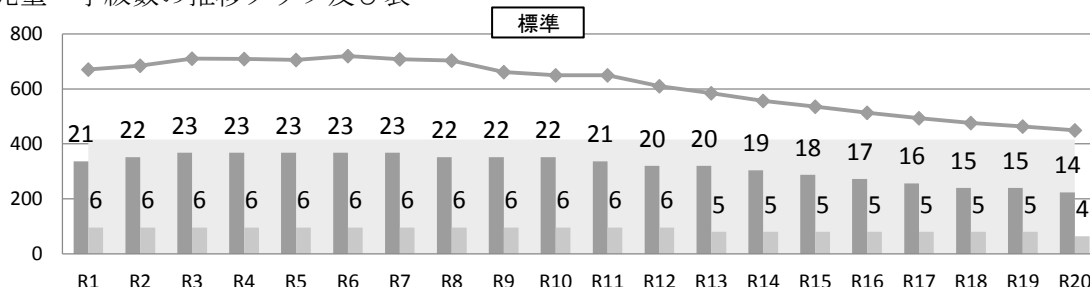
①基本情報

所在地	竹園 3-13
指定学校変更制度	九重
中学校区	竹園東
隣接学区	九重・並木・竹園西・吾妻

R1 年度児童数	658
R1 年度学級数	普 21 特 6
公務員宿舍関連	竹園 3 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	26		
R1 年度特別支援教室数	6		
最大時 使用教 室数	特支	特支	6
	普通	普通	0
不足教室数(普)	—		

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		116	(4)	84	(3)	89	(3)	73	(3)	61	(2)
2年		94	(3)	113	(4)	96	(3)	79	(3)	69	(2)
3年		96	(3)	141	(4)	114	(4)	87	(3)	76	(2)
4年		125	(4)	115	(4)	109	(4)	89	(3)	74	(2)
5年		122	(4)	141	(4)	147	(5)	107	(3)	88	(3)
6年		105	(3)	111	(4)	94	(3)	100	(3)	81	(3)
計		658	(21)	705	(23)	649	(22)	535	(18)	449	(14)

(22)竹園西小学校【竹園学園】

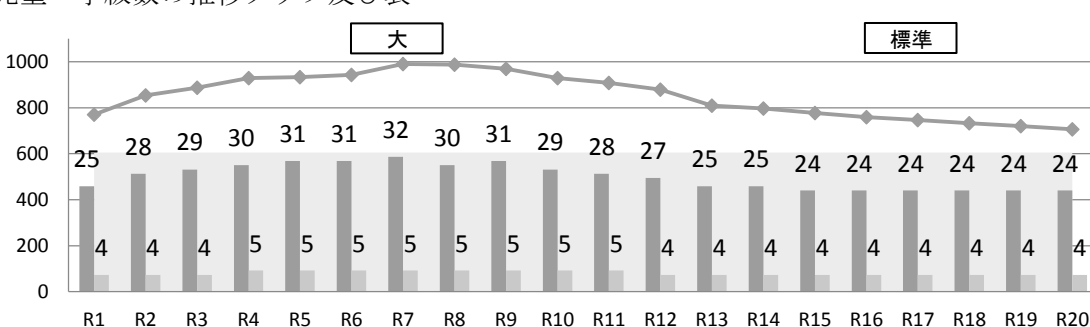
①基本情報

所在地	竹園 2-19-3
指定学校変更制度	なし
中学校区	竹園東
隣接学区	吾妻・竹園東・並木・東・二の宮・手代木南・葛城

R1 年度児童数	769
R1 年度学級数	普 25 特 4
公務員宿舍関連	竹園 1 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	33		
R1 年度特別支援教室数	4		
最大時 使用教 室数	特支	特支	4
	普通	普通	1
不足教室数(普)	—		

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		121	(4)	150	(5)	136	(4)	121	(4)	111	(4)
2年		129	(4)	178	(6)	146	(5)	125	(4)	116	(4)
3年		121	(4)	165	(5)	139	(4)	129	(4)	119	(4)
4年		146	(5)	145	(5)	196	(6)	132	(4)	120	(4)
5年		118	(4)	143	(5)	157	(5)	132	(4)	117	(4)
6年		134	(4)	152	(5)	155	(5)	139	(4)	124	(4)
計		769	(25)	933	(31)	929	(29)	778	(24)	707	(24)

(23)桜南小学校【桜並木学園】

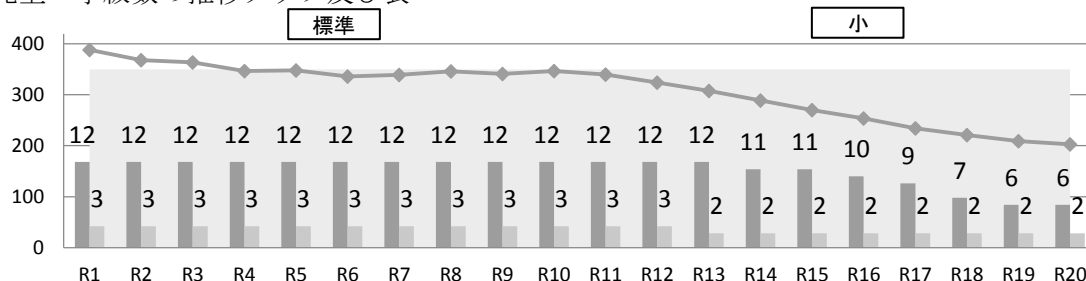
①基本情報

所在地	大角豆 789-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	小野川・東・並木・九重・栄

R1 年度児童数	388
R1 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舍関連	並木 3 丁目、4 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	24	
R1 年度特別支援教室数	2	
最大時 使用教 室数	特支	2
	普通	1
不足教室数(普)	23	
不足教室数(普)	—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		55	(2)	52	(2)	51	(2)	35	(1)	29	(1)
2 年		70	(2)	46	(2)	55	(2)	36	(2)	32	(1)
3 年		59	(2)	60	(2)	56	(2)	43	(2)	34	(1)
4 年		67	(2)	56	(2)	61	(2)	47	(2)	34	(1)
5 年		62	(2)	59	(2)	62	(2)	53	(2)	37	(1)
6 年		75	(2)	75	(2)	62	(2)	56	(2)	37	(1)
計		388	(12)	348	(12)	347	(12)	270	(11)	203	(6)

(24)並木小学校【桜並木学園】

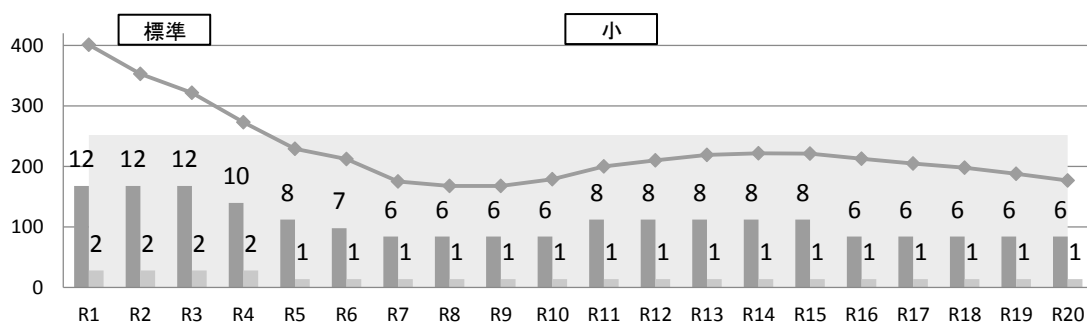
①基本情報

所在地	並木 2-12
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	東・竹園西・竹園東・九重・桜南

R1 年度児童数	400
R1 年度学級数	普 12 特 2
公務員宿舍関連	並木 2 丁目、4 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	18	
R1 年度特別支援教室数	7	
最大時 使用教 室数	特支	7
	普通	0
不足教室数(普)	18	
不足教室数(普)	—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		58	(2)	19	(1)	34	(1)	36	(2)	25	(1)
2 年		58	(2)	25	(1)	34	(1)	36	(2)	26	(1)
3 年		63	(2)	36	(1)	31	(1)	36	(1)	29	(1)
4 年		73	(2)	37	(1)	27	(1)	37	(1)	31	(1)
5 年		68	(2)	57	(2)	31	(1)	39	(1)	31	(1)
6 年		80	(2)	55	(2)	22	(1)	37	(1)	35	(1)
計		400	(12)	229	(8)	179	(6)	221	(8)	177	(6)

(25)松代小学校【光輝学園】

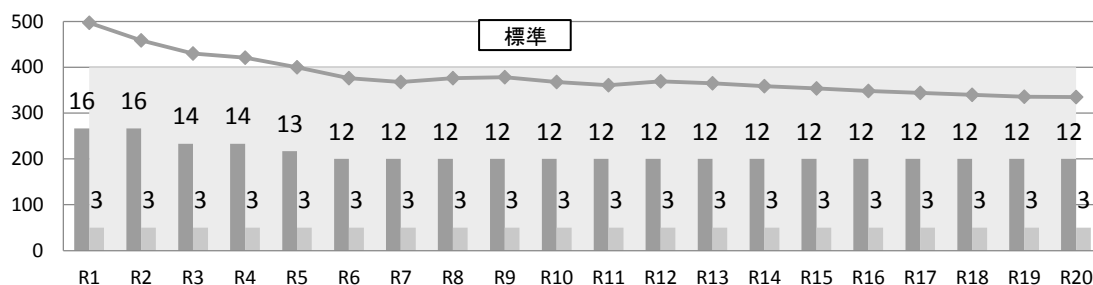
①基本情報

所在地	松代 3-3-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	手代木南・葛城

R1 年度児童数	497
R1 年度学級数	普 16 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	20		
R1 年度特別支援教室数	4		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通		0
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		71	(2)	67	(2)	62	(2)	57	(2)	56	(2)
2年		73	(3)	72	(3)	62	(2)	57	(2)	55	(2)
3年		87	(3)	60	(2)	63	(2)	59	(2)	55	(2)
4年		81	(2)	55	(2)	63	(2)	59	(2)	56	(2)
5年		90	(3)	71	(2)	51	(2)	60	(2)	56	(2)
6年		95	(3)	75	(2)	67	(2)	62	(2)	57	(2)
計		497	(16)	400	(13)	368	(12)	354	(12)	335	(12)

(26)手代木南小学校【光輝学園】

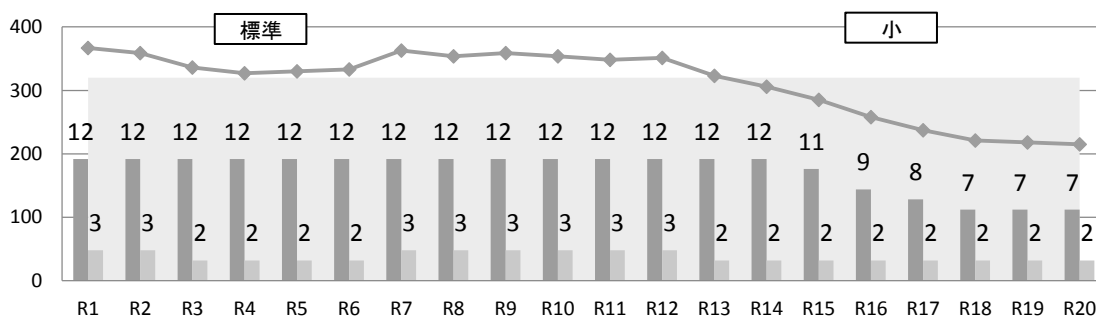
①基本情報

所在地	松代 4-24
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	松代・葛城・柳橋・ 小野川・二の宮・ 竹園西・吾妻

R1 年度児童数	367
R1 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舍関連	松代 4 丁目、5 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	18		
R1 年度特別支援教室数	4		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通		0
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		45	(2)	55	(2)	60	(2)	36	(2)	34	(1)
2年		54	(2)	59	(2)	60	(2)	40	(2)	36	(2)
3年		60	(2)	46	(2)	55	(2)	39	(1)	36	(1)
4年		62	(2)	61	(2)	67	(2)	52	(2)	36	(1)
5年		66	(2)	51	(2)	49	(2)	57	(2)	36	(1)
6年		80	(2)	58	(2)	63	(2)	61	(2)	37	(1)
計		367	(12)	330	(12)	354	(12)	285	(11)	215	(7)

(27)二の宮小学校【洞峰学園】

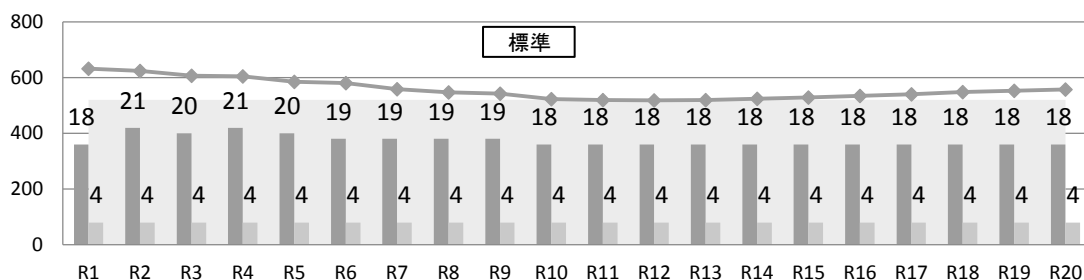
①基本情報

所在地	二の宮 4-11
指定学校変更制度	竹園西
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・手代木南・竹園西・東

R1 年度児童数	632
R1 年度学級数	普 18 特 4
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	24		
R1 年度特別支援教室数	2		
最大時 使用教 室数	特支	特支	2
	普通	普通	1
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		107	(3)	88	(3)	84	(3)	90	(3)	92	(3)
2年		91	(3)	107	(4)	86	(3)	89	(3)	92	(3)
3年		108	(3)	89	(3)	85	(3)	87	(3)	93	(3)
4年		113	(3)	98	(3)	87	(3)	87	(3)	94	(3)
5年		107	(3)	109	(4)	89	(3)	88	(3)	92	(3)
6年		106	(3)	94	(3)	92	(3)	88	(3)	94	(3)
計		632	(18)	585	(20)	523	(18)	529	(18)	557	(18)

(28)東小学校【洞峰学園】

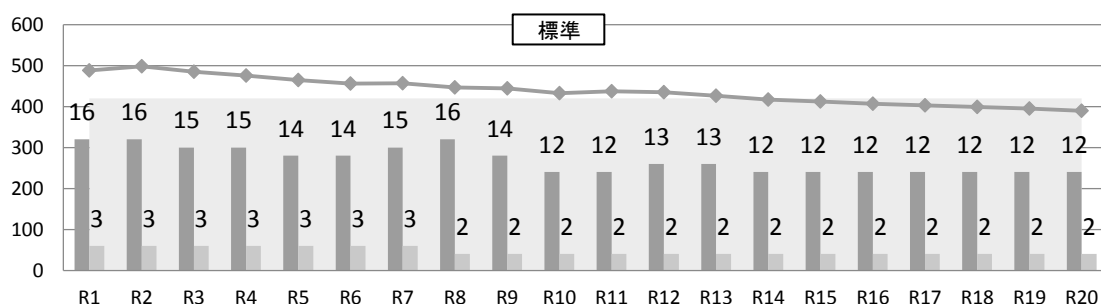
①基本情報

所在地	東 2-24
指定学校変更制度	並木
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・二の宮・竹園西・並木・桜南

R1 年度児童数	488
R1 年度学級数	普 16 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	20		
R1 年度特別支援教室数	1		
最大時 使用教 室数	特支	特支	1
	普通	普通	1
不足教室数(普)		—	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		70	(2)	66	(2)	68	(2)	63	(2)	59	(2)
2年		74	(3)	83	(3)	70	(2)	65	(2)	61	(2)
3年		77	(2)	79	(2)	74	(2)	67	(2)	63	(2)
4年		86	(3)	90	(3)	75	(2)	68	(2)	65	(2)
5年		92	(3)	70	(2)	75	(2)	73	(2)	70	(2)
6年		89	(3)	77	(2)	71	(2)	76	(2)	72	(2)
計		488	(16)	465	(14)	433	(12)	412	(12)	390	(12)

(29)吾妻小学校【吾妻学園】

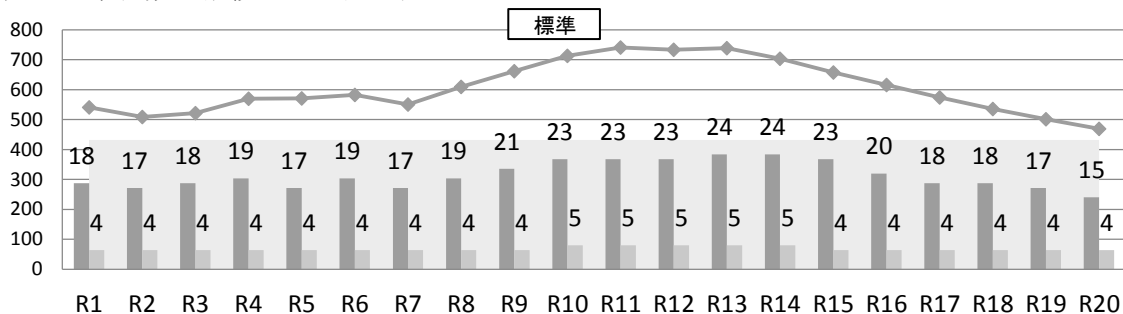
①基本情報

所在地	吾妻 2-16
指定学校変更制度	なし
中学校区	吾妻
隣接学区	大曾根・栗原・九重・竹園東・竹園西・手代木南・葛城・要・春日学園

R1年度児童数	541
R1年度学級数	普 18 特 4
公務員宿舎関連	吾妻 1 丁目～3 丁目
T X 関連	—

R1年度普通教室数		27
R1年度特別支援教室数		5
最大時使用教室数	特支	5
	普通	0
不足教室数(普)		—

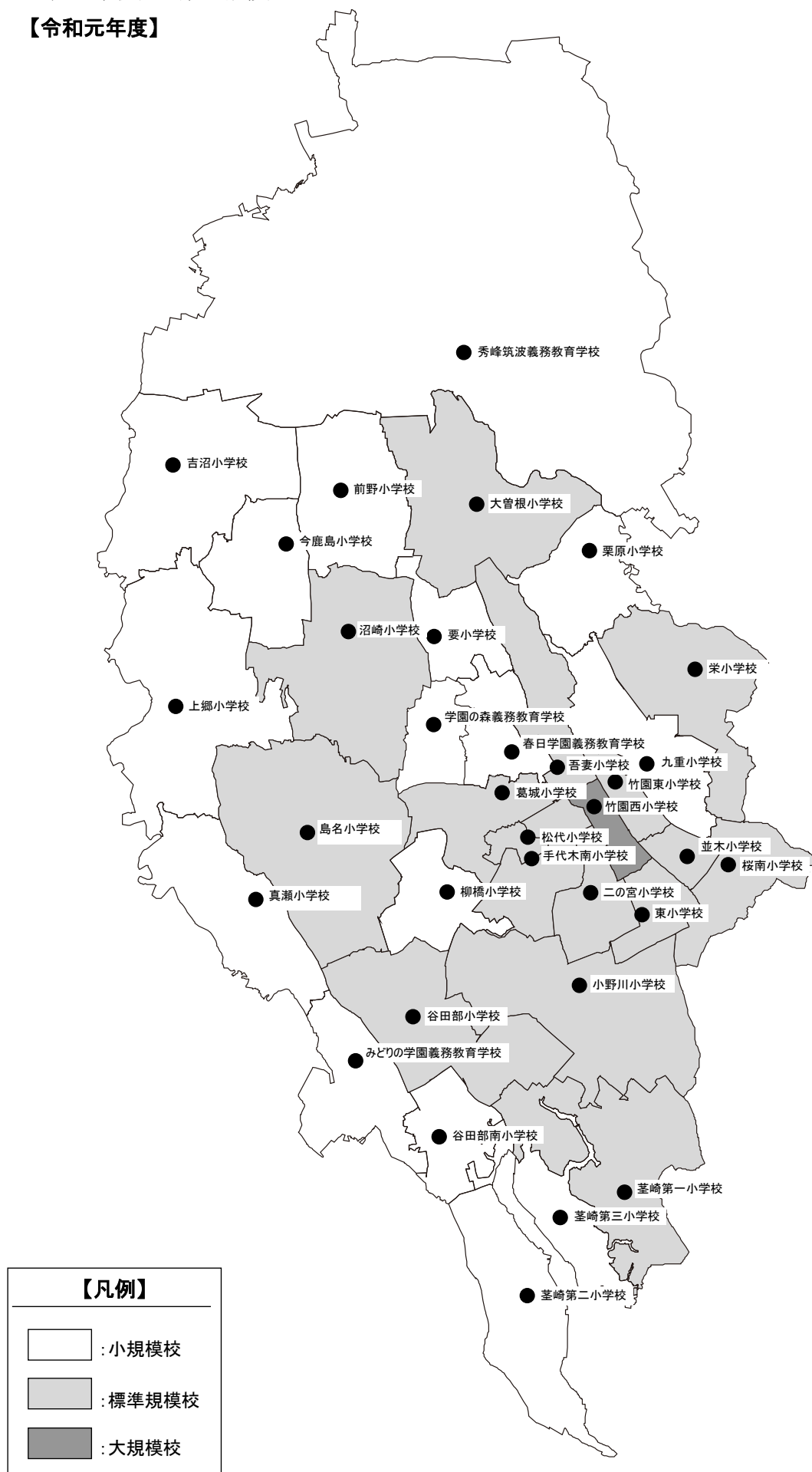
②児童・学級数の推移グラフ及び表



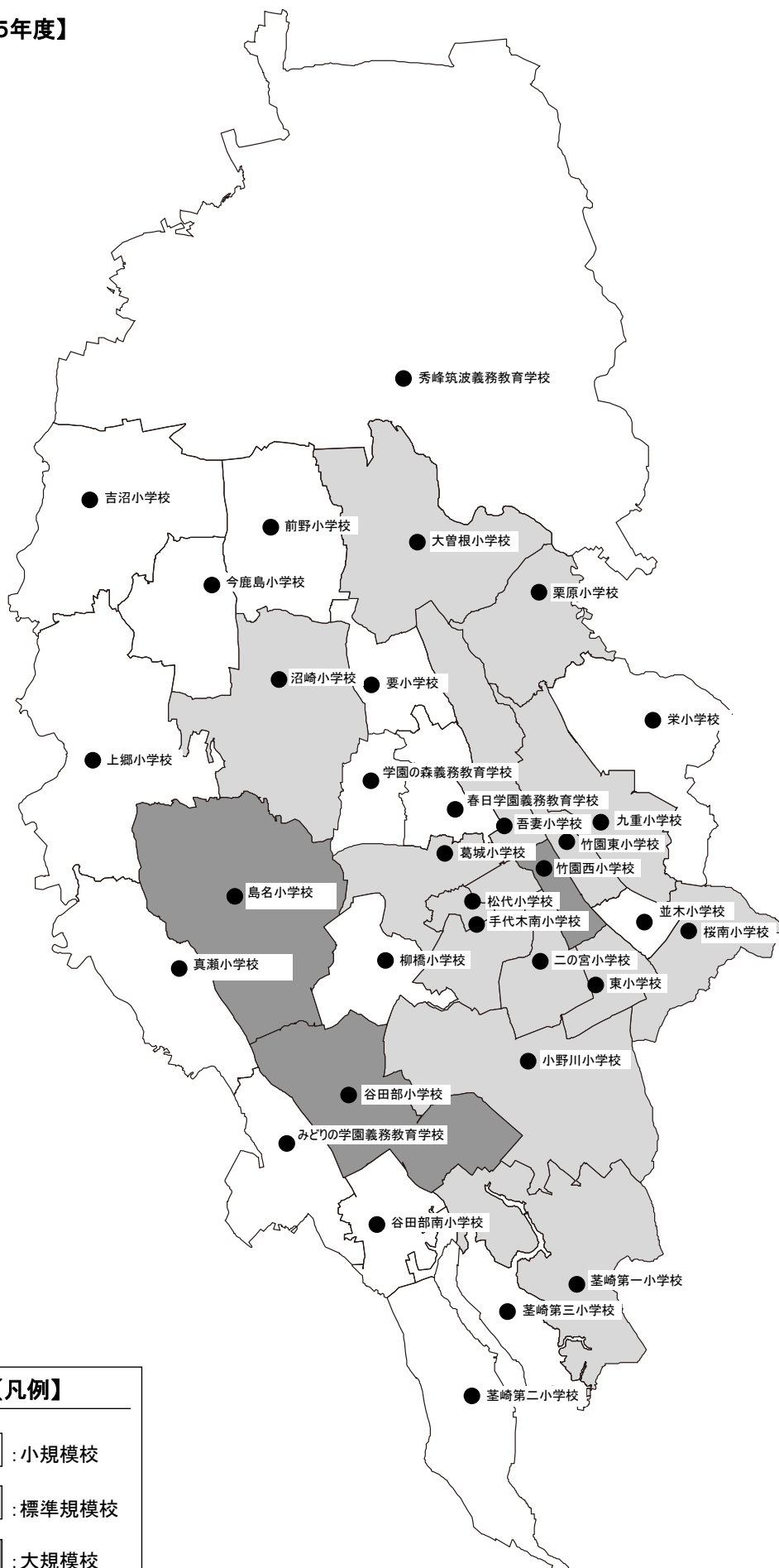
学年	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	115	(4)	94	(3)	136	(4)	106	(4)	78	(3)
2年	87	(3)	99	(3)	147	(5)	110	(4)	76	(3)
3年	91	(3)	116	(4)	144	(5)	115	(4)	77	(2)
4年	80	(2)	78	(2)	98	(3)	108	(4)	75	(2)
5年	85	(3)	104	(3)	103	(3)	105	(3)	78	(2)
6年	83	(3)	80	(2)	85	(3)	114	(4)	85	(3)
計	541	(18)	571	(17)	713	(23)	658	(23)	469	(15)




2) 小学校区の期別推移図

【令和元年度】

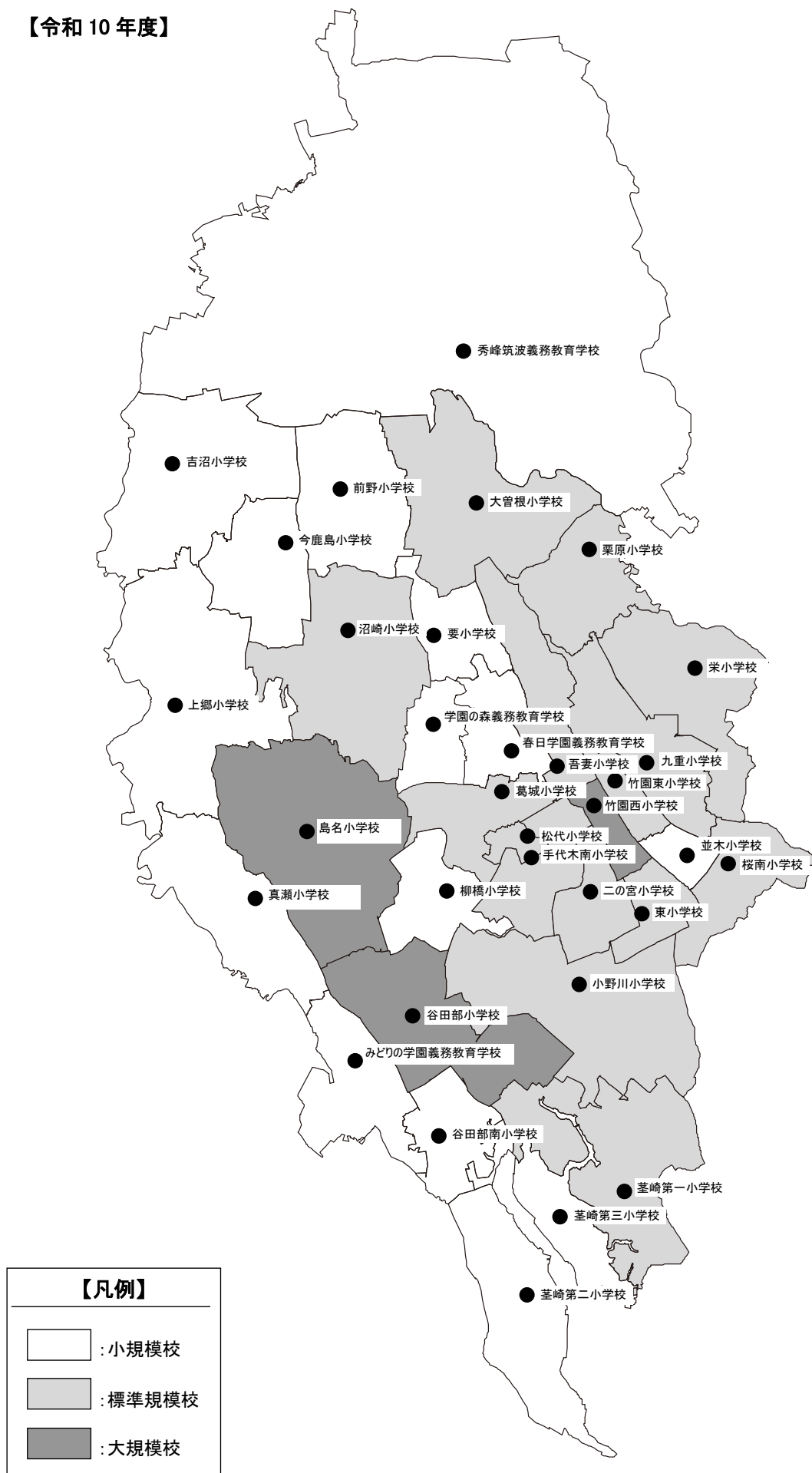


【令和5年度】

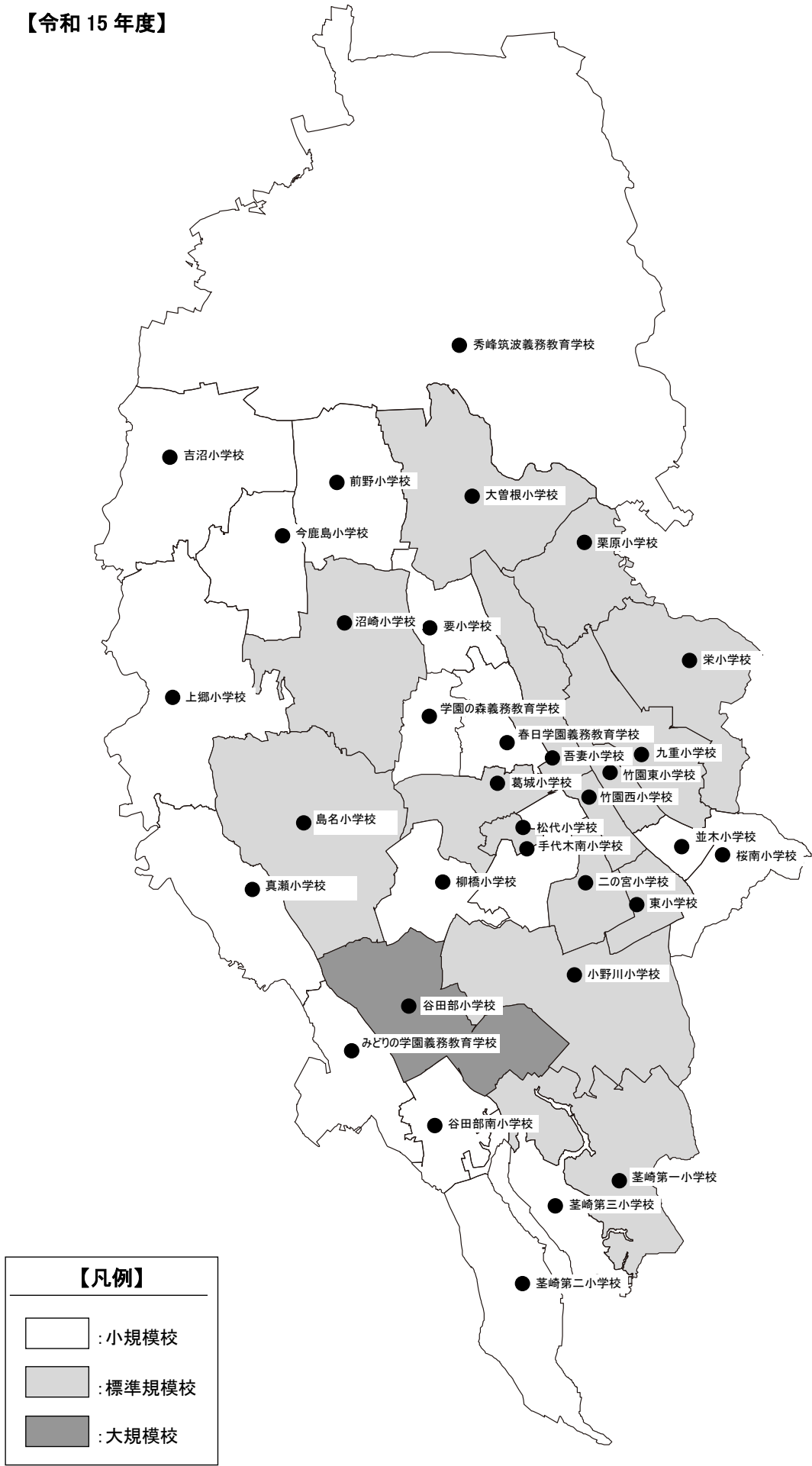


【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校

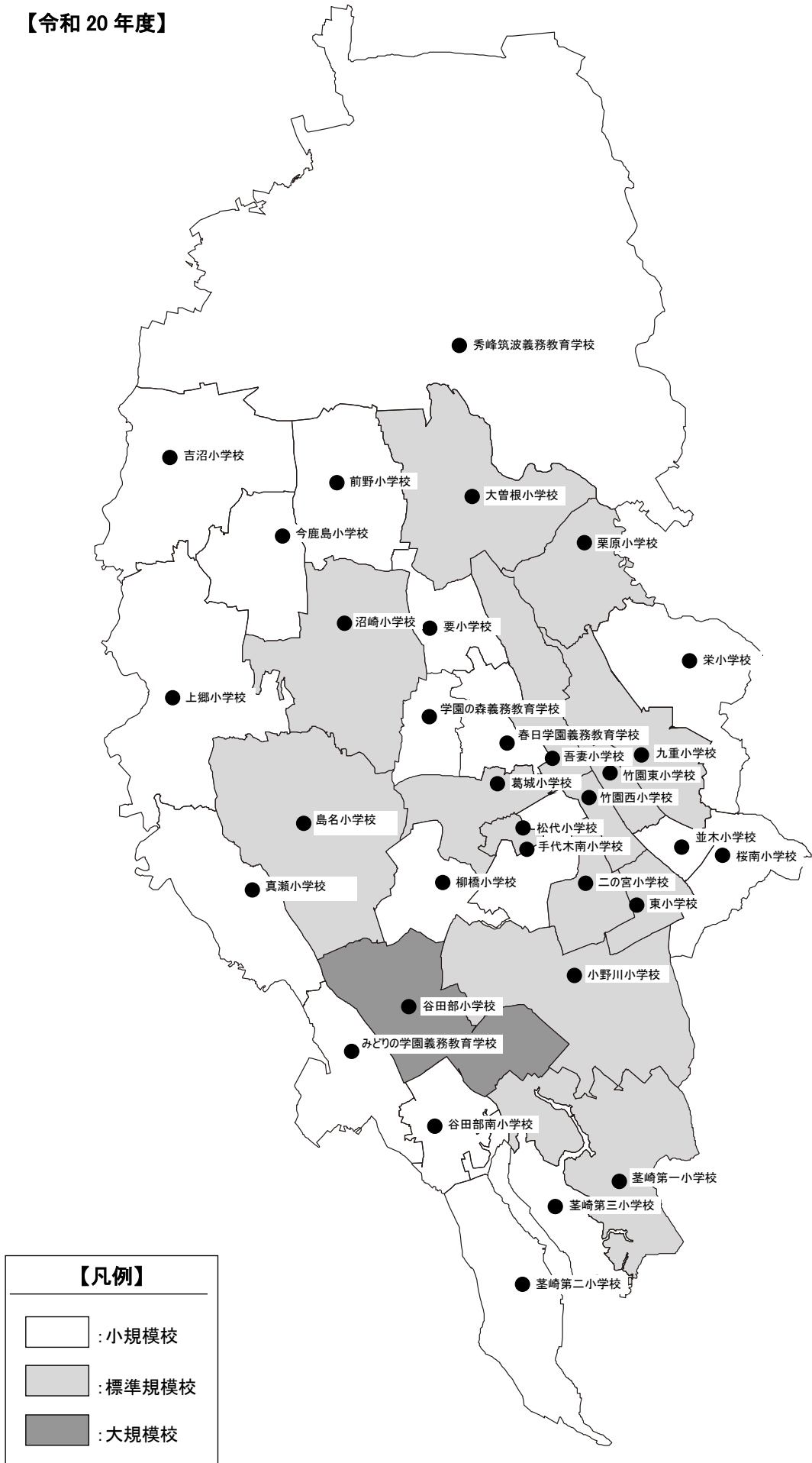
【令和 10 年度】



【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



4. 中学校区の将来推計

1) 中学校の推移グラフ及び表

(1)大穂中学校【大穂学園】

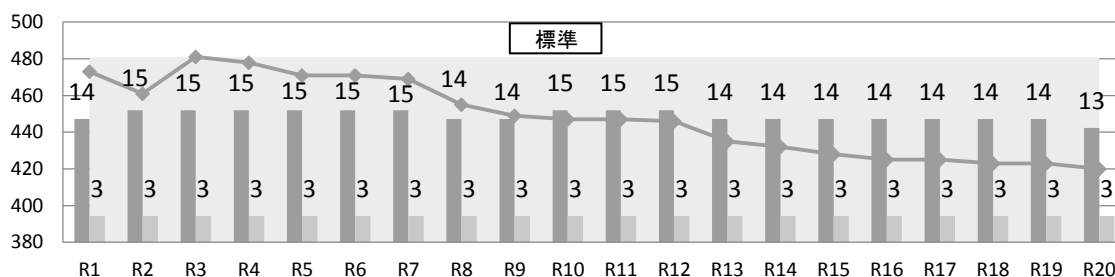
①基本情報

所在地	篠崎 475
指定学校変更制度	豊里
小学校区	大曾根・前野・要・吉沼
隣接学区	豊里

R1年度生徒数	473
R1年度学級数	普 14 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1年度普通教室数	19		
R1年度特別支援教室数	4		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通	普通	0
不足教室数(普)	—		

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		155	(5)	153	(5)	146	(5)	146	(5)	139	(4)
2年		143	(4)	153	(5)	157	(5)	150	(5)	125	(4)
3年		175	(5)	165	(5)	144	(5)	132	(4)	156	(5)
計		473	(14)	471	(15)	447	(15)	428	(14)	420	(13)

(2)豊里中学校【豊里学園】

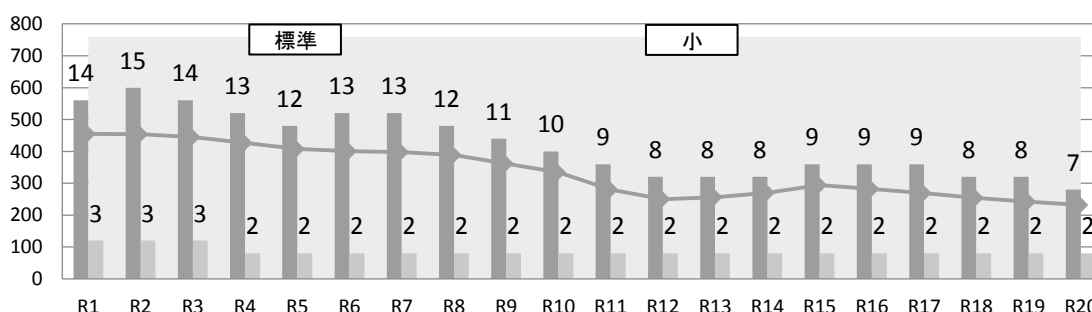
①基本情報

所在地	高野 1213
指定学校変更制度	なし
小学校区	沼崎・今鹿島・上郷
隣接学区	大穂・高山・学園の森

R1年度生徒数	455
R1年度学級数	普 14 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1年度普通教室数	19		
R1年度特別支援教室数	0		
最大時 使用教 室数	特支	特支	0
	普通	普通	2
不足教室数(普)	—		

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		146	(4)	142	(4)	96	(3)	94	(3)	73	(2)
2年		148	(5)	130	(4)	103	(4)	98	(3)	76	(2)
3年		161	(5)	136	(4)	135	(4)	102	(3)	83	(3)
計		455	(14)	408	(12)	334	(10)	294	(9)	232	(7)

(3) 谷田部中学校 【輝翔学園】

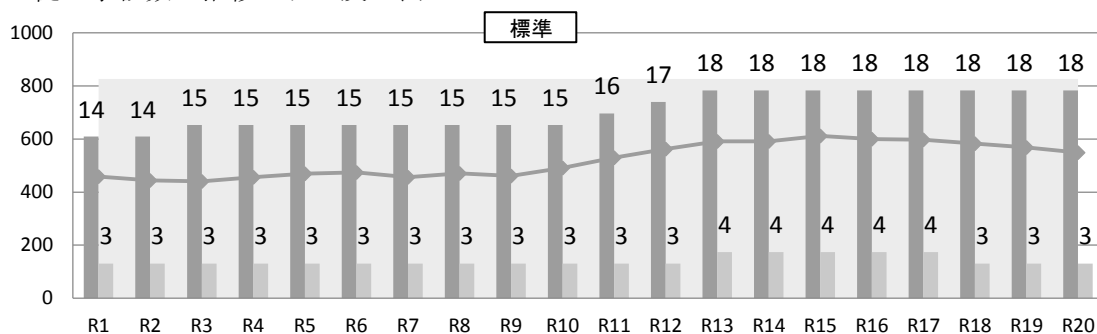
① 基本情報

所在地	谷田部 6100
指定学校変更制度	なし
小学校区	谷田部・谷田部南・柳橋
隣接学区	高山・手代木・谷田部東・荻崎・高崎・みどりの学園

R1 年度生徒数	456
R1 年度学級数	普 14 特 3
公務員宿舍関連	—
T X 関連	島名・福田坪地区（陣馬）

R1 年度普通教室数	19		
R1 年度特別支援教室数	3		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通	普通	1
不足教室数（普）	—		

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	146	(4)	152	(5)	173	(5)	207	(6)	183	(6)
2 年	158	(5)	164	(5)	150	(5)	204	(6)	185	(6)
3 年	152	(5)	153	(5)	168	(5)	201	(6)	181	(6)
計	456	(14)	469	(15)	491	(15)	612	(18)	549	(18)

(4) 高山中学校 【高山学園】

① 基本情報

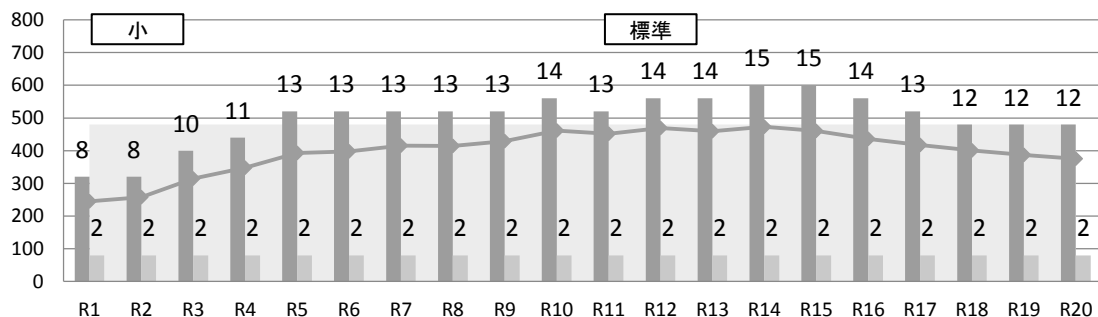
所在地	下河原崎 503
指定学校変更制度	谷田部
小学校区	島名・真瀬
隣接学区	大穂・豊里・谷田部・みどりの学園・学園の森

R1 年度生徒数	245
R1 年度学級数	普 8 特 2
公務員宿舍関連	—
T X 関連	上河原崎・中西地区・島名・福田坪地区

R1 年度普通教室数	12		
R1 年度特別支援教室数	7		
最大時 使用教 室数	特支	特支	2
	普通	普通	0
不足教室数（普）	15-12=3 (R14)		

※令和 5 年度 4 教室増築予定

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	92	(3)	149	(5)	172	(5)	145	(5)	122	(4)
2 年	64	(2)	123	(4)	141	(4)	153	(5)	124	(4)
3 年	89	(3)	121	(4)	148	(5)	162	(5)	129	(4)
計	245	(8)	393	(13)	461	(14)	460	(15)	375	(12)

(5)桜中学校【桜学園】

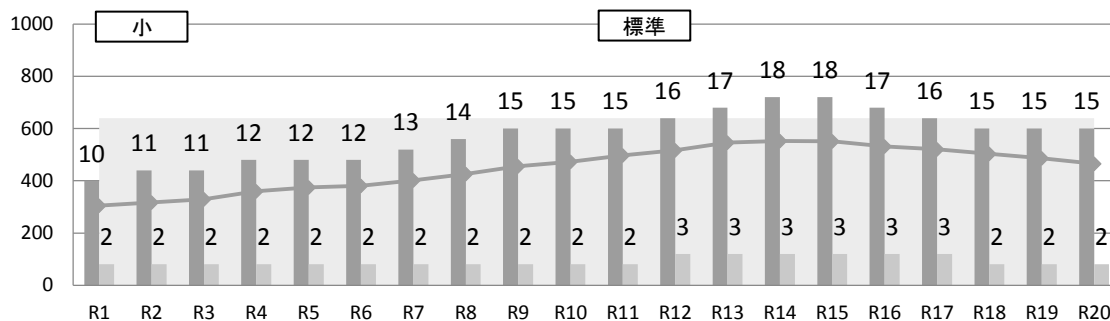
①基本情報

所在地	さくらの森 32
指定学校変更制度	並木
小学校区	栄・九重・栗原
隣接学区	大穂・竹園東・並木・吾妻・秀峰筑波

R1 年度生徒数	295
R1 年度学級数	普 10 特 2
公務員宿舍関連	—
T X 関連	中根・金田台地区

R1 年度普通教室数		16
R1 年度特別支援教室数		3
最大時 使用教 室数	特支	3
	普通	0
普通		16
不足教室数(普)		18-16=2 (R14)

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	89	(3)	126	(4)	162	(5)	181	(6)	149	(5)
2 年	108	(4)	124	(4)	159	(5)	180	(6)	155	(5)
3 年	98	(3)	125	(4)	152	(5)	191	(6)	161	(5)
計	295	(10)	375	(12)	473	(15)	552	(18)	465	(15)

(6)荃崎中学校【荃崎学園】

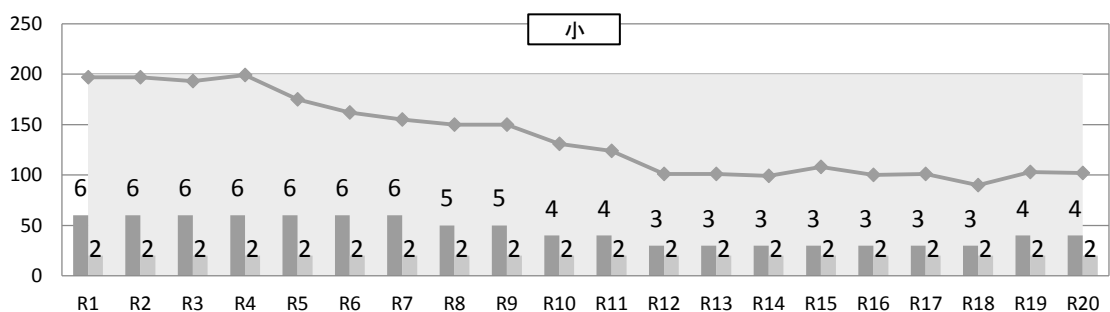
①基本情報

所在地	小荃 450
指定学校変更制度	なし
小学校区	荃崎第二、荃崎第三
隣接学区	谷田部・高崎

R1 年度生徒数	197
R1 年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舍関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数		22
R1 年度特別支援教室数		2
最大時 使用教 室数	特支	2
	普通	0
普通		22
不足教室数(普)		—

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	58	(2)	45	(2)	39	(1)	38	(1)	31	(1)
2 年	68	(2)	63	(2)	52	(2)	31	(1)	44	(2)
3 年	71	(2)	67	(2)	40	(1)	39	(1)	27	(1)
計	197	(6)	175	(6)	131	(4)	108	(3)	102	(4)

(7)高崎中学校【高崎学園】

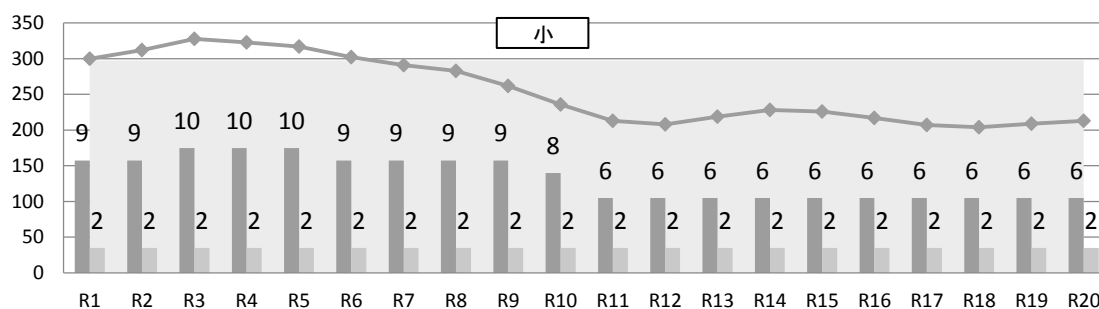
①基本情報

所在地	高崎 1730
指定学校変更制度	なし
小学校区	荃崎第一
隣接学区	谷田部・谷田部東・荃崎

R1年度生徒数	300
R1年度学級数	普9 特2
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数	19		
R1年度特別支援教室数	2		
最大時 使用教 室数	特支	特支	2
	普通	普通	0
不足教室数(普)		—	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		107	(3)	99	(3)	65	(2)	77	(2)	70	(2)
2年		102	(3)	102	(3)	82	(3)	75	(2)	71	(2)
3年		91	(3)	116	(4)	89	(3)	74	(2)	72	(2)
計		300	(9)	317	(10)	236	(8)	226	(6)	213	(6)

(8)竹園東中学校【竹園学園】

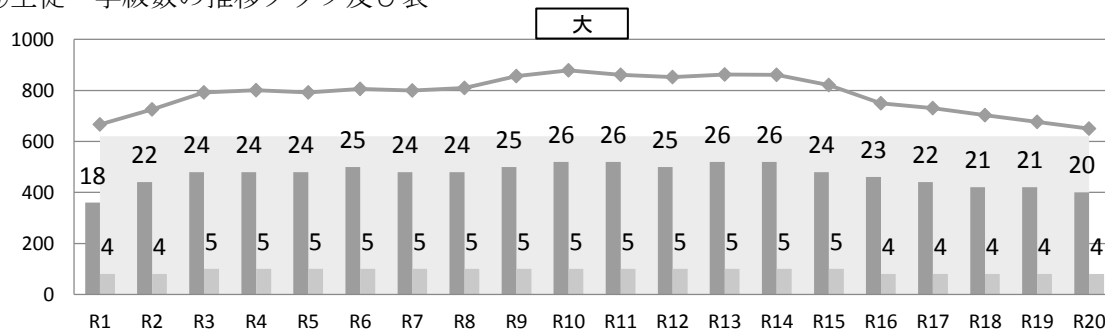
①基本情報

所在地	竹園 3-11
指定学校変更制度	桜
小学校区	竹園西・竹園東
隣接学区	手代木・谷田部東・桜・並木・吾妻

R1年度生徒数	608
R1年度学級数	普18 特4
公務員宿舍関連	竹園1丁目、3丁目
T X関連	—

R1年度普通教室数	29		
R1年度特別支援教室数	6		
最大時 使用教 室数	特支	特支	5
	普通	普通	0
不足教室数(普)		—	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		222	(7)	265	(8)	308	(9)	258	(8)	213	(7)
2年		181	(5)	271	(8)	300	(9)	246	(7)	208	(6)
3年		205	(6)	256	(8)	271	(8)	317	(9)	229	(7)
計		608	(18)	792	(24)	879	(26)	821	(24)	650	(20)

(9) 並木中学校 【桜並木学園】

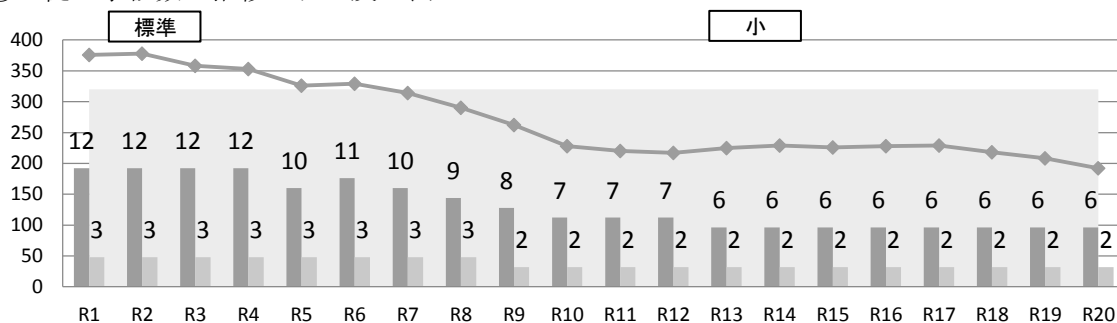
① 基本情報

所在地	並木 3-8
指定学校変更制度	なし
小学校区	桜南・並木
隣接学区	谷田部東・桜・竹園東

R1 年度生徒数	376
R1 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舎関連	並木 1 丁目～4 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	19		
R1 年度特別支援教室数	6		
最大時 使用教 室数	特支	特支	3
	普通	普通	0
不足教室数(普)	—		

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	123	(4)	104	(3)	67	(2)	78	(2)	60	(2)
2 年	128	(4)	116	(4)	84	(3)	75	(2)	65	(2)
3 年	125	(4)	106	(3)	77	(2)	73	(2)	67	(2)
計	376	(12)	326	(10)	228	(7)	226	(6)	192	(6)

(10) 手代木中学校 【光輝学園】

① 基本情報

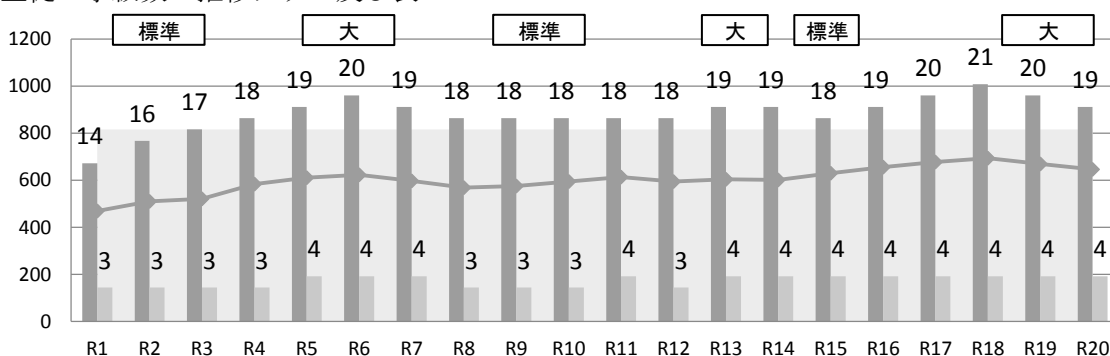
所在地	松代 5-10
指定学校変更制度	なし
小学校区	手代木南・葛城・松代
隣接学区	大穂・谷田部・谷田部東・竹園東・吾妻・春日学園・学園の森

R1 年度生徒数	470
R1 年度学級数	普 14 特 3
公務員宿舎関連	松代 4 丁目、5 丁目
T X 関連	—

R1 年度普通教室数	17		
R1 年度特別支援教室数	6		
最大時 使用教 室数	特支	特支	4
	普通	普通	0
不足教室数(普)	21-17=4 (R18)		

※令和 4 年度 4 教室増築予定

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	146	(4)	210	(6)	204	(6)	210	(6)	210	(6)
2 年	175	(5)	215	(7)	206	(6)	208	(6)	210	(6)
3 年	149	(5)	186	(6)	185	(6)	212	(6)	227	(7)
計	470	(14)	611	(19)	595	(18)	630	(18)	647	(19)

(11)吾妻中学校【吾妻学園】

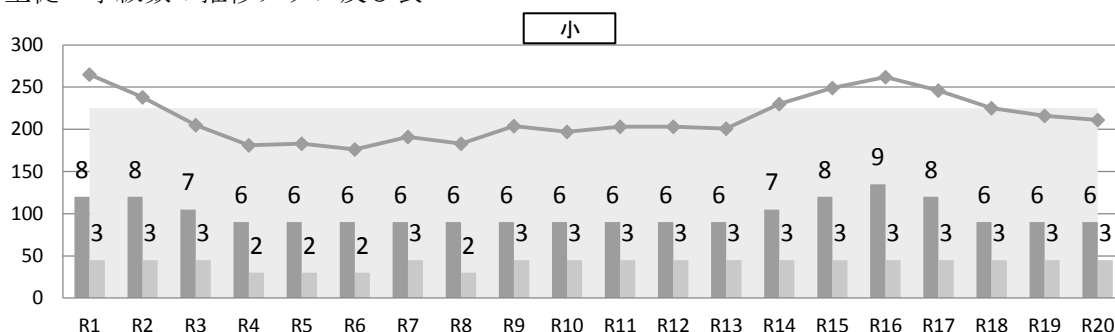
①基本情報

所在地	天久保 1-9-1
指定学校変更制度	なし
小学校区	吾妻
隣接学区	大穂・手代木・桜・竹園東・春日学園

R1年度生徒数	265
R1年度学級数	普8 特3
公務員宿舍関連	吾妻1丁目～3丁目
T X関連	—

R1年度普通教室数		15
R1年度特別支援教室数		4
最大時 使用教 室数	特支	3
	普通	0
普通		15
不足教室数(普)		—

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	94	(3)	64	(2)	70	(2)	97	(3)	72	(2)
2年	91	(3)	58	(2)	74	(2)	89	(3)	71	(2)
3年	80	(2)	61	(2)	53	(2)	63	(2)	68	(2)
計	265	(8)	183	(6)	197	(6)	249	(8)	211	(6)

(12)谷田部東中学校【洞峰学園】

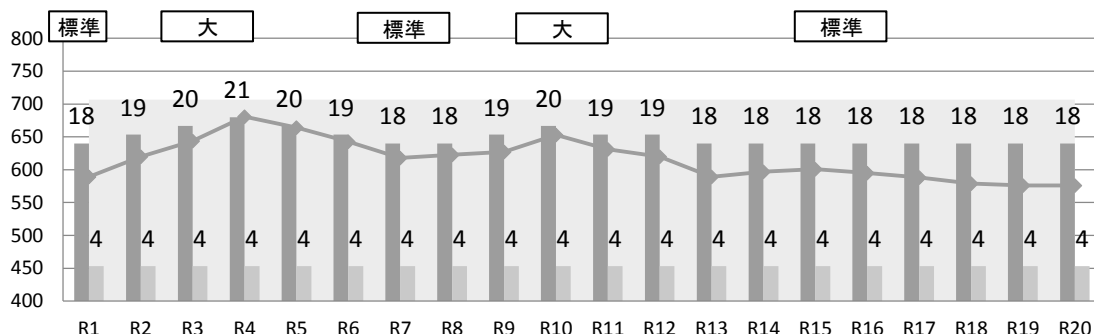
①基本情報

所在地	東 2-25-1
指定学校変更制度	竹園東・並木
小学校区	二の宮・東・小野川
隣接学区	谷田部・手代木・竹園東・並木・高崎

R1年度生徒数	589
R1年度学級数	普18 特4
公務員宿舍関連	—
T X関連	—

R1年度普通教室数		23
R1年度特別支援教室数		6
最大時 使用教 室数	特支	4
	普通	0
普通		23
不足教室数(普)		—

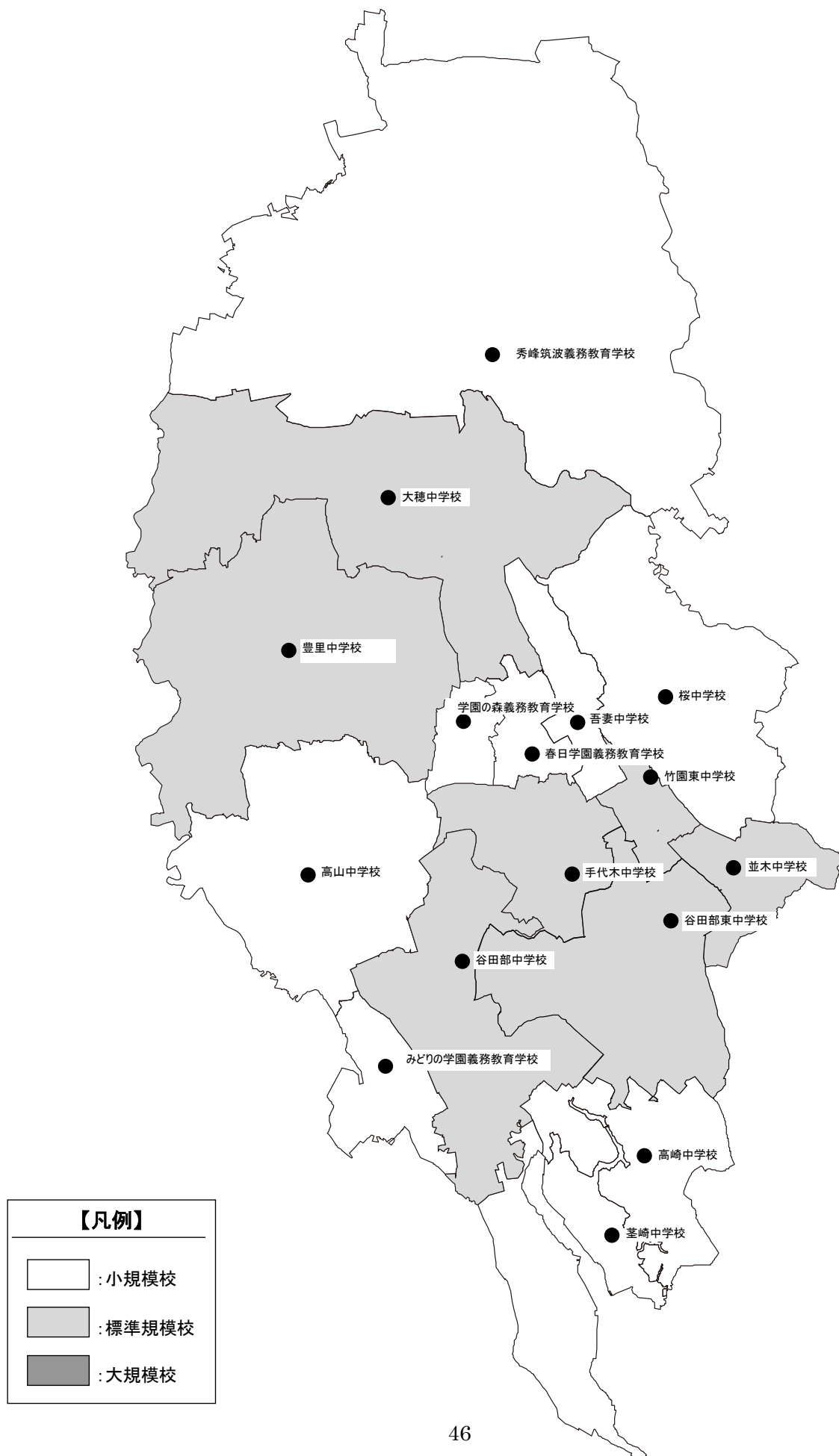
②生徒・学級数の推移グラフ及び表



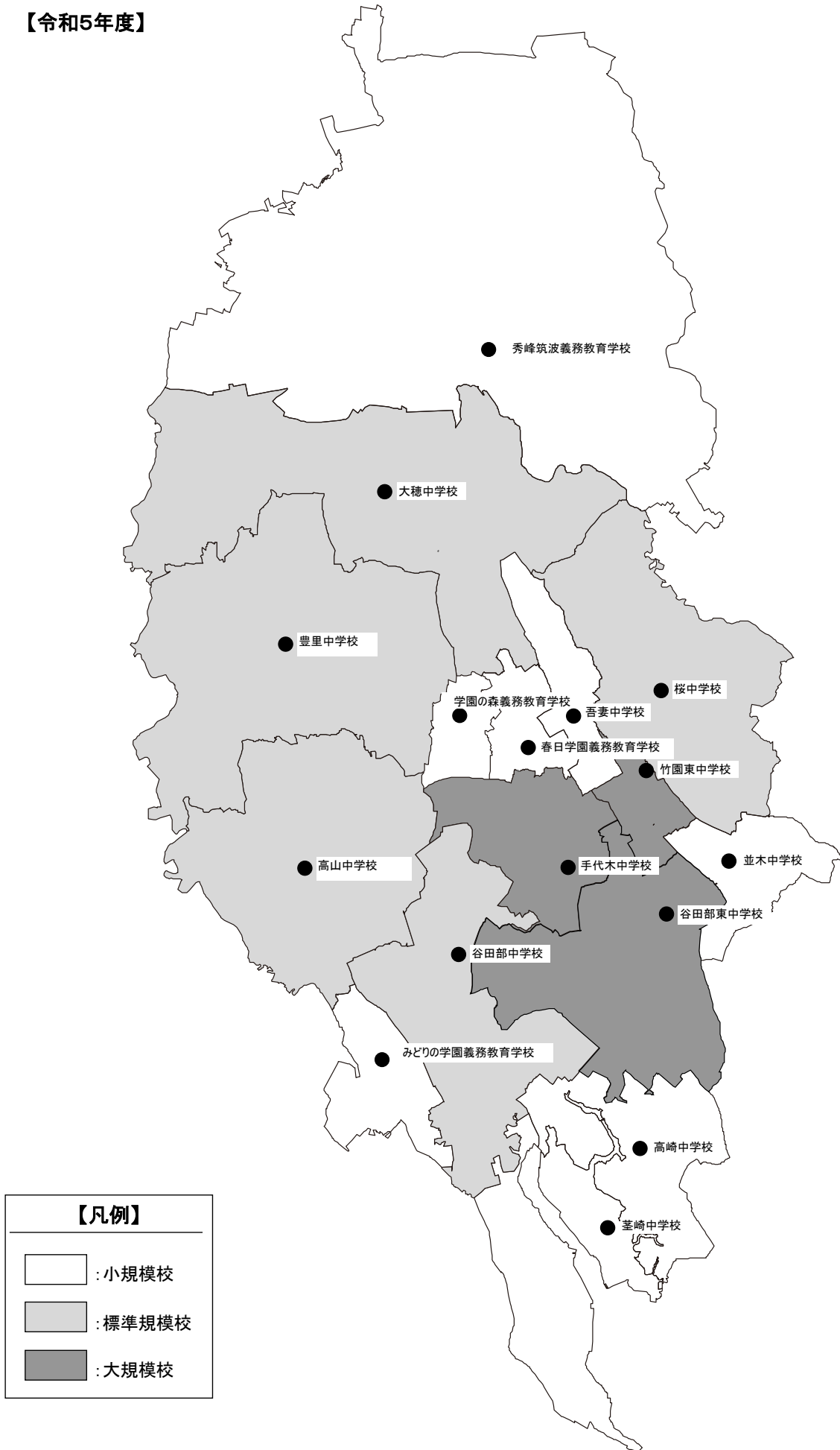
学年	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	190	(6)	203	(6)	223	(7)	193	(6)	189	(6)
2年	204	(6)	233	(7)	209	(6)	204	(6)	193	(6)
3年	195	(6)	228	(7)	221	(7)	204	(6)	194	(6)
計	589	(18)	664	(20)	653	(20)	601	(18)	576	(18)

2) 中学校区の期別推移図

【令和元年度】



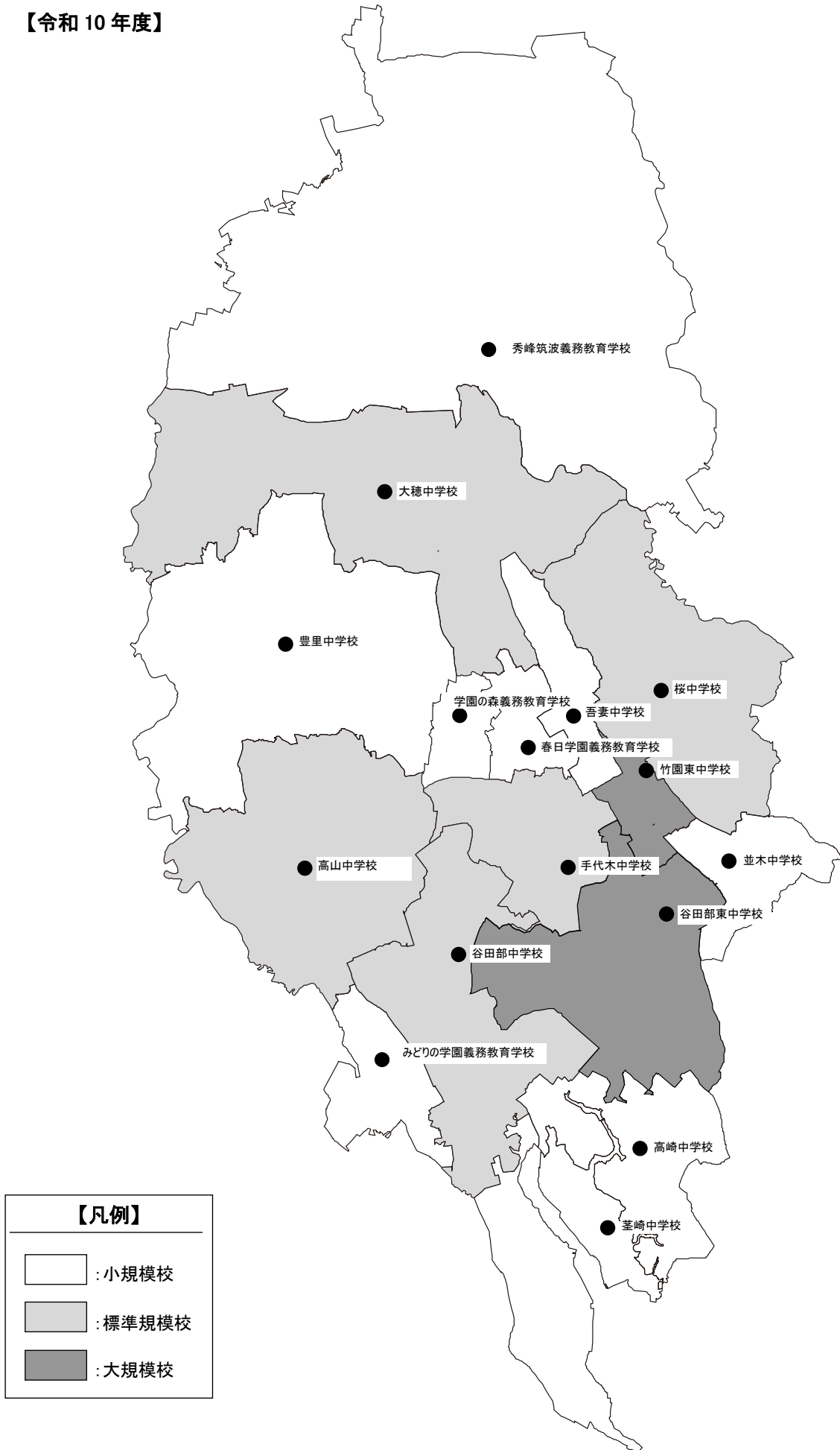
【令和5年度】



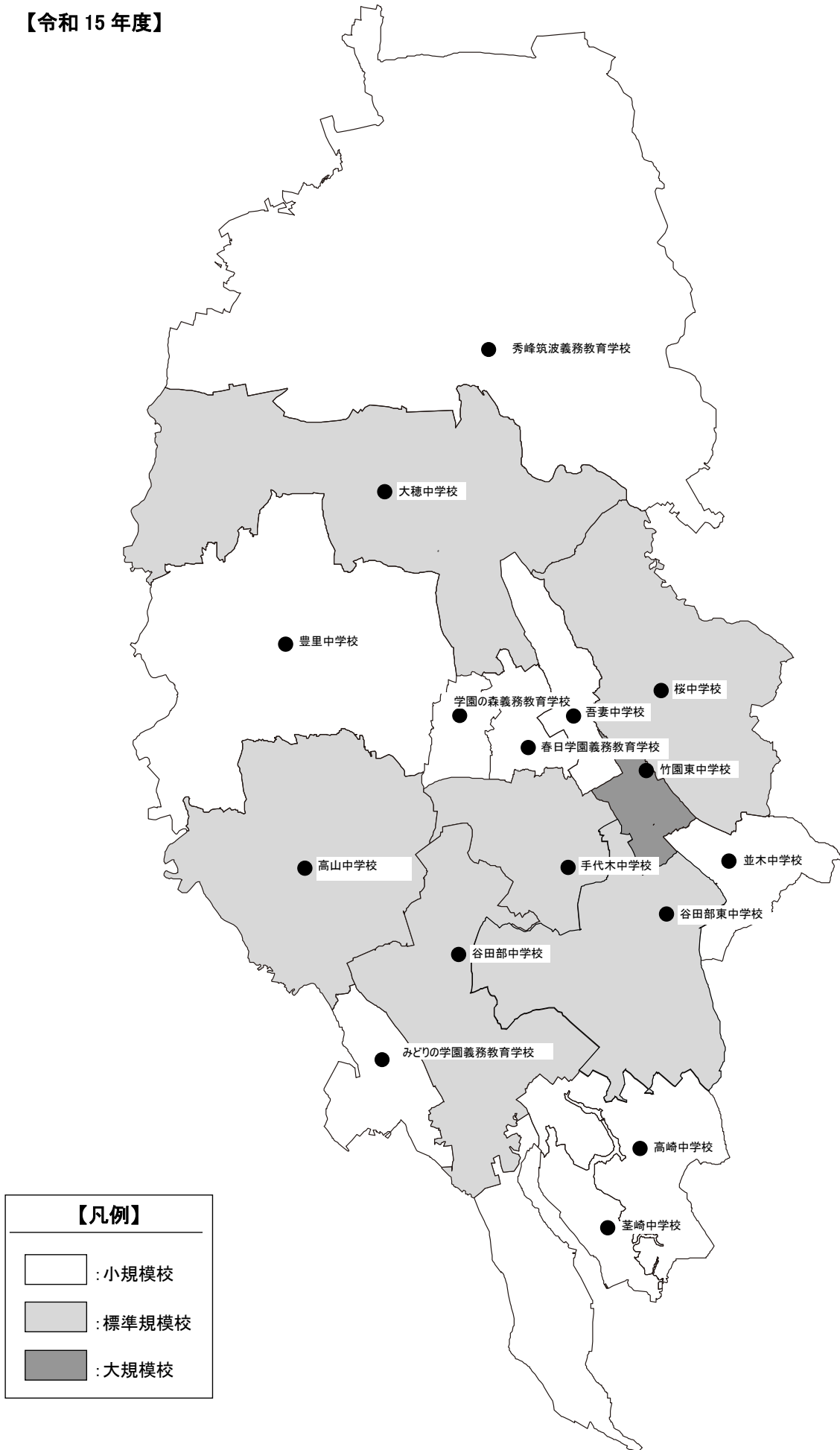
【凡例】

- : 小規模校
- : 標準規模校
- : 大規模校

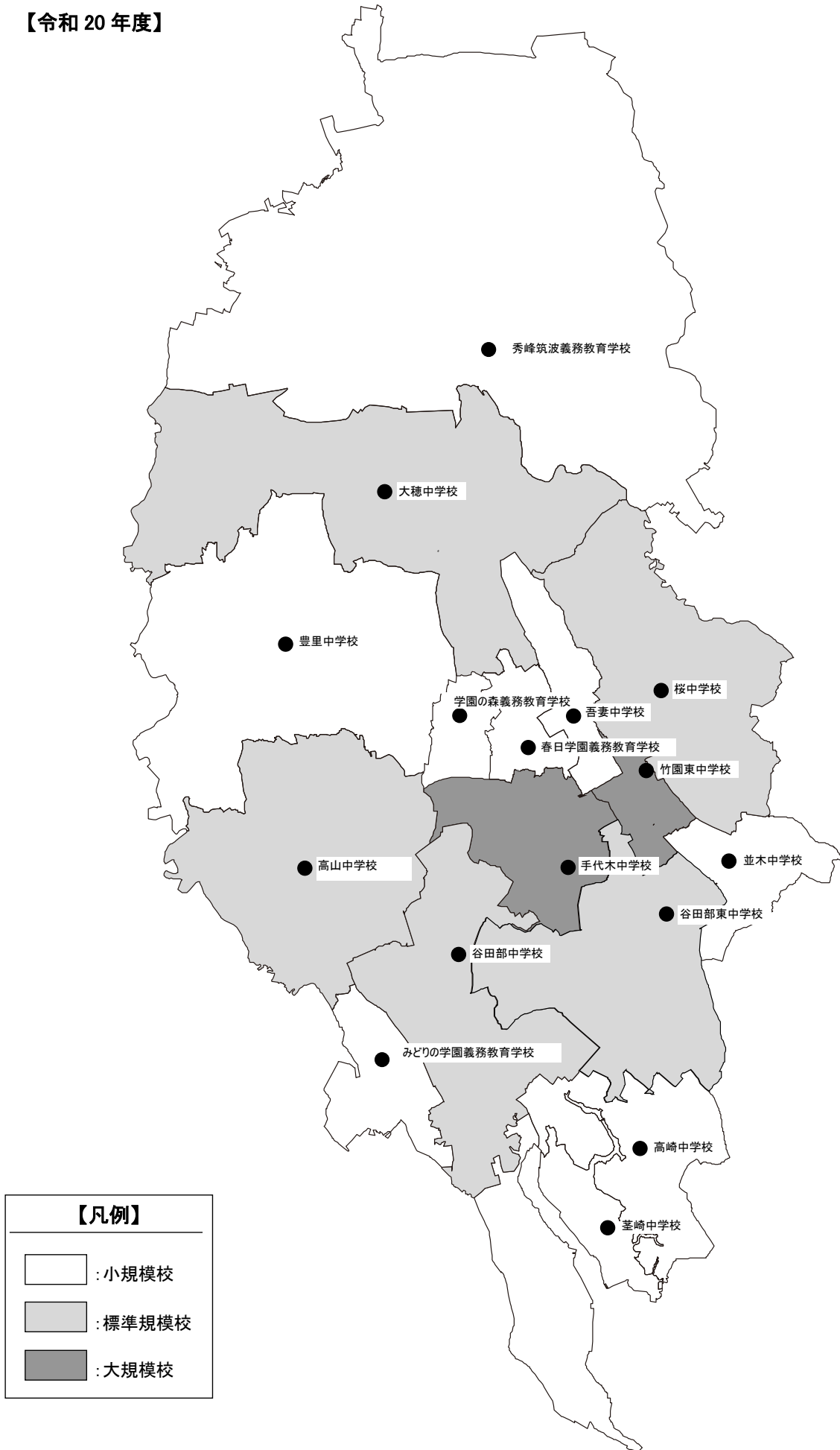
【令和 10 年度】



【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



5. 義務教育学区の将来推計

1) 義務教育学校の推移グラフ及び表

(1) 春日学園義務教育学校【春日学園】

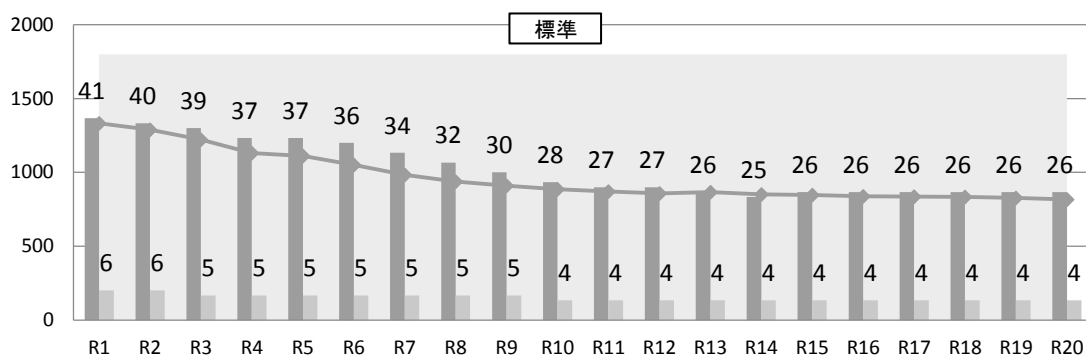
① 基本情報

所在地	春日 2-47
指定学校変更制度	吾妻学園・学園の森
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・吾妻学園・光輝学園・学園の森

R1 年度児童生徒数	1333
R1 年度学級数	普 41 特 6
公務員宿舎関連	春日 1 丁目
T X 関連	葛城地区（研究学園 6 丁目、7 丁目、学園の森 3 丁目）

R1 年度普通教室数	44		
R1 年度特別支援教室数	6		
最大時 使用教 室数	特支	特支	6
	普通	普通	0
普通		44	
不足教室数（普）	—		

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	122	(4)	111	(4)	103	(3)	98	(3)	89	(3)
2 年	126	(4)	90	(3)	101	(3)	99	(3)	93	(3)
3 年	139	(4)	109	(4)	106	(3)	96	(3)	94	(3)
4 年	160	(5)	116	(4)	75	(2)	95	(3)	94	(3)
5 年	163	(5)	124	(4)	80	(2)	95	(3)	98	(3)
6 年	153	(5)	128	(4)	112	(4)	103	(3)	97	(3)
7 年	166	(5)	146	(5)	89	(3)	86	(3)	97	(3)
8 年	139	(4)	147	(5)	110	(4)	103	(3)	73	(2)
9 年	165	(5)	140	(4)	111	(4)	71	(2)	82	(3)
計	1333	(41)	1111	(37)	887	(28)	846	(26)	817	(26)

(2) 秀峰筑波義務教育学校【秀峰筑波】

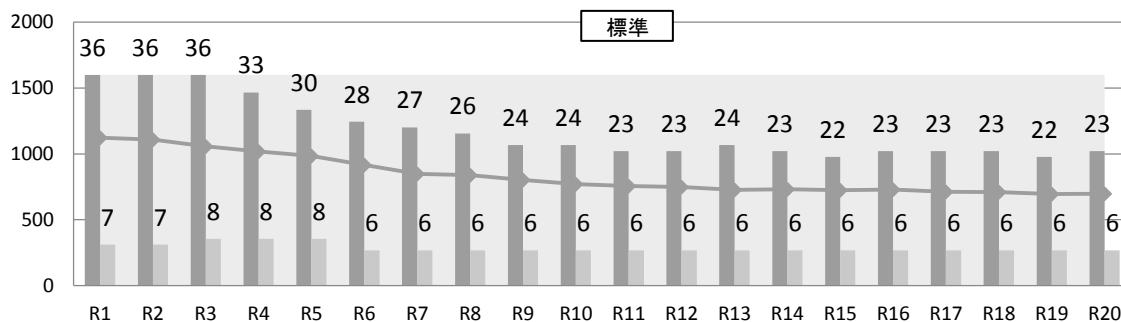
① 基本情報

所在地	北条 5073
指定学校変更制度	なし
隣接学区（学園）	桜学園・大穂学園

R1 年度児童生徒数	1126
R1 年度学級数	普 36 特 7
公務員宿舎関連	—
T X 関連	—

R1 年度普通教室数		36
R1 年度特別支援教室数		8
最大時 使用教 室数	特支	8
	普通	0
普通		36
不足教室数（普）		—

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	121	(4)	88	(3)	88	(3)	65	(2)	88	(3)
2 年	110	(4)	104	(3)	71	(3)	94	(3)	73	(3)
3 年	112	(4)	75	(2)	99	(3)	75	(2)	68	(2)
4 年	145	(4)	106	(3)	78	(2)	72	(2)	81	(3)
5 年	145	(4)	123	(4)	75	(2)	88	(3)	87	(3)
6 年	125	(4)	110	(4)	91	(3)	91	(3)	68	(2)
7 年	135	(4)	106	(3)	98	(3)	69	(2)	91	(3)
8 年	116	(4)	138	(4)	73	(2)	95	(3)	73	(2)
9 年	117	(4)	135	(4)	98	(3)	75	(2)	69	(2)
計	1126	(36)	985	(30)	771	(24)	724	(22)	698	(23)

(3) 学園の森義務教育学校【学園の森】

① 基本情報

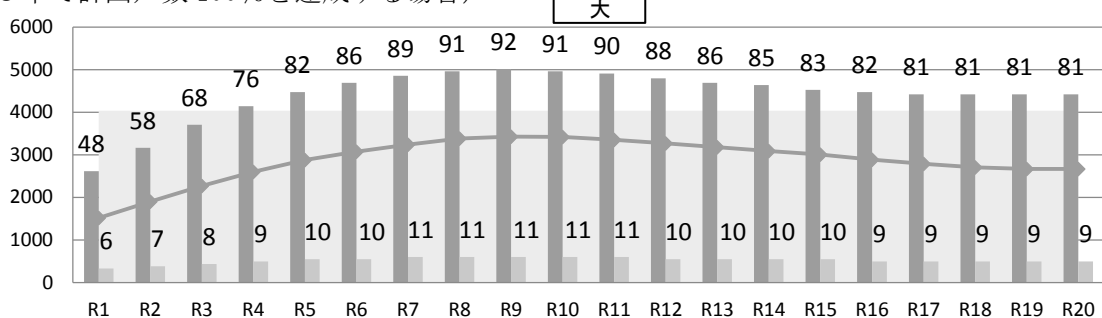
所在地	学園の森 2-15-1
指定学校変更制度	春日学園
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・吾妻学園・光輝学園・春日学園・高山学園

R1 年度児童生徒数	1519
R1 年度学級数	普 46 特 6
公務員宿舍関連	—
T X 関連	葛城地区（研究学園 1 丁目～5 丁目、学園の森 1 丁目～3 丁目）

R1 年度普通教室数	74	
R1 年度特別支援教室数	9	
最大時 使用教 室数	特支	9
	普通	1
不足教室数（普）	73	
不足教室数（普）	92-73=19（R9）	

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表

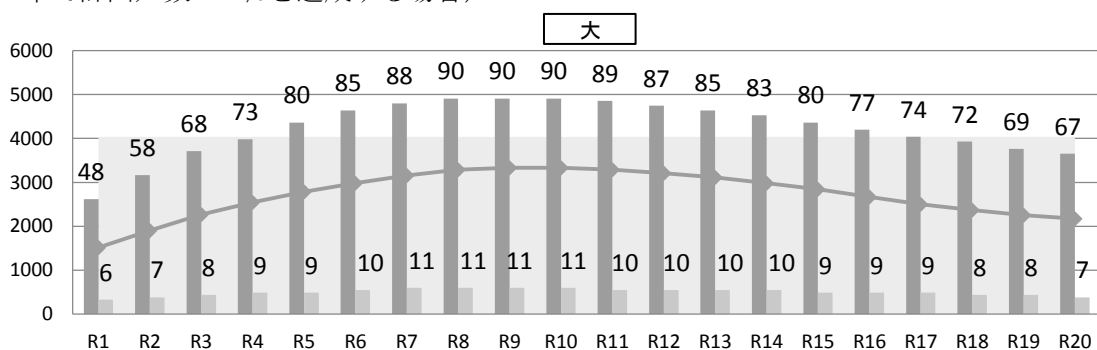
（5年で計画戸数 100%を達成する場合）



学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	300	(9)	400	(12)	334	(10)	305	(9)	313	(9)
2 年	283	(9)	393	(12)	371	(11)	306	(9)	298	(9)
3 年	223	(7)	393	(10)	398	(10)	307	(9)	295	(9)
4 年	201	(6)	375	(10)	410	(11)	309	(9)	296	(9)
5 年	167	(5)	342	(9)	390	(10)	308	(9)	298	(9)
6 年	145	(5)	327	(9)	400	(10)	334	(9)	305	(9)
7 年	113	(4)	242	(7)	378	(10)	356	(9)	286	(9)
8 年	61	(2)	225	(7)	378	(10)	383	(10)	288	(9)
9 年	26	(1)	185	(6)	360	(9)	395	(10)	291	(9)
計	1519	(48)	2882	(82)	3419	(91)	3003	(83)	2670	(81)

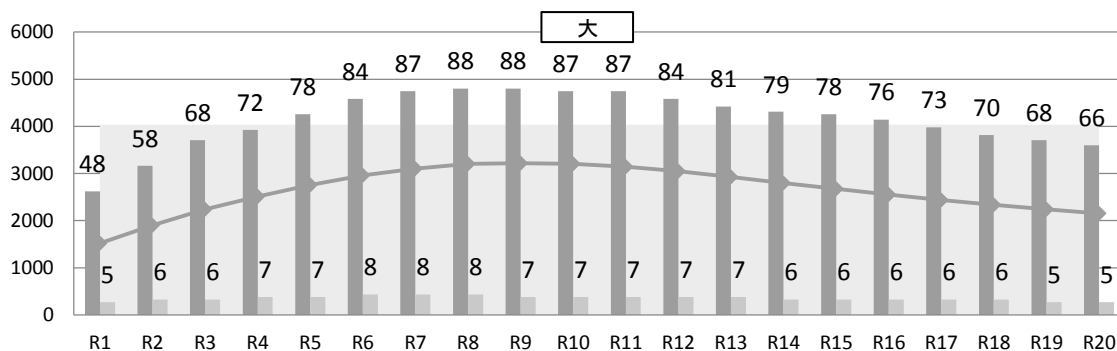
※元年度は、普通学級・特別支援学級の合計の人数を基にした学級数の為、R1 年度学級数と異なります

（10年で計画戸数 100%を達成する場合）



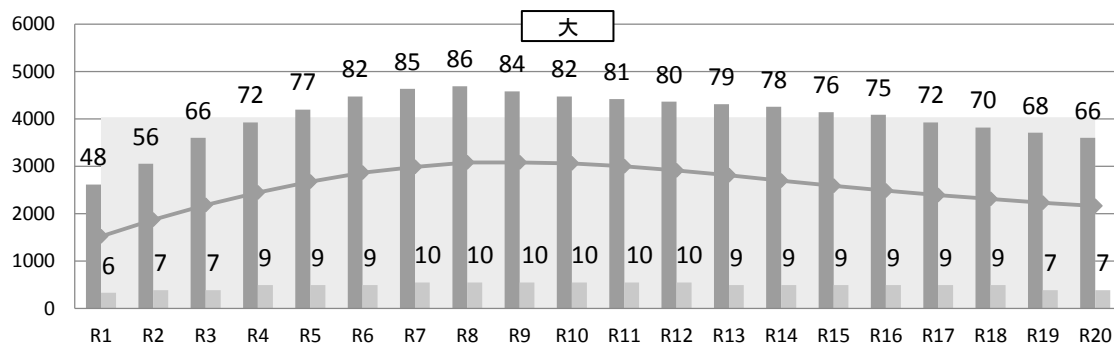
学年	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	300	(9)	384	(11)	337	(10)	238	(7)	241	(7)
2 年	283	(9)	377	(11)	355	(11)	265	(8)	226	(7)
3 年	223	(7)	380	(10)	382	(10)	287	(9)	220	(7)
4 年	201	(6)	365	(10)	393	(10)	308	(9)	218	(7)
5 年	167	(5)	336	(9)	380	(10)	322	(9)	217	(7)
6 年	145	(5)	317	(9)	394	(10)	337	(9)	238	(7)
7 年	113	(4)	232	(7)	368	(10)	340	(9)	250	(8)
8 年	61	(2)	214	(7)	369	(10)	367	(10)	272	(8)
9 年	26	(1)	179	(6)	356	(9)	378	(10)	293	(9)
計	1519	(48)	2784	(80)	3334	(90)	2842	(80)	2175	(67)

(15年で計画戸数100%を達成する場合)



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		300	(9)	380	(11)	315	(9)	252	(8)	213	(7)
2年		283	(9)	375	(11)	331	(10)	261	(8)	219	(7)
3年		223	(7)	375	(10)	348	(9)	271	(8)	228	(7)
4年		201	(6)	362	(10)	362	(10)	287	(9)	236	(7)
5年		167	(5)	332	(9)	376	(10)	300	(9)	244	(7)
6年		145	(5)	315	(9)	391	(10)	317	(9)	252	(8)
7年		113	(4)	230	(7)	367	(10)	313	(9)	241	(7)
8年		61	(2)	212	(6)	363	(10)	328	(9)	251	(8)
9年		26	(1)	174	(5)	351	(9)	344	(9)	267	(8)
計		1519	(48)	2755	(78)	3204	(87)	2673	(78)	2151	(66)

(20年で計画戸数100%を達成する場合)



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		300	(9)	369	(11)	298	(9)	245	(7)	218	(7)
2年		283	(9)	363	(11)	313	(9)	255	(8)	224	(7)
3年		223	(7)	366	(10)	330	(9)	266	(8)	232	(7)
4年		201	(6)	352	(9)	342	(9)	278	(8)	237	(7)
5年		167	(5)	323	(9)	359	(9)	293	(9)	244	(7)
6年		145	(5)	310	(9)	377	(10)	305	(9)	252	(8)
7年		113	(4)	223	(7)	352	(9)	300	(9)	242	(7)
8年		61	(2)	206	(6)	353	(9)	315	(9)	251	(8)
9年		26	(1)	166	(5)	340	(9)	328	(9)	264	(8)
計		1519	(48)	2678	(77)	3064	(82)	2585	(76)	2164	(66)

(4)みどりの学園義務教育学校【みどりの学園】

①基本情報

所在地	みどりの中央 12-1
指定学校変更制度	なし
隣接学区(学園)	輝翔学園・高山学園

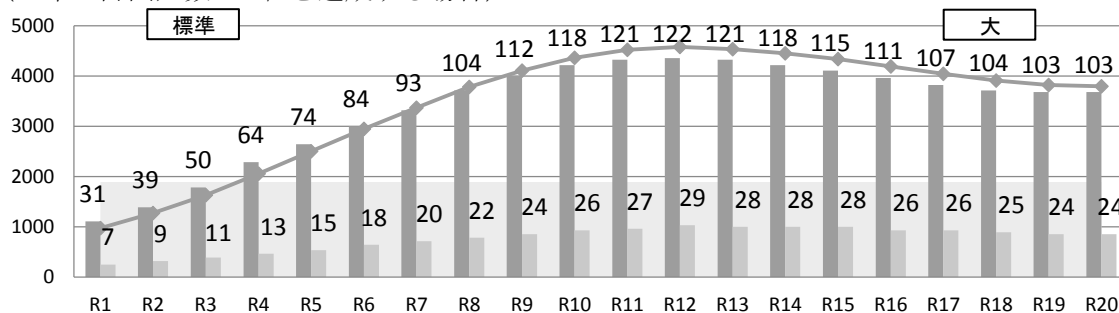
R1 年度児童生徒数	976
R1 年度学級数	普 31 特 7
公務員宿舍関連	—
T X 関連	萱丸地区 (みどりの)

R1 年度普通教室数	54	
R1 年度特別支援教室数	8	
最大時 使用教 室数	特支	8
	普通	11
普通		43
不足教室数(普)	122-43=79 (R12)	

※令和 4 年度 20 教室増築予定

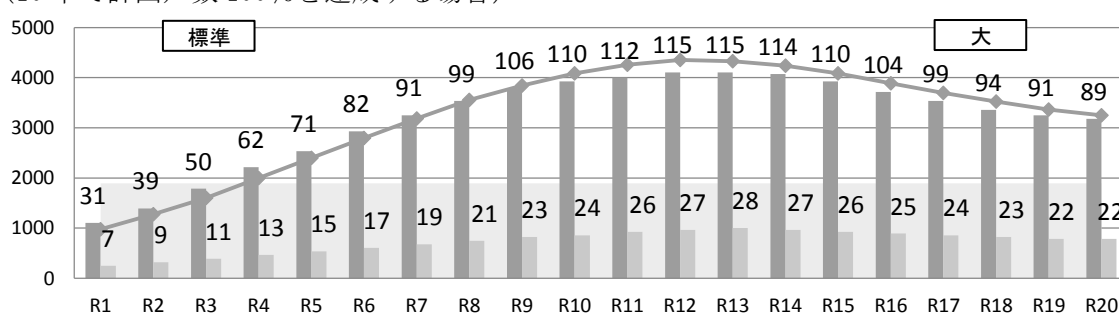
②生徒・学級数の推移グラフ及び表

(6年で計画戸数 100%を達成する場合)



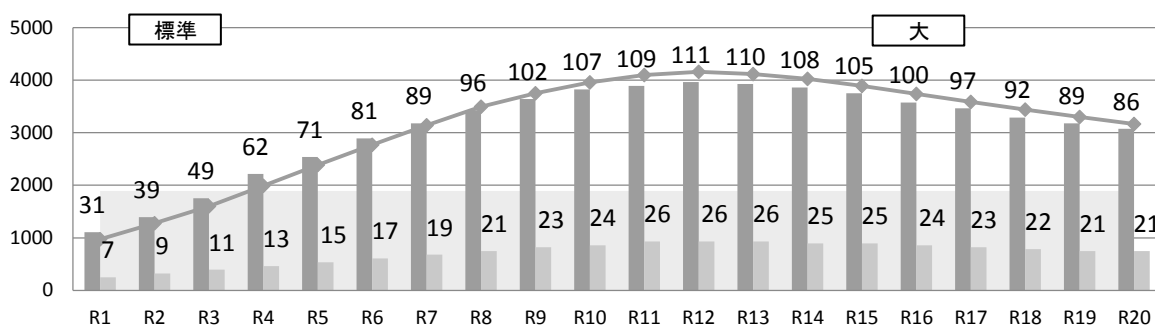
学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		227	(7)	507	(15)	515	(15)	429	(13)	448	(13)
2 年		197	(6)	471	(14)	545	(16)	431	(13)	427	(13)
3 年		123	(4)	374	(10)	565	(15)	432	(11)	417	(11)
4 年		123	(4)	306	(9)	559	(14)	434	(11)	416	(11)
5 年		97	(3)	257	(8)	548	(14)	469	(12)	419	(11)
6 年		76	(2)	225	(7)	512	(13)	515	(13)	429	(11)
7 年		52	(2)	132	(4)	459	(12)	530	(14)	411	(11)
8 年		52	(2)	126	(4)	365	(10)	550	(14)	413	(11)
9 年		29	(1)	107	(3)	291	(9)	544	(14)	416	(11)
計		976	(31)	2505	(74)	4359	(118)	4334	(115)	3796	(103)

(10年で計画戸数 100%を達成する場合)



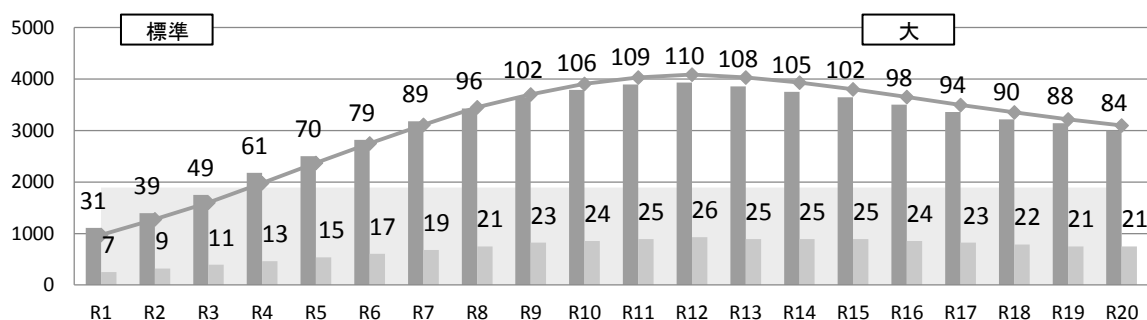
学年	年度	元年度		5 年度		10 年度		15 年度		20 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		227	(7)	481	(14)	489	(14)	356	(11)	356	(11)
2 年		197	(6)	450	(13)	498	(15)	398	(12)	335	(10)
3 年		123	(4)	359	(9)	513	(13)	429	(11)	323	(9)
4 年		123	(4)	298	(9)	520	(13)	455	(12)	322	(9)
5 年		97	(3)	249	(8)	512	(13)	472	(12)	322	(9)
6 年		76	(2)	217	(7)	487	(13)	489	(13)	356	(9)
7 年		52	(2)	127	(4)	437	(11)	483	(13)	383	(10)
8 年		52	(2)	118	(4)	347	(9)	498	(13)	414	(11)
9 年		29	(1)	102	(3)	284	(9)	505	(13)	440	(11)
計		976	(31)	2401	(71)	4087	(110)	4085	(110)	3251	(89)

(15年で計画戸数100%を達成する場合)



学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		227	(7)	475	(14)	453	(13)	371	(11)	302	(9)
2年		197	(6)	447	(13)	470	(14)	387	(12)	316	(10)
3年		123	(4)	357	(9)	491	(13)	402	(11)	328	(9)
4年		123	(4)	298	(9)	505	(13)	420	(11)	342	(9)
5年		97	(3)	248	(8)	501	(13)	436	(11)	356	(9)
6年		76	(2)	217	(7)	481	(13)	459	(12)	371	(10)
7年		52	(2)	127	(4)	433	(11)	455	(12)	367	(10)
8年		52	(2)	118	(4)	343	(9)	475	(12)	382	(10)
9年		29	(1)	101	(3)	282	(8)	488	(13)	400	(10)
計		976	(31)	2388	(71)	3959	(107)	3893	(105)	3164	(86)

(20年で計画戸数100%を達成する場合)



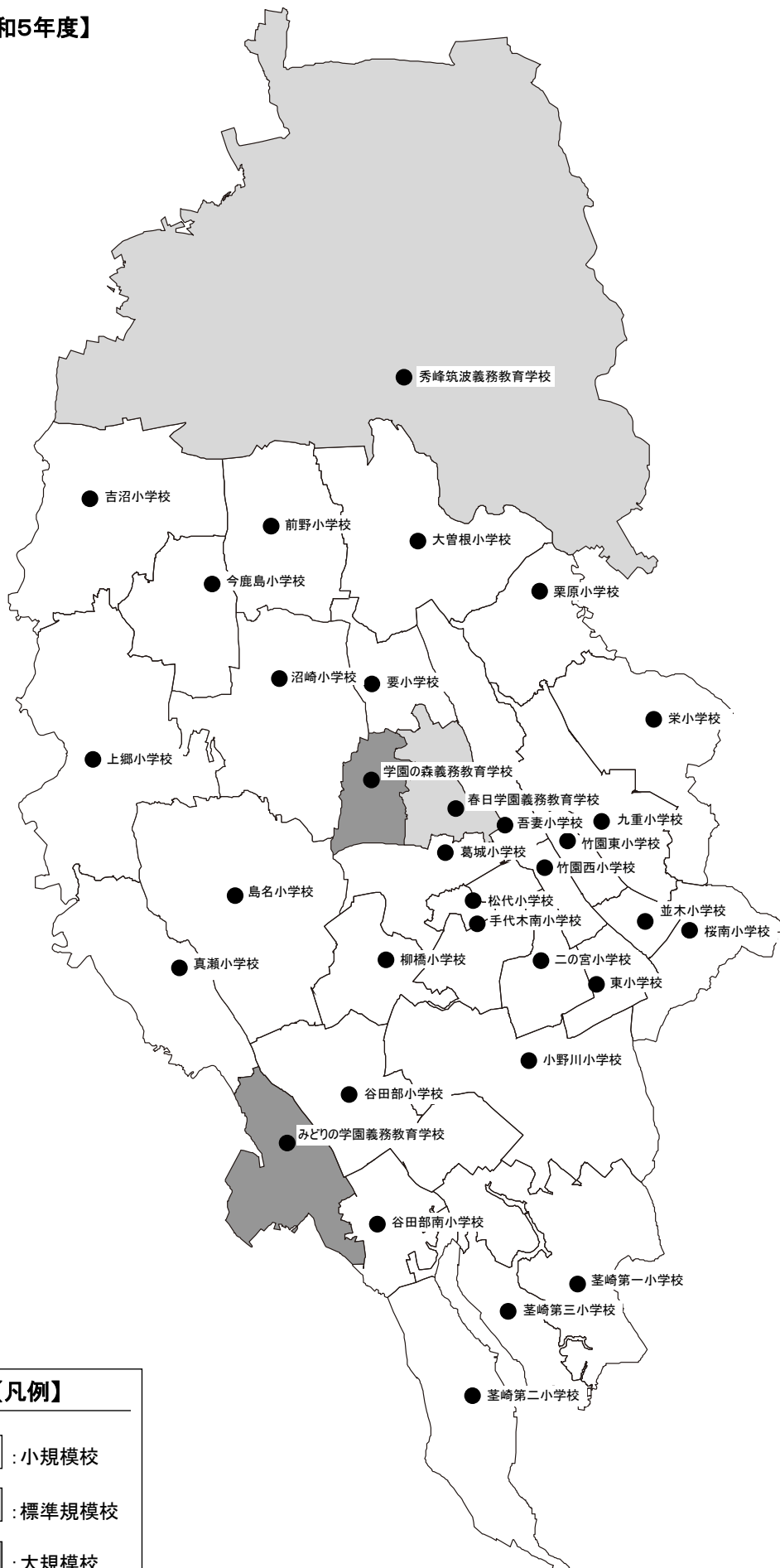
学年	年度	元年度		5年度		10年度		15年度		20年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年		227	(7)	468	(14)	445	(13)	359	(11)	303	(9)
2年		197	(6)	443	(13)	463	(14)	375	(11)	316	(10)
3年		123	(4)	355	(9)	483	(13)	391	(10)	321	(9)
4年		123	(4)	296	(9)	496	(13)	410	(11)	332	(9)
5年		97	(3)	246	(7)	495	(13)	425	(11)	345	(9)
6年		76	(2)	216	(7)	474	(12)	449	(12)	360	(9)
7年		52	(2)	126	(4)	429	(11)	447	(12)	355	(9)
8年		52	(2)	118	(4)	341	(9)	467	(12)	373	(10)
9年		29	(1)	100	(3)	280	(8)	478	(12)	390	(10)
計		976	(31)	2368	(70)	3906	(106)	3801	(102)	3095	(84)




2) 義務教育学区の期別推移図

【令和元年度】

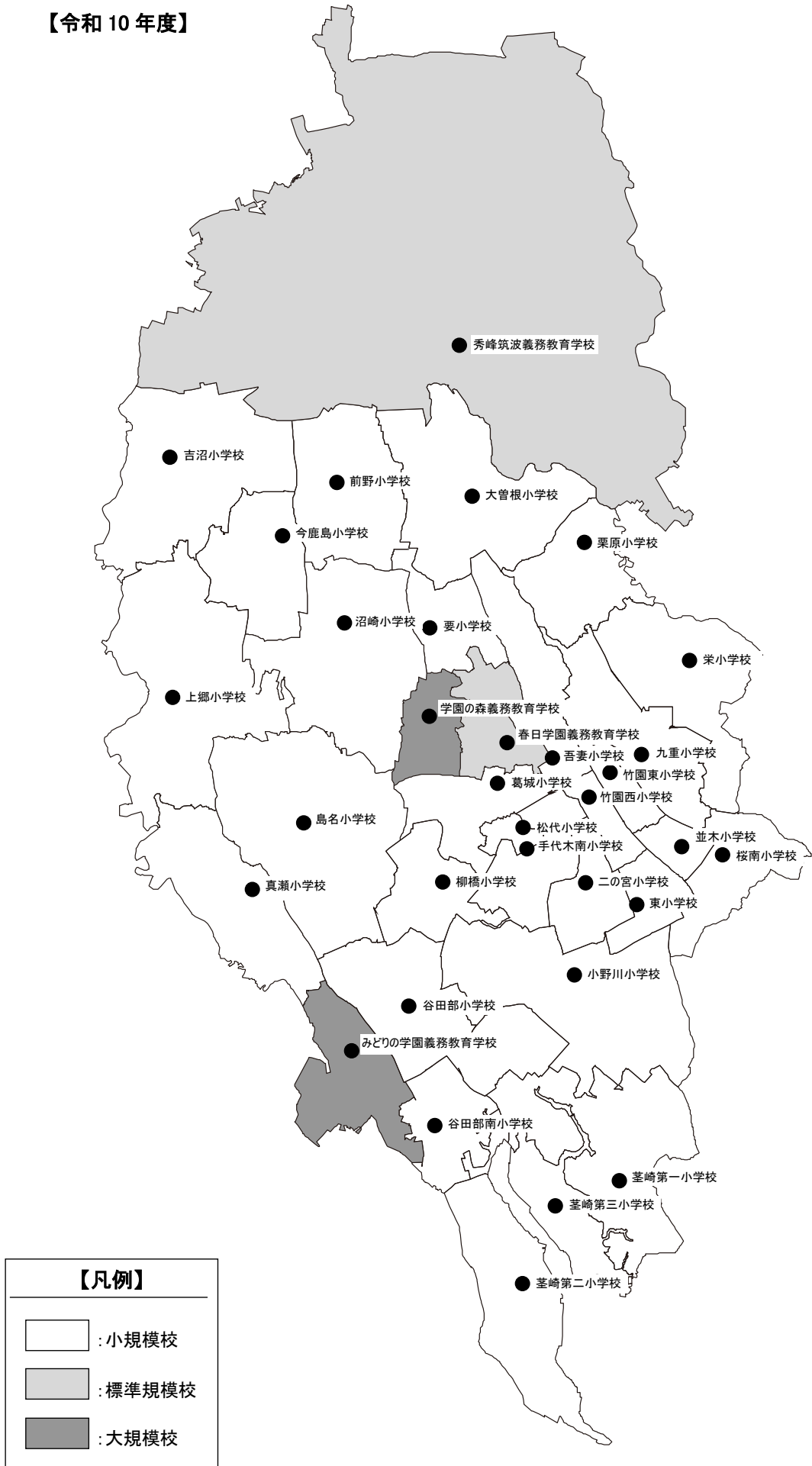


【令和5年度】



【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校

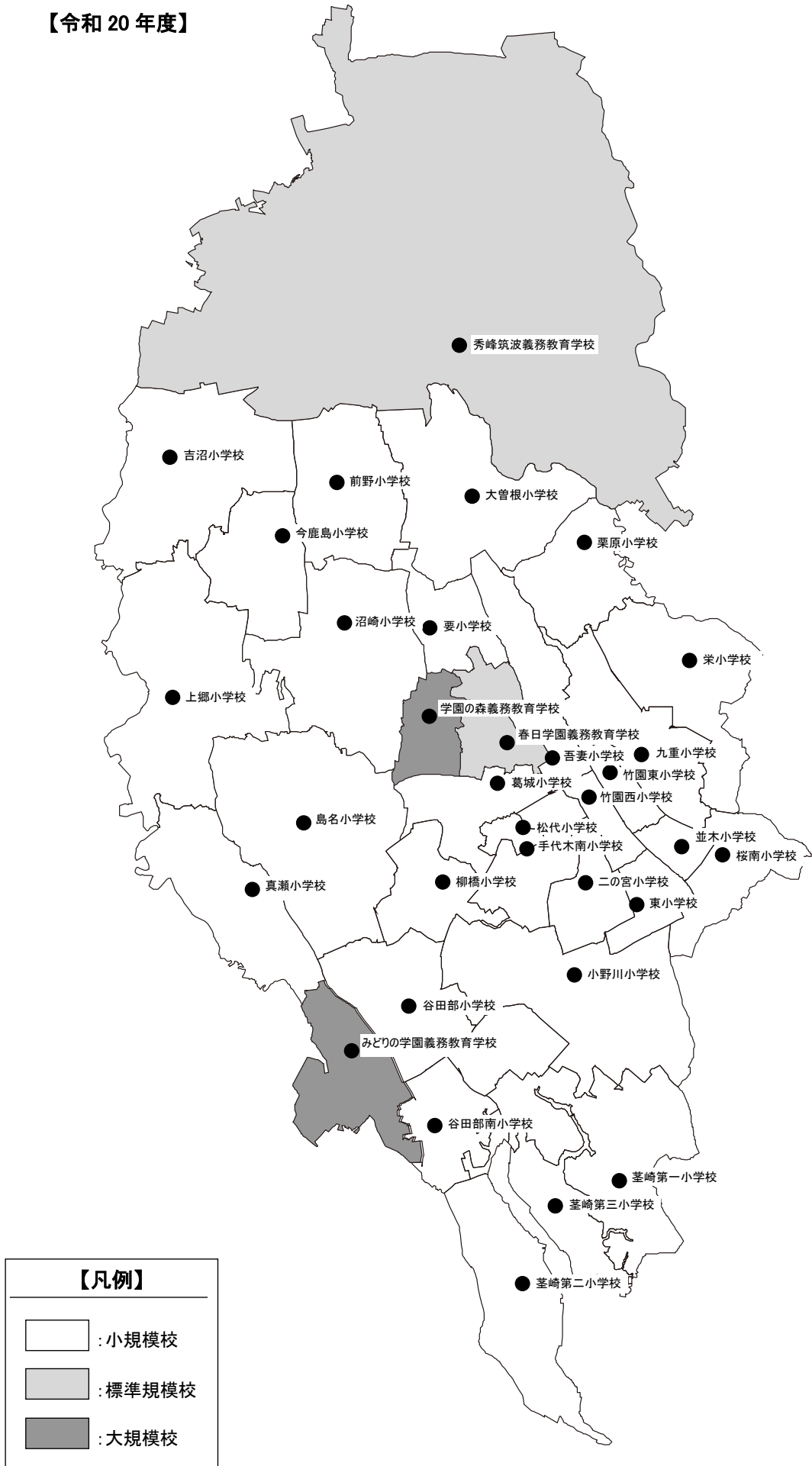
【令和 10 年度】






【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校

9. つくば市学校等適正配置計画

1. 適正配置計画の検討手順

小・中学校等の適正な配置計画を行うために、次のような手順で検討を行います。

①まず、

■適正配置計画の「適正配置計画見直しの必要性」と「計画見直しに当たって考慮すべき事項」に基づきます。

②第2に、

■学校別の将来推計等より「児童・生徒数及び学級数の推移」を読み取ります。

③第3に、児童・生徒数及び学級数の推移を適正配置等の基本的な考え方に照らして、

■学校別の動向・課題等と、その対応策としての期別の方針を一覧表としてまとめたものを『学校別の配置方針』とします。

④そして第4は、学校別の配置方針をもとに、

■学区調整、学区分割、新設校の配置、新たな学区の範囲等を示した『期別の配置方針図（総括図）』を作成します。

これらのなかの、第3から第4までを小学校と中学校、義務教育学校、幼稚園に区分し設定します。

2. 小学校の適正配置計画

(1) 学校別の配置方針

①大穂地区

この地区においては、多くの学校が小規模校化することが予想されます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	大穂学園 大曾根小	普 27	普 20	・児童数は二期初めまで 一定で推移し、それ以 降通減する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 0	特 3		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	大穂学園 前野小	普 7	普 6	・児童数はほぼ一定で推 移する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 1		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	大穂学園 要小	普 6	普 6	・児童数は通減する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 1		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	大穂学園 吉沼小	普 13	普 6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 3		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					

②豊里地区

この地区においては、すべての学校が小規模校化することが予想されます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	豊里学園 上郷小	普 18	普 11	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 2	特 2		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	豊里学園 今鹿島小	普 11	普 6	・児童数は二期末頃まで 通減し、それ以降一定で 推移する ・小規模校で推移する	・今鹿島小学校の動向を注視し、 状況に応じて沼崎小学校との学区調整を 検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 0	特 1		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	豊里学園 沼崎小	普 24	普 12	・児童数は通減する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 3		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					

③谷田部地区

大規模校化の対応が必要となり、香取台地区内の新設予定校との学区再編が課題と考えられます。

また、小規模校で推移すると考えられます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	洞峰学園 小野川小	普 19 特 0	普 12 特 3	・児童数は一期が通増し、二期以降に逓減する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	高山学園 真瀬小	普 10 特 1	普 6 特 1	・児童数は逓減する ・小規模校で推移する	・真瀬小学校の動向を注視し、状況に応じて島名小学校の学区調整を検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●（仮称）TX沿線開発島名・福田坪地区小学校新設校に学区の分割を図る	高山学園 島名小	普 25 特 2	普 25 特 5	・児童数は二期中頃まで増加し、それ以降逓減する ・一期後半から三期前半まで大規模校で推移する。その後、標準規模校となる	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	谷田部南小 輝翔学園	普 10 特 0	普 6 特 1	・児童数は二期初めまで逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・みどりの学園義務教育学校と学区調整を検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	輝翔学園 谷田部小	普 34 特 3	普 28 特 4	・児童数は三期中頃まで増加し、それ以降逓減する ・大規模校で推移する	・柳橋小学校の動向を注視し、状況に応じて谷田部小学校との学区調整を検討する必要がある
二期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	輝翔学園 柳橋小	普 6 特 0	普 6 特 0	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	光輝学園 葛城小	普 14 特 2	普 18 特 4	・児童数は一期後半から四期前半まで増加し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

④桜地区

全般的に児童数の増加が予想されるため、校舎の増築等の対応が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度 予想学級数	動向・課題
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）					
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	桜学園 栗原小	普 12	普 12	<ul style="list-style-type: none"> 児童数は二期まで増加し、それ以降通減する 一期末頃から標準規模校で推移する
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 0	特 2	
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る				
一期	●現状の学区の維持を図る	桜学園 栄小	普 12	普 11	<ul style="list-style-type: none"> 児童数は二期まで通増し、それ以降通減する
二期	●吉瀬地区を桜南小学校区へと学区調整を検討する		特 1	特 1	
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る				
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	桜学園 九重小	普 12	普 12	<ul style="list-style-type: none"> 児童数は二期まで通増し、それ以降通減する 一期末頃から標準規模校で推移する
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 0	特 1	
三期～四期	●上ノ室地区の一部の分離と並木小学校区との学区調整を検討する				

・（仮称）TX沿線開発中根・金田台地区小学校を新設する際には、学区調整を検討する必要がある

⑤ 荖崎地区

小規模校で推移することが予想される学校については、統合等の検討が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	高崎学園 荖崎第一小	普 29	普 18	・児童数は通減する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 0	特 4		
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	荖崎学園 荖崎第二小	普 15	普 6	・児童数は通減する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者 や地域住民と十分に協議を 行い理解と合意を得る必要 がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 2		
三期 ～ 四期	●荖崎第三小学校との統合を検討する					
一期	●現状の学区の維持を図る	荖崎学園 荖崎第三小	普 24	普 6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 3	特 2		
三期 ～ 四期	●荖崎第二小学校との統合を検討する					

⑥中心地区

一部の学校で、隣接学校への距離が近い地区があるため、学区調整等が必要と考えられます。

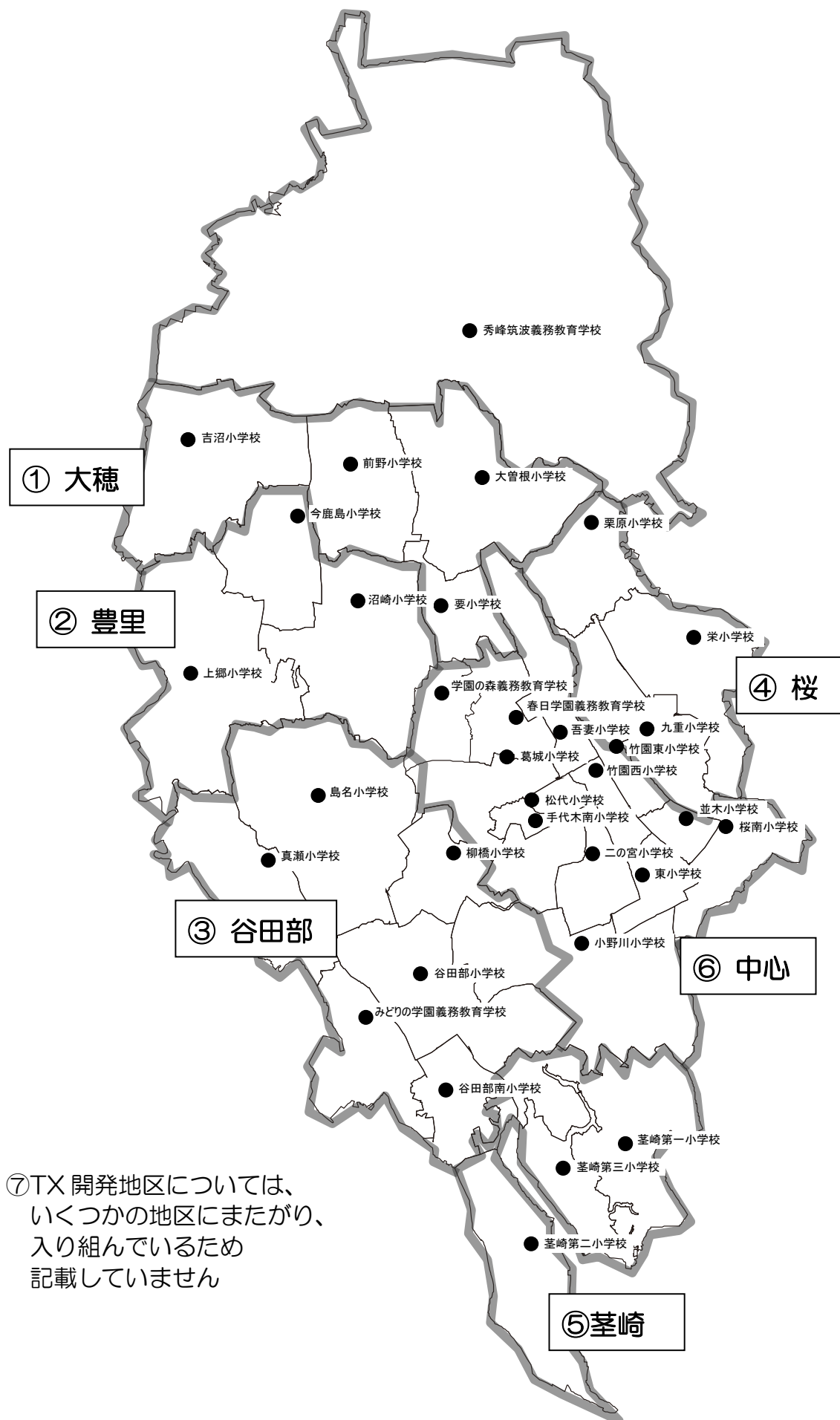
期別の方針		学校名	保有 教室数	令和5 年度の 予想学 級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	竹園東小 竹園学園	普 26	普 23	・児童数は三期中頃まで変動があるもののほぼ一定で推移し、それ以降通減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 6	特 6		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●竹園西小学校区の千現2丁目の分離を検討し、二の宮小学校区との学区調整を図る	竹園西小 竹園学園	普 33	普 31	・児童数は二期中頃まで通増し、それ以降通減する ・三期末頃まで大規模校、その後標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 4	特 5		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	桜並木学園 桜南小	普 24	普 12	・児童数は減少する ・三期末頃まで標準規模校、その後小規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●栄小学校区の吉瀬地区を桜南小学校区へと学区調整を図る		特 2	特 3		
三期～四期	●桜南小学校区の大角豆南部の分離を検討し、東小学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	桜並木学園 並木小	普 18	普 8	・児童数は二期中頃まで減少し、三期に通増、それ以降一定で推移する ・一期末頃から小規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 7	特 1		
三期～四期	●九重小学校区の上ノ室地区の一部の分離を検討し、並木小学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	光輝学園 松代小	普 20	普 13	・児童数は一期中頃から二期初めにかけて通減し、それ以降一定となる ・標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 4	特 3		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	光輝学園 手代木南小	普 18	普 12	・児童数は通減する ・三期末まで標準規模校、それ以降は小規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 4	特 2		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●竹園西小学校区の千現2丁目の分離を検討し、竹園西小学校区との学区調整を図る	二の宮小 洞峰学園	普 24	普 20	・児童数は三期中頃まで通減し、それ以降一定となる ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 2	特 4		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	洞峰学園 東小	普 20	普 14	・児童数は通減する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 1	特 3		
三期～四期	●桜南小学校区の大角豆南部の分離を検討し、桜南小学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	吾妻学園 吾妻小	普 27	普 17	・児童数は一期終わりまで一定で推移し、二期から三期まで通増し、以降通減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る		特 5	特 4		
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

⑦TX開発地区

葛城地区、島名・福田坪地区、上河原崎・中西地区、菅丸地区、中根・金田台地区、のいずれも学校予定地が確保され、学校の新設が見込まれています。周辺既設校との学区調整が課題となります。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●学園の森義務教育学校から学区の分割を検討し、(仮称) 研究学園小学校の新設を図る ●施設併設型小中一貫校を検討する	(仮称) 研究学園小学校 新設校	—	—	●学園の森義務教育学校は、児童数が増加し、大規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●島名小学校から分割を検討し、(仮称) TX 沿線開発島名・福田坪地区北部小学校の新設を図る	(仮称) 島名・福田坪地区 北部小学校新設校	—	—	●島名小学校は、二期中頃まで増加し、一期後半から三期前半まで大規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●(仮称) TX 沿線開発中根・金田台地区小学校の新設を検討する	(仮称) 中根・金田台地区 小学校 新設校	—	—	●栗原小学校、栄小学校、九重小学校の動向を注視し、新設する際は、学区調整を検討する必要がある	
二期	—					
三期～四期	—					
一期	—	(仮称) 上河原崎・中西地区 小学校 新設校	—	—	●真瀬小学校、島名小学校の動向を注視し、新設する際は、学区調整を検討する必要がある	
二期	—					
三期～四期	●(仮称) TX 沿線開発上河原崎・中西地区小学校の新設を検討する					
一期	●みどりの学園義務教育学校から学区の分割を検討し、(仮称) みどりの南部小学校の新設を図る	(仮称) みどりの南部小学校 新設校	—	—	●みどりの学園義務教育学校は、児童数が増加し、大規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

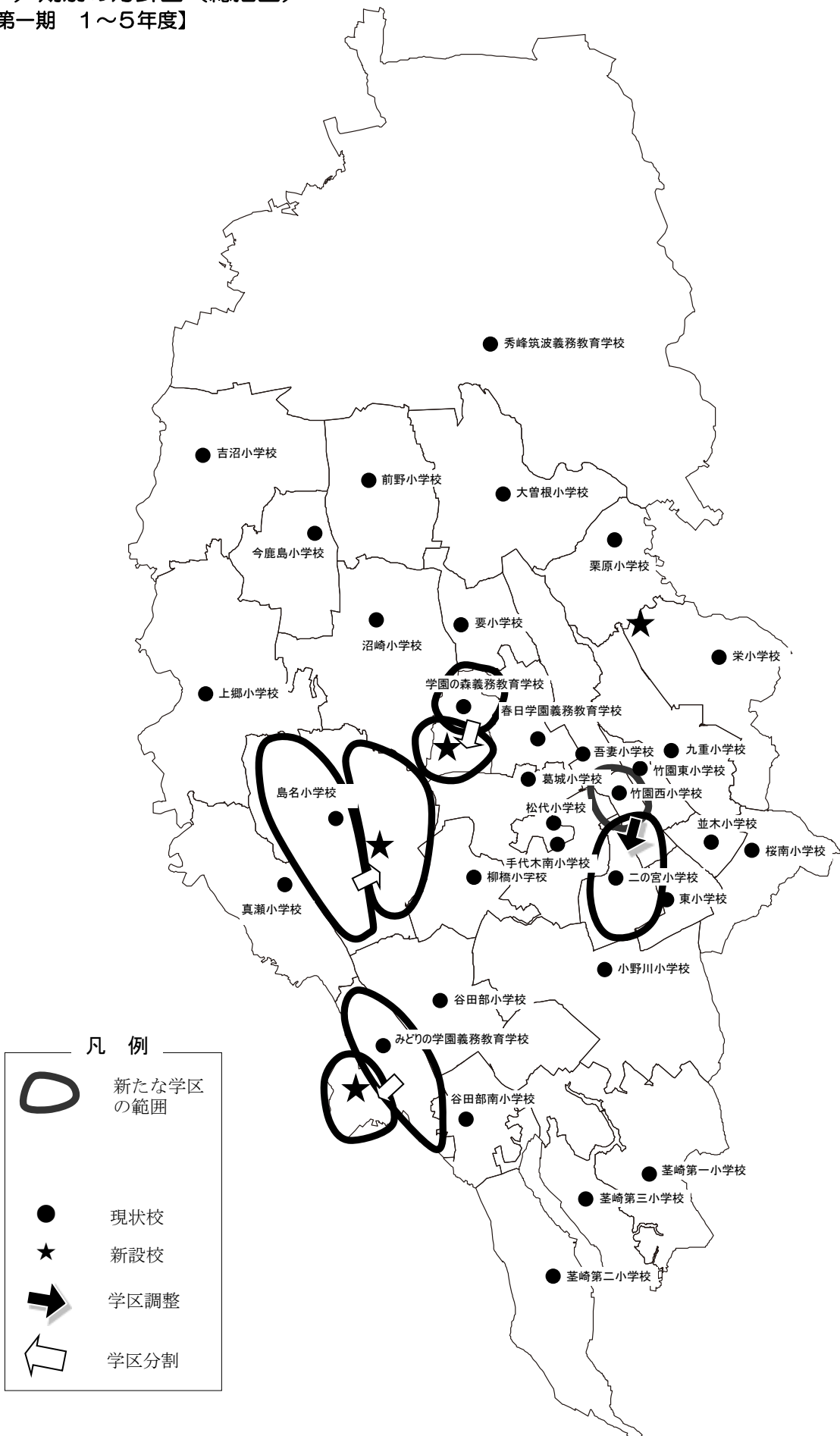
(●) 地区及び学校区位置図



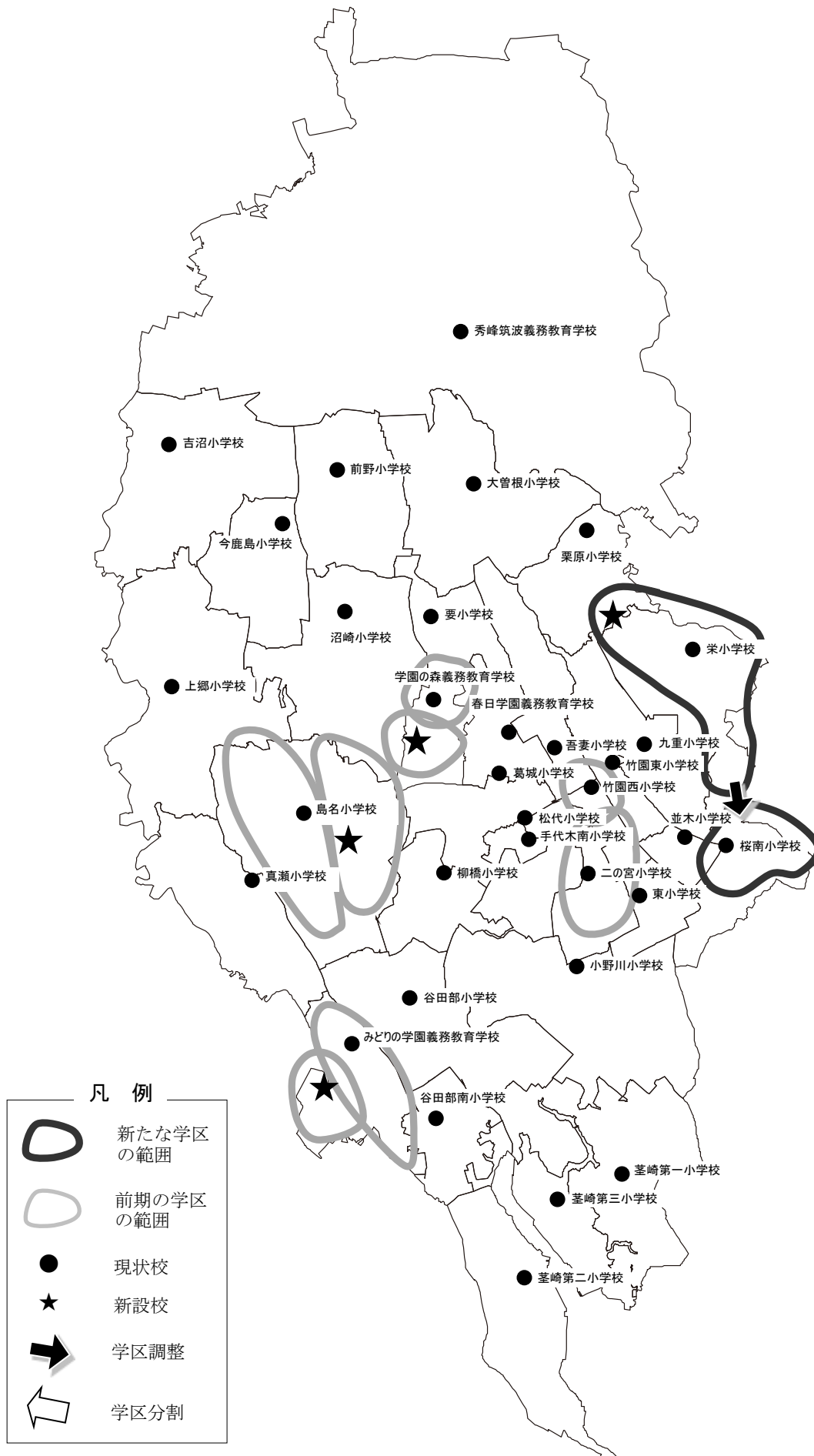
⑦TX 開発地区については、いくつかの地区にまたがり、入り組んでいるため記載していません

(●) 期別の方針図 (総括図)

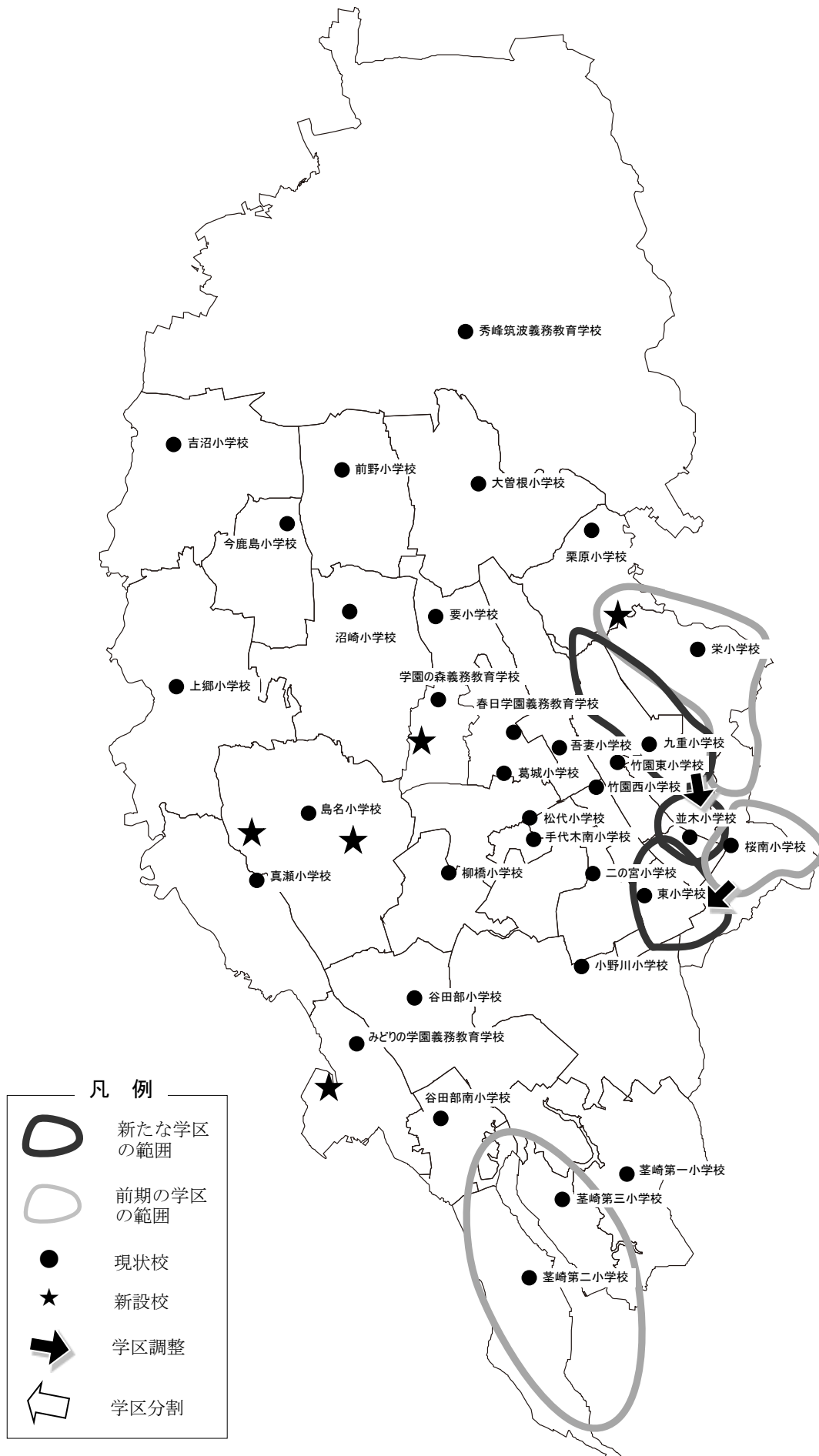
【第一期 1～5年度】



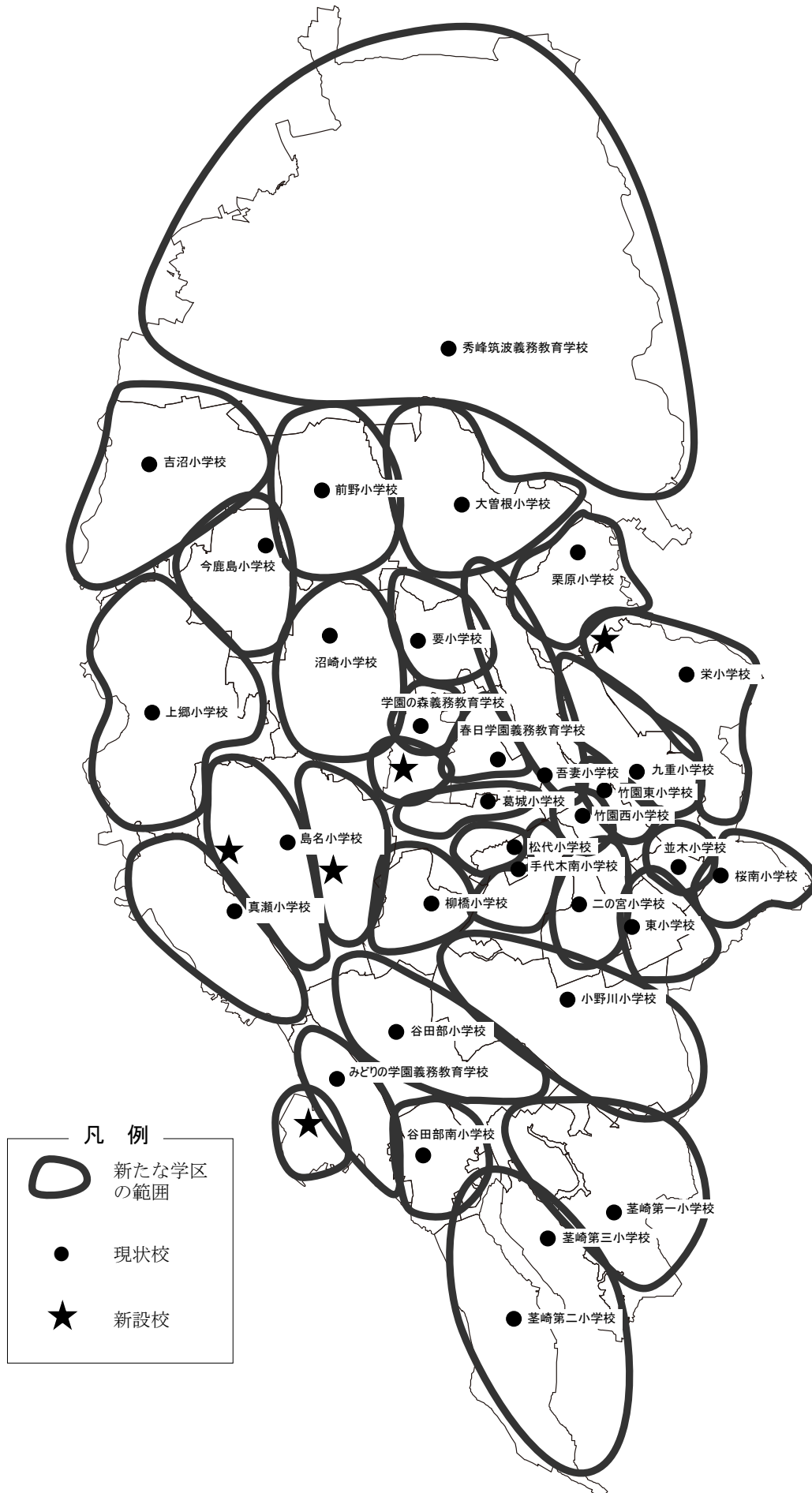
【第二期 6～10年度】



【第三～四期 11～20年度】



【令和 20 年度の学校区イメージ】



3. 中学校の適正配置計画

(1) 学校別の配置方針

①大穂地区

生徒数の減少が予想されます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	大穂学園 大穂中	普 19 特 4	普 15 特 3	・生徒数は通減する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					

②豊里地区

小規模校で推移することが予想されます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	豊里学園 豊里中	普 19 特 0	普 12 特 2	・生徒数は減少する ・二期中頃まで標準規模校、それ以降は小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る					

③谷田部地区

生徒数の増加が予想されるため、校舎の増築等の対応が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	輝翔学園 谷田部中	普 19 特 3	普 15 特 3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は二期まで一定でそれ以降は逡増する 標準規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> みどりの学園義務教育学校と学区調整を検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	高山学園 高山中	普 12 特 7	普 13 特 2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は三期終わり頃まで逡増し、それ以降逡減する 二期以降は標準規模校で推移する 	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

④桜地区

国指定史跡区域内のため、増改築の際には対応策を考える必要があります。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	桜学園 桜中	普 16 特 3	普 12 特 2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は一期終わり頃から三期終わり頃まで逡増し、それ以降逡減する 標準規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> 国指定史跡地域のため、増改築が困難である
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

⑤ 荖崎地区

生徒数の減少が続き、将来においては統合の検討が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	荖崎学園 荖崎中	普 22 特 2	普 6 特 2	・生徒数は減少する ・小規模校で推移する	・荖崎中学校と高崎中学校との統合を検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	高崎学園 高崎中	普 19 特 2	普 10 特 2	・生徒数は一期が一定で推移し、それ以降通減する ・小規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

⑥中心地区

一部の学校で、公務員宿舍の削減計画の影響により、生徒数の減少が予想されるため、隣接中学校との学区調整等が必要と考えられます。

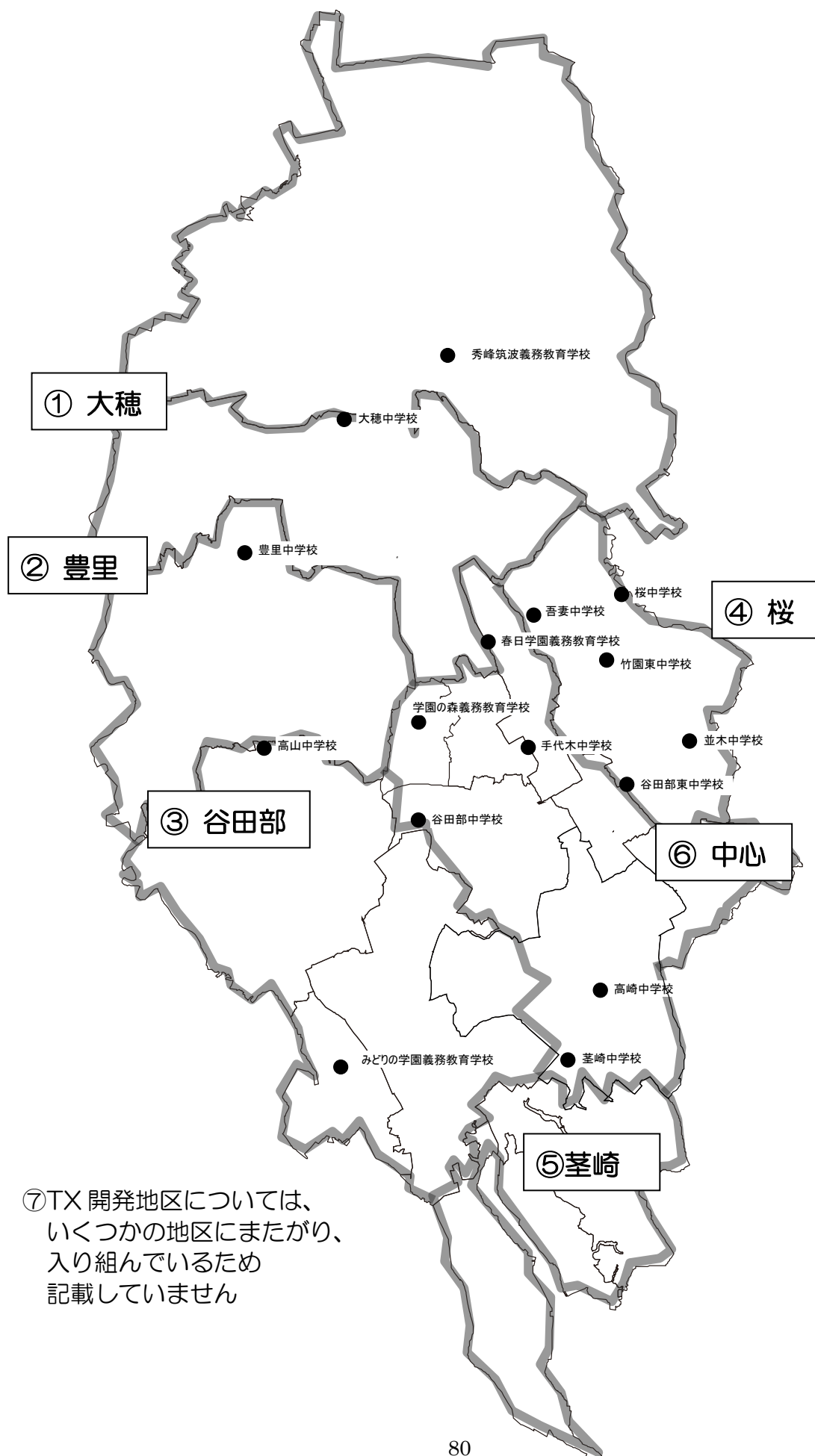
期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●竹園東中学校区の千現2丁目の分離を検討し、谷田部東中学校区との学区調整を図る	竹園学園 竹園東中	普 29 特 6	普 24 特 5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は二期末頃までほぼ一定、三期は増加、それ以降逓減する 大規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	桜並木学園 並木中	普 19 特 6	普 10 特 3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は減少する 二期以降は小規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●並木中学校区の大角豆南部の分離を検討し、谷田部東中学校区との学区調整を図る					
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	光輝学園 手代木中	普 17 特 6	普 19 特 4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は逓増する 三期まで標準規模校、それ以降大規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	吾妻学園 吾妻中	普 15 特 4	普 6 特 2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は二期末頃まで減少し、その後逓増する 小規模校で推移する 	<ul style="list-style-type: none"> 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●竹園東中学校区の千現2丁目の分離を検討し、竹園東中学校区との学区調整を図る	洞峰学園 谷田部東中	普 23 特 6	普 20 特 4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数は二期終わりまでほぼ一定、それ以降逓減する 二期まで大規模校でそれ以降は標準規模校で推移する 	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●並木中学校区の大角豆南部の分離を検討し、並木中学校区との学区調整を図る					

⑦TX開発地区

それぞれのTX沿線開発地区内の新設予定校に関わる学区再編が課題となります。

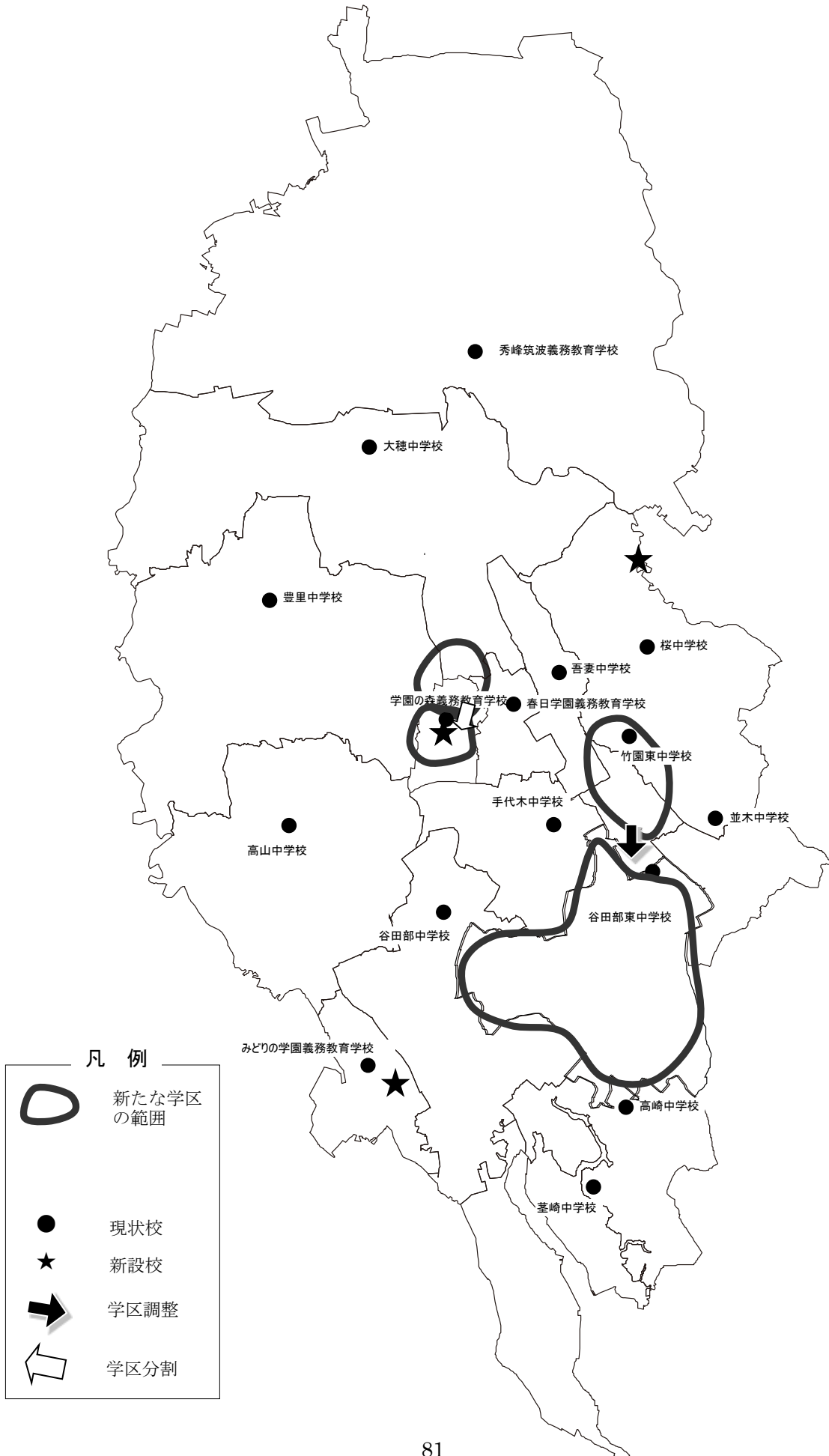
期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期 ～ 二期	<ul style="list-style-type: none"> ●学園の森義務教育学校から学区の分割を検討し、(仮称) 研究学園中学校の新設を図る ●施設併設型小中一貫校を検討する 	(仮称) 研究学園中学校新設校	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の森義務教育学校は、生徒数が増加し、大規模校で推移する 	
三期 ～ 四期	<ul style="list-style-type: none"> ●第一期～第二期の学区の維持を図る 					
一期	—	(仮称) TX沿線開発 島名・福田坪地区 中学校新設校	—	—		<ul style="list-style-type: none"> ・高山中学校の動向を注視する必要がある
二期	—					
三期 ～ 四期	<ul style="list-style-type: none"> ●高山中学校から学区の分割を検討し、(仮称) TX沿線開発島名・福田坪地区中学校の新設を検討する 					
一期	<ul style="list-style-type: none"> ●桜中の移転及び新設を検討する 	(仮称) TX沿線開発 中根・金田台地区 中学校新設校	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・桜中学校は、生徒数が一期終わり頃から三期終わり頃まで通増する 	
二期	—					
三期 ～ 四期	—					
一期	<ul style="list-style-type: none"> ●みどりの学園義務教育学校から学区の分割を検討し、(仮称) みどりの南部中学校の新設を図る 	(仮称) みどりの南部中学校新設校	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの学園義務教育学校は、生徒数が増加し、大規模校で推移する 	
二期	<ul style="list-style-type: none"> ●第一期の学区の維持を図る 					
三期 ～ 四期	<ul style="list-style-type: none"> ●第二期の学区の維持を図る 					

(●) 中学校の地区及び学校区分図（現状）

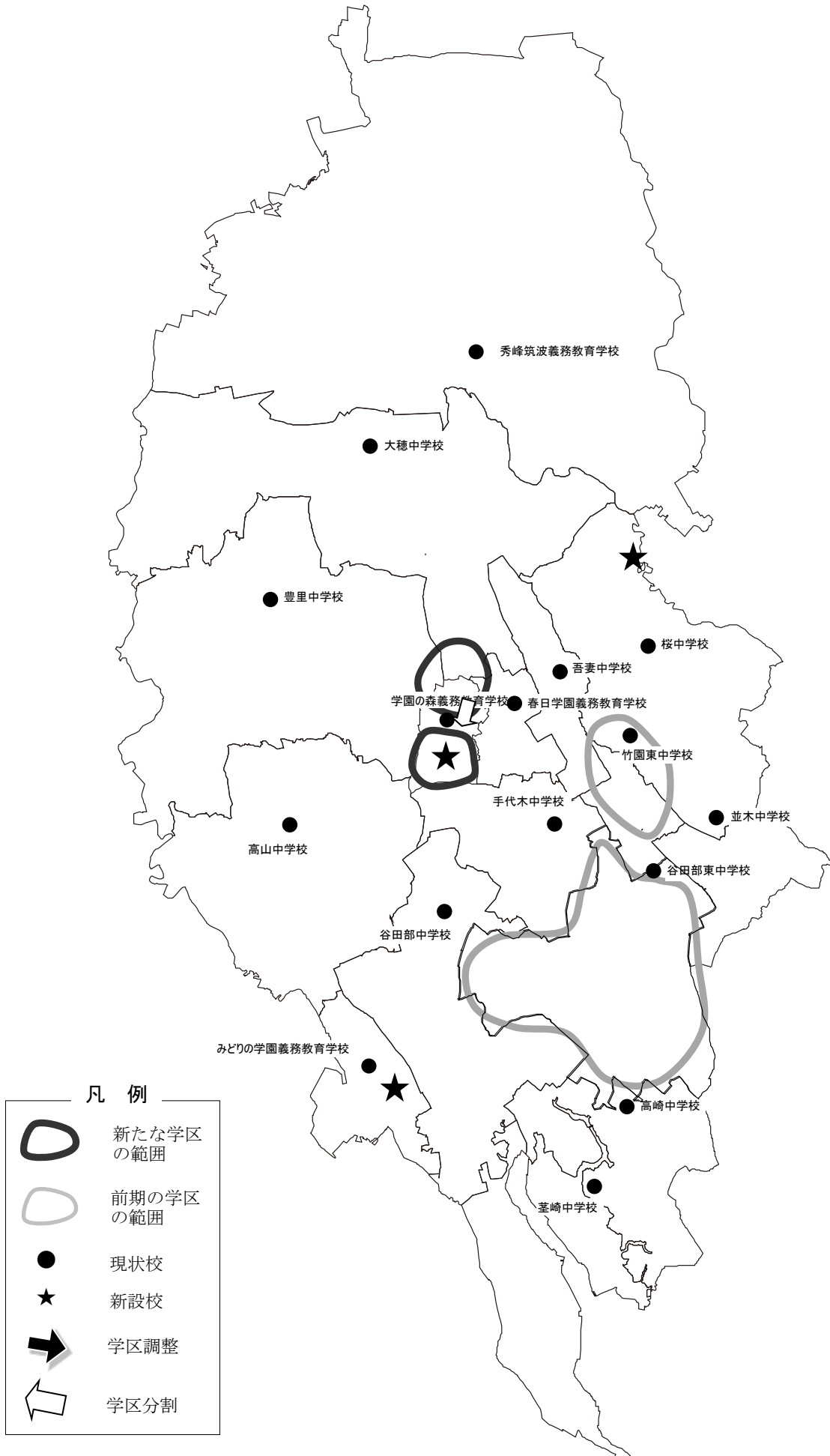


(●) 期別の方針図 (総括図)

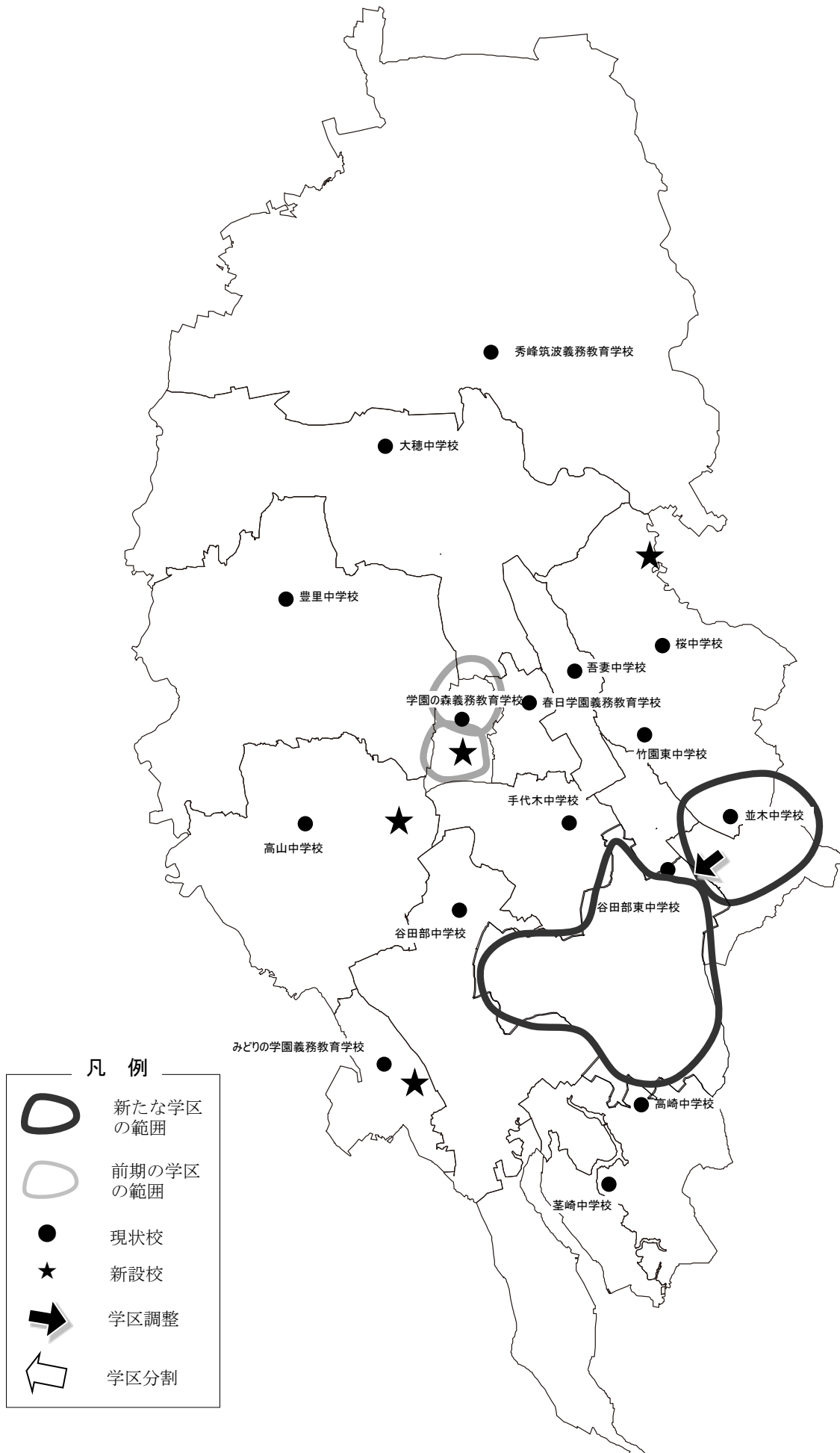
【第一期 1～5年度】



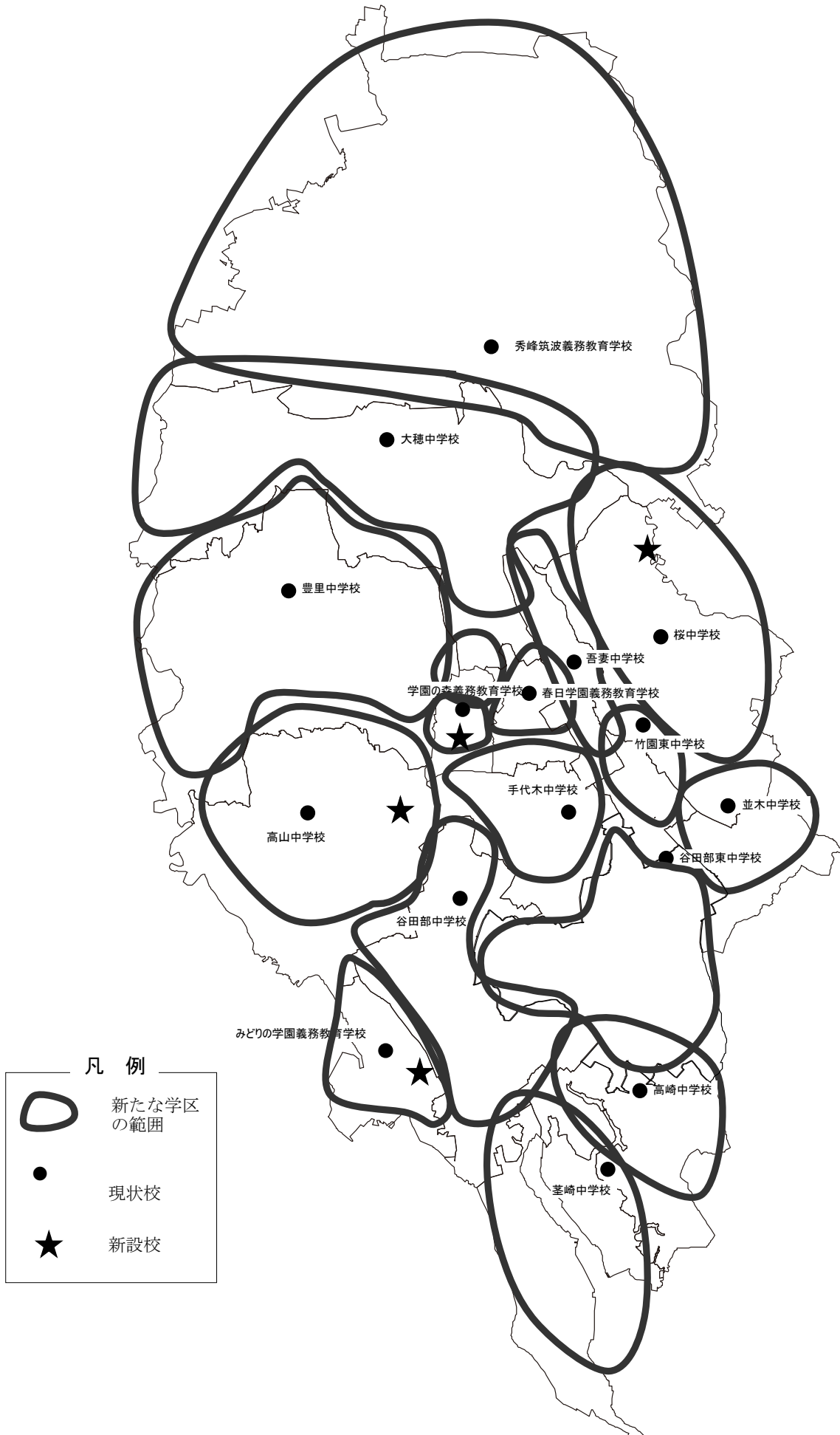
【第二期 6～10年度】



【第三期～第四期 11～20年度】



【令和 20 年度の学校区イメージ】



4. 義務教育学校の適正配置計画

(1) 学校別の配置方針

①TX開発地区

児童生徒数の増加が予想され、新設校との学区調整が課題となります。

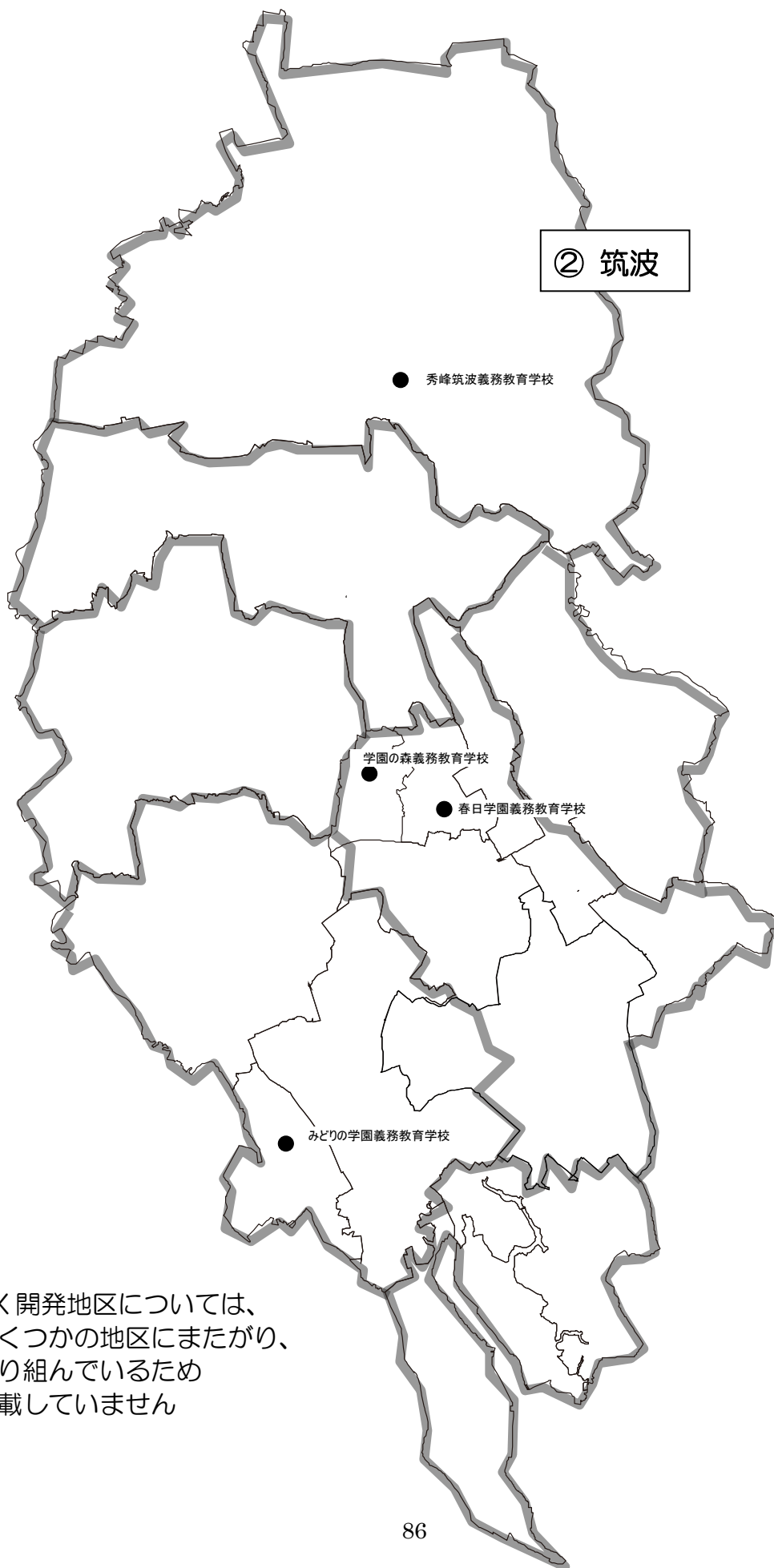
期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	春日学園義務教育学校	普 44 特 6	普 37 特 5	・児童生徒数は減少する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●（仮称）研究学園小・中学校への学区の分割を図る					
二期	●第一期の学区の維持を図る	学園の森義務教育学校	普 74 特 9	普 82 特 10	・大規模校で推移する	
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●（仮称）みどりの南部小・中学校への学区の分割を図る ●教室不足に陥る前に、増設を検討する					
二期	●第一期の学区の維持を図る	みどりの学園義務教育学校	普 54 特 8	普 74 特 15	・一期末頃から大規模校で推移する	・谷田部南小学校と学区調整を検討する必要がある
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

②筑波地区

児童生徒数が減少することから学区の維持を図ることが必要となります。

期別の方針		学校名	保有教室数	令和5年度の 予想学級数	動向・課題	
一期（R1～5）／二期（R6～10） ／三期～四期（R11～20）						
一期	●現状の学区の維持を図る	秀峰筑波義務教育学校	普 36 特 8	普 30 特 8	・児童生徒数は減少する ・標準規模校で推移する	
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

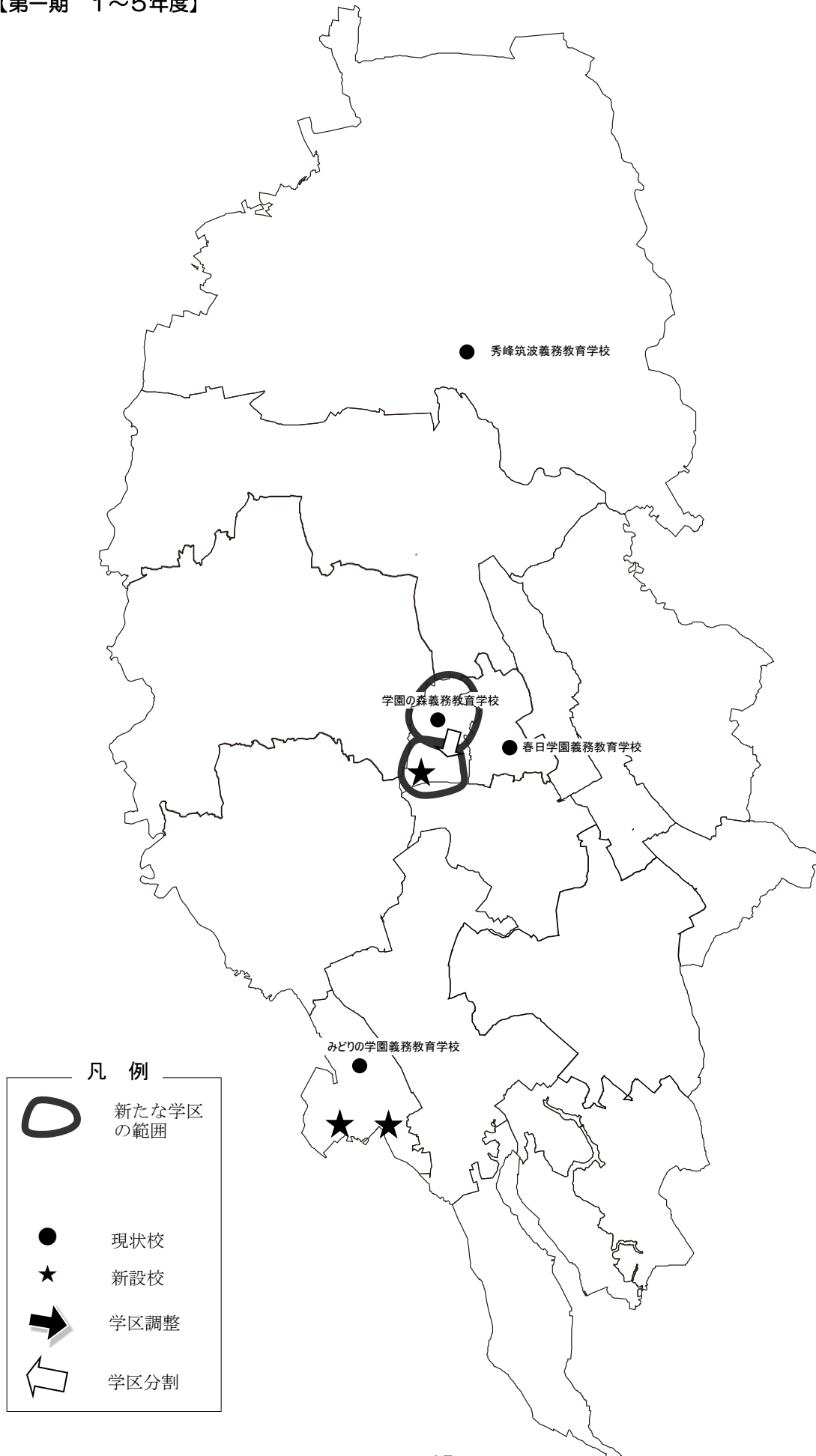
(●) 義務教育学校の地区及び学校区分図（現状）



①TX 開発地区については、
いくつかの地区にまたがり、
入り組んでいるため
記載していません

(●) 期別の方針図 (総括図)

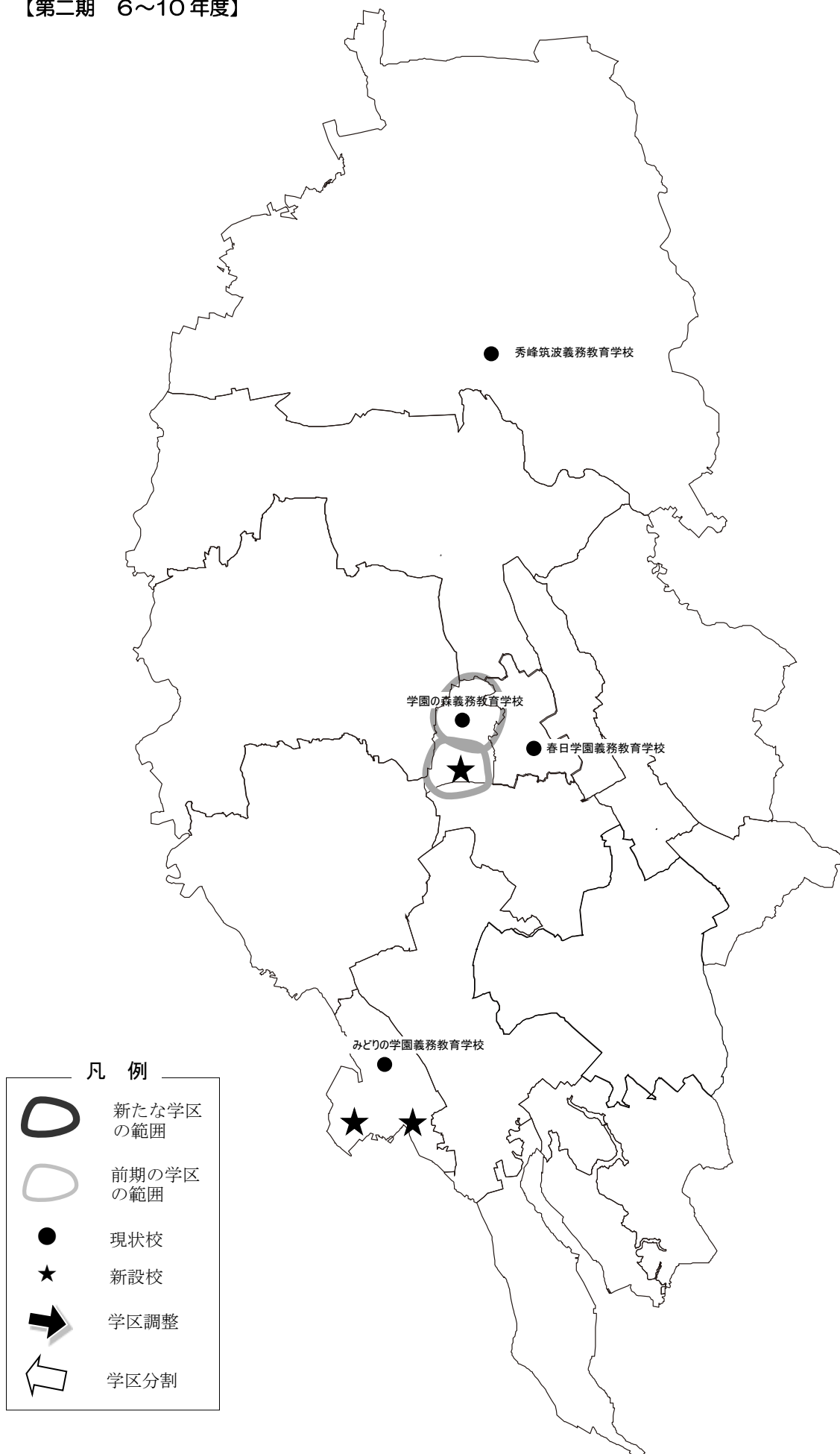
【第一期 1～5年度】



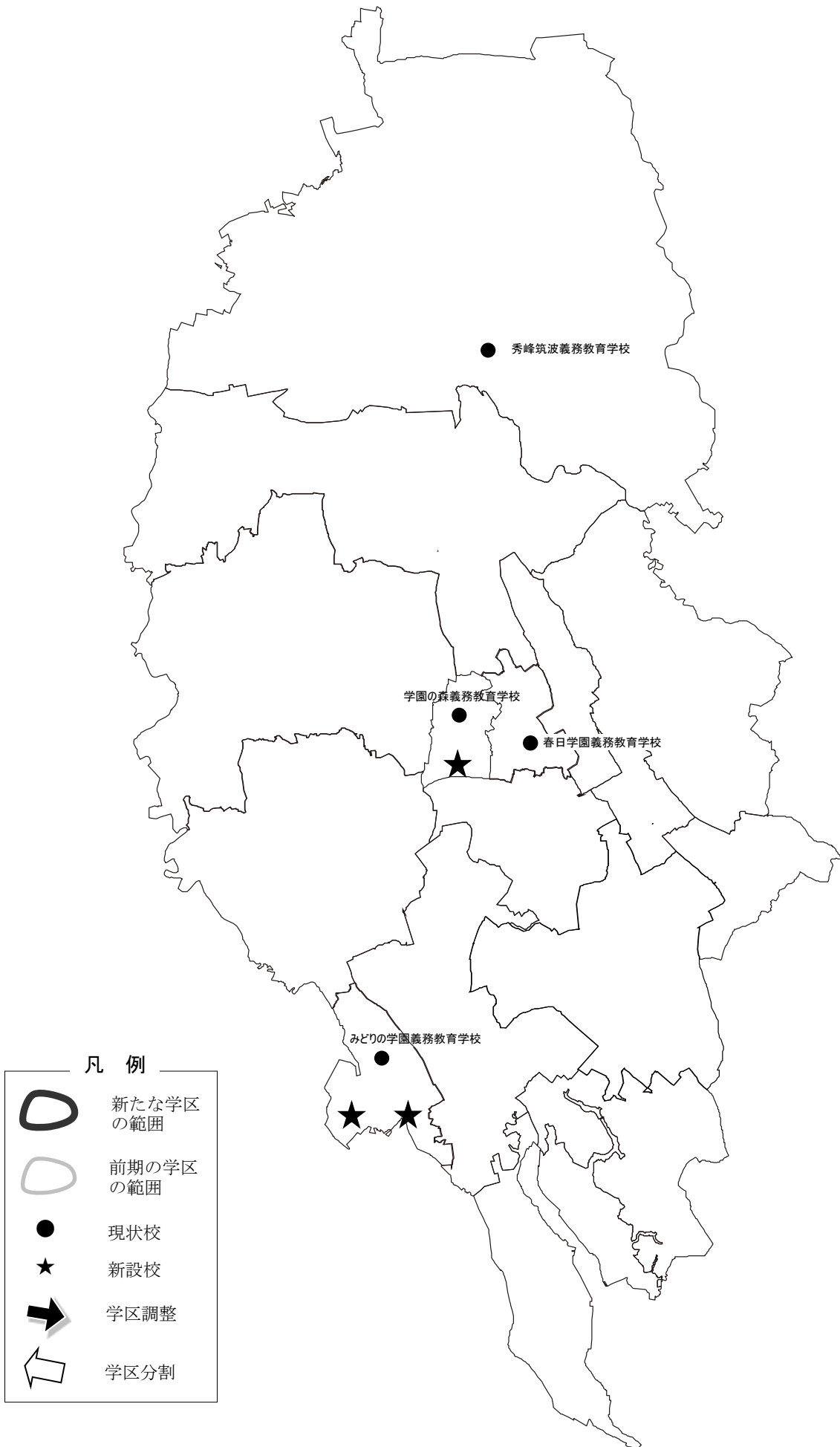
凡 例

- 新たな学区の範囲
- 現状校
- ★ 新設校
- ➔ 学区調整
- ↶ 学区分割

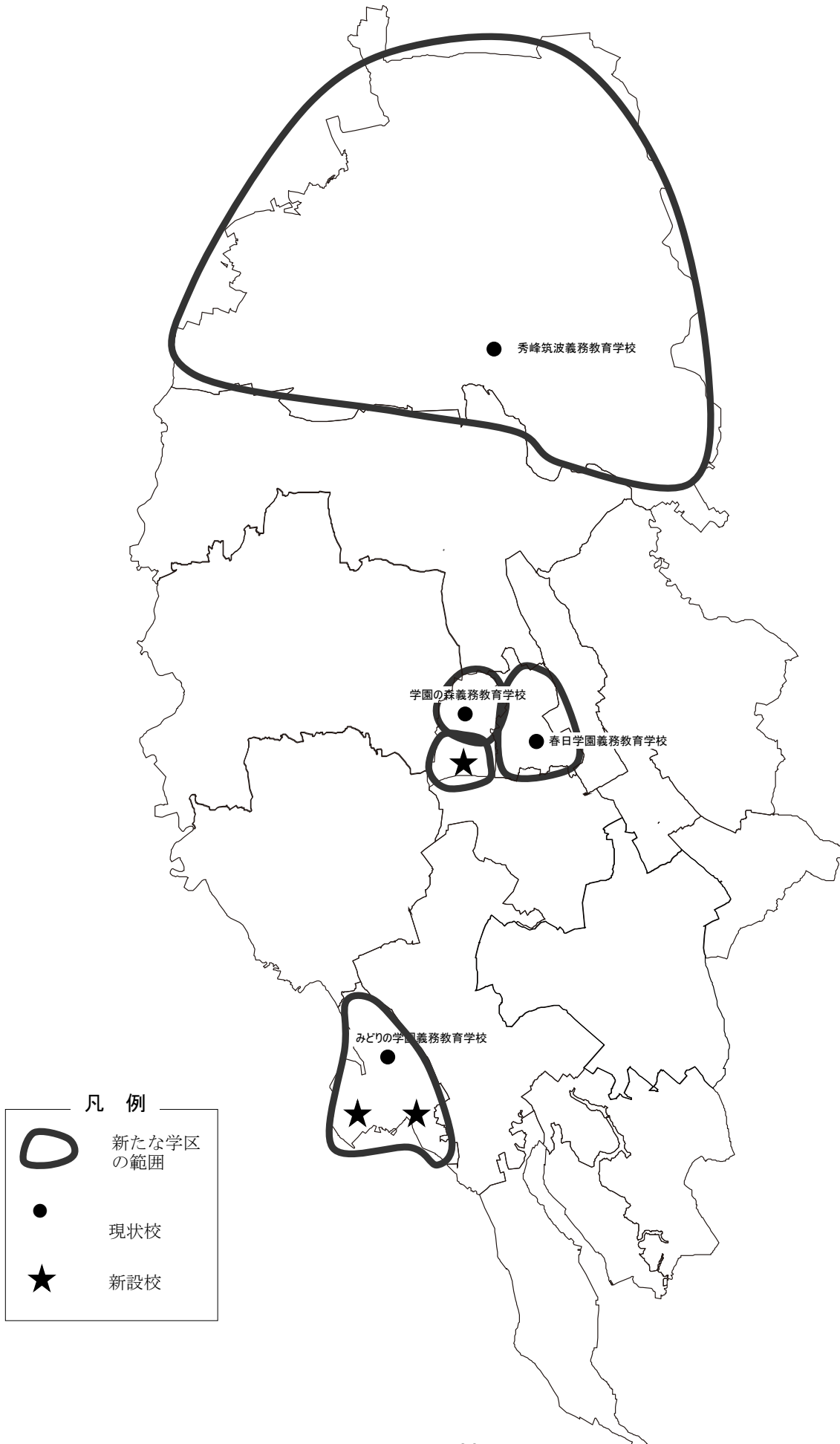
【第二期 6～10年度】



【第三期～第四期 11～20年度】



(●) 令和 20 年度の学校区イメージ図



5. 幼稚園の適正配置計画

全国的に少子高齢化が進み人口が減少している中、つくば市の人口は現在24万人を超え、さらに年々増加傾向にあります。これに伴い幼児数も増加していますが、研究学園都市中心地域の幼児数は増加しているのに対し、一部周辺地域では幼児数が減少傾向にあり、幼児数の分布状況に地域差が生じています。

また、幼稚園・保育所の利用状況は、市立幼稚園を利用する人数に比べ、市立幼稚園以外の私立幼稚園や保育所を利用する人数が多く、令和元年10月からは幼児教育・保育の無償化が実施され、将来の市立幼稚園の利用状況を把握することが難しい状況になっています。

このため、市立幼稚園の適正配置計画は、人口の定着や充足率、あるいは建物の老朽化の対応などを踏まえて、市内を『中心部』と『周辺部』に分けて、それぞれの「動向及び課題」を把握し第一期から第四期までの「幼稚園の配置方針」を設定します。

なお、幼児教育・保育の無償化後による園児数や充足率の状況も踏まえて、市立幼稚園全体の在り方の方針を検討していきます。

1) 幼稚園の配置方針

①中心部

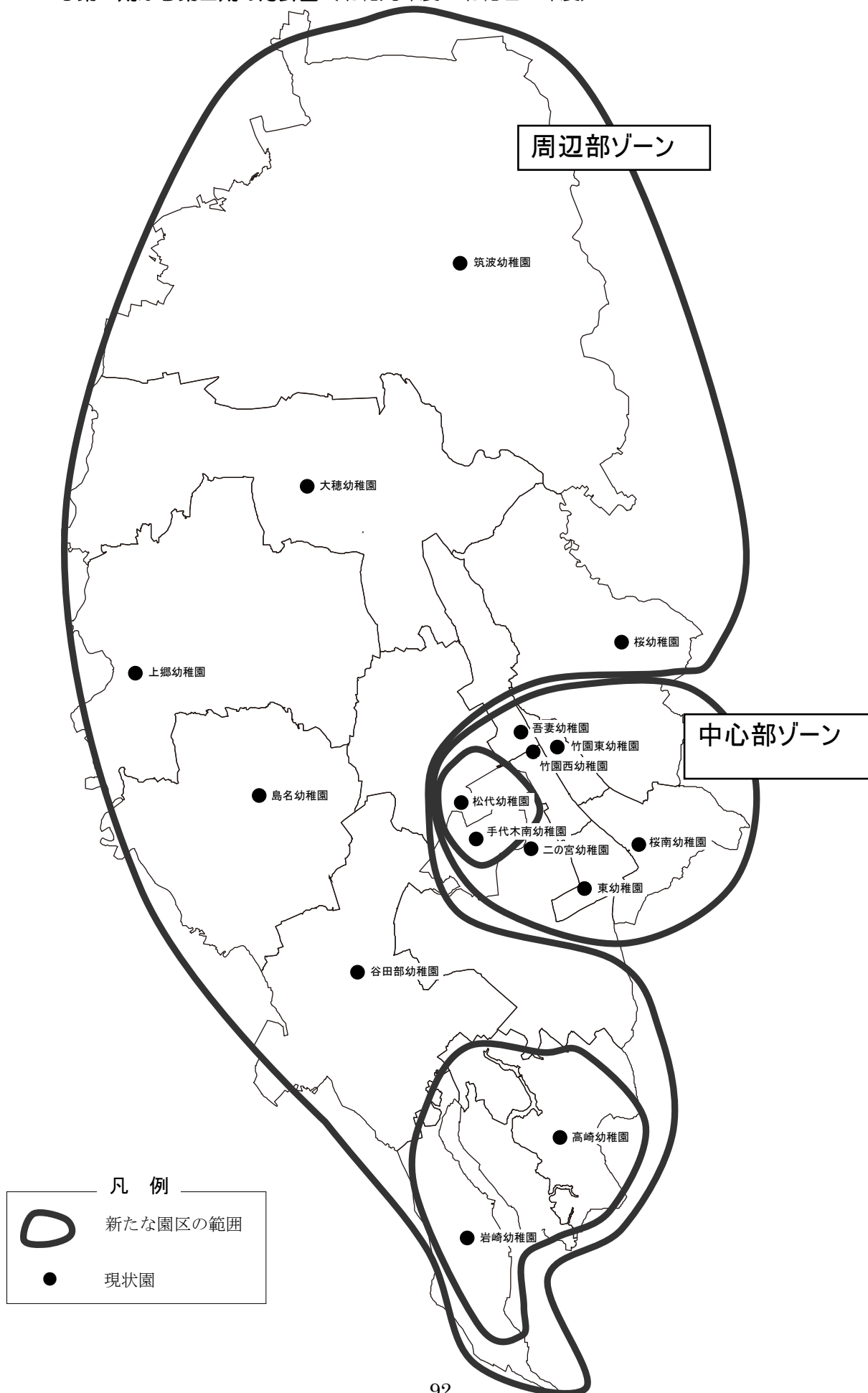
期別の方針 一期 (R1~5) / 二期 (R6~10) / 三期~四期 (R11~20)		幼稚園名	動向・課題	
一期	<ul style="list-style-type: none"> ●手代木南幼稚園と松代幼稚園との統合を検討する ●松代幼稚園と吾妻幼稚園の園区の調整を検討する 	手代木南 二の宮 竹園東 吾妻 桜南 竹園西 東 松代	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・園が中央部エリアに集中している ・住宅密集地にあるため園舎の拡張や、駐車場の確保が難しい ・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
二期	<ul style="list-style-type: none"> ●第一期の園区の維持を図る 			
三期 ~ 四期	<ul style="list-style-type: none"> ●第二期の園区の維持を図る 			

②周辺部

期別の方針 一期 (R1~R5) / 二期 (R6~10) / 三期~四期 (R11~20)		幼稚園名	動向・課題	
一期	<ul style="list-style-type: none"> ●高崎幼稚園と岩崎幼稚園の統合を検討する ●谷田部幼稚園の移転を検討する 	大穂 上郷 谷田部 島名 桜 筑波 高崎 岩崎	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に施設の老朽化が著しい ・合併以前の区域内のほぼ中央に立地しているが、園区が広大である ・島名幼稚園、谷田部幼稚園の園児数は増減、その他の園は増減が予想される 	
二期	<ul style="list-style-type: none"> ●第一期の園区の維持を図る 			
三期 ~ 四期	<ul style="list-style-type: none"> ●第二期の園区の維持を図る 			

(●) 幼稚園の期別配置方針図

●第一期から第四期の方針図（令和元年度～令和20年度）



つくば市学区審議会条例

平成元年 3 月 29 日

条例第 22 号

改正 平成 3 年 3 月 30 日 条例第 41 号 平成 9 年 3 月 25 日 条例第 33 号

平成 27 年 3 月 26 日 条例第 18 号 平成 27 年 12 月 21 日 条例第 47 号

(設置)

第 1 条 つくば市における学区（つくば市立の小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園の通学区域をいう。以下同じ。）設定の適正化を図るため、つくば市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の附属機関として、つくば市学区審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（平 27 条例 47 ・ 一部改正）

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、学区に関する事項を調査審議し、教育委員会に答申する。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 25 人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 諮問に係る学区内の市立の小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園の長並びに父母の代表者
- (2) 学識経験者

（平 9 条例 33 ・ 平 27 条例 47 ・ 一部改正）

(任期)

第 4 条 委員の任期は、当該諮問に係る事案の審議が終了し、答申したときに終わる。

（平 9 条例 33 ・ 一部改正）

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、

その職務を代理する。

(平9条例33・一部改正)

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(平9条例33・一部改正)

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、教育局において処理する。

(平3条例41・平9条例33・平27条例18・一部改正)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平9条例33・一部改正)

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成3年条例第41号)

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (平成9年条例第33号)

この条例は、平成9年5月1日から施行する。

附 則 (平成27年条例第18号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年条例第47号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

つくば市学区審議会委員名簿

任期: 令和元年9月18日から答申があった日まで

No.	氏名	役職等	資格	備考
1	フジガサキ イクコ 藤ヶ崎 郁子	松代幼稚園園長	1号	市園長会代表
2	ツチダ トシサク 土田 十司作	手代木中学校校長	1号	市学校長会会長
3	フダ マサヒコ 和田 雅彦	桜南小学校校長	1号	市学校長会副会長
4	ヤナギハシ ヒロトシ 柳橋 浩利	谷田部東中学校校長	1号	市学校長会副会長
5	マツモト ヨシアキ 松本 義明	秀峰筑波義務教育学校校長	1号	市学校長会副会長
6	ネモト カズシロ 根本 一城	高山中学校PTA会長	1号	市PTA連絡協議会会長
7	フウ ポウ 付 波	並木中学校PTA会長	1号	市PTA連絡協議会副会長
8	モリタ シュウジ 森田 修司	春日学園義務教育学校PTA会長	1号	市PTA連絡協議会副会長
9	ニノミヤ キミヒロ 二宮 君弘	荃崎第三小学校PTA会長	1号	市PTA連絡協議会副会長
10	ナガハン シンヤ 長橋 進也	今鹿島小学校PTA会長	1号	市PTA連絡協議会副会長
11	ナルシマ ミホ 成島 美穂	大穂幼稚園PTA会長	1号	市幼稚園PTA連絡協議会代表
12	クシダ レイコ 串田 令子	杉の子保育園	1号	市保育所・園父母の会連絡協議会代表
13	ヤマモト ミワ 山本 美和	市議会議員	2号	市議会議員
14	オハラ マサヒコ 小原 正彦	高見原3丁目区長	2号	区会連合会会長 荃崎地区代表
15	イイダ テツオ 飯田 哲雄	本田1区長	2号	区会連合会副会長 谷田部地区代表
16	サカモト ヨシハル 坂本 義治	池端第一区長	2号	区会連合会副会長 豊里地区代表
17	イツシキ キミコ 一色 喜美子	県営ささぎアパート自治会区長	2号	区会連合会副会長 桜地区代表
18	キザワ ヒロノブ 木澤 寛伸	寺具区長	2号	区会連合会副会長 筑波地区代表
19	カワネ ヨシユキ 川根 義行	新地下区長	2号	区会連合会副会長 大穂地区代表
20	ヌマジリ マサノリ 沼尻 正則	宅地建物取引業協会代表(土浦・つくば支部)	2号	宅地建物取引業協会代表(土浦・つくば支部)
21	フジイ ホダカ 藤井 穂高	筑波大学人間系教授	2号	筑波大学
22	ヒグチ ナオヒロ 樋口 直宏	筑波大学人間系教授	2号	筑波大学
23	タツミ カヨコ 翼 佳代子	UR都市再生機構 流山・つくば担当部長	2号	UR都市再生機構
24	カネザワ キミヤ 兼澤 公也	茨城県土浦土木事務所つくば支所次長兼事業調整課長	2号	茨城県土浦土木事務所

(注) 審議会条例第3条(委員25名以内)

1号: 諮問に係る学区内の市立の小学校、中学校及び幼稚園の長並びに父母の代表者

2号: 学識経験者

つくば市学校等適正配置計画（指針）

発行 令和2年3月

つくば市教育局学務課

〒305-0085 つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029 (883) 1111（代表）

メール : edc030@city.tsukuba.lg.jp